

Saitama Association of Radiological Technologists

RADIOLOGICAL SAITAMA

2022
no. 2



CONTENTS

総会資料

- 第11回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

特集

- 埼玉県内の核医学治療の現状

誌上講座

- 冠動脈CT撮影のピットフォール



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

Saitama Association of Radiological Technologists

HP <https://www.sart.jp> E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

Saitama Association of Radiological Technologists

2022/5 January
vol.70 no. 2

CONTENTS

総会資料

第11回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

第11回公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会定期総会	4
2021年度事業報告(案)	5
2020年度(公社) 埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項	16
2022年度事業計画 コロナ終息後の飛躍	18
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款	20
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程	25
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図	35
2022年度収支予算書	36

特集

埼玉県内の核医学治療の現状	45
---------------	----

誌上講座

冠動脈CT撮影のピットフォール	53
-----------------	----

巻頭言

意見を言ってくれる人を大切に 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏	1
--	---

会告

第11回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会のお知らせ	2
------------------------------------	---

お知らせ

埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステムのお知らせ	38
(公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を 診療放射線技師が会員価格で受講ができます。	39
埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内	40
賛助会員さまへのお知らせ	41
「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」	43

本会の動き

衆議院議員三ツ林裕巳先生と衆議院議員畦元将吾先生へ 年頭のご挨拶および政策に関する意見交換	64
2021年度 第12回CT認定試験開催報告	65
2021年度 救急セミナー Web 開催報告	66
2021年度 乳腺セミナー開催報告	67
2021年度 上部消化管検査認定講習会&認定試験 開催報告	68
2021年度 第19回 胸部認定試験 開催報告	70
2021年度 MRI基礎講習会(Web)開催報告	71
放射線被ばくに関する講習会 開催報告	72
第3回SART被ばく相談事例検討会 開催報告	73

各支部掲示板

第三支部	74
第六支部	76

求人コーナー

求人コーナー	79
求人広告掲載申し込みFAX用紙	80

議事録

2021年度 第1回常務理事会議事録(抄)	81
2021年度 第6回理事会議事録(抄)	82
2021年度 第2回常務理事会議事録(抄)	86
2021年度 第7回理事会議事録(抄)	88
2021年度 第3回常務理事会議事録(抄)	92

会員の動向

会員の動向	95
-------	----

役員名簿

2021・2022年度役員名簿	96
-----------------	----

正会員入会申込書	98
退会届	100
FAX申し込み	101
年間スケジュール	102
編集後記	

意見を言ってくれる人を大切に

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏



歳を取るほど、地位が高くなればなるほど、人は意見を言われることを苦痛に感じる場合があります。

イエスマンを自分の周りに置きたがるリーダーは組織を衰退させ、意見を言ってくれる人を周りに置くことができる組織は活性化します。

つまり、リーダーは意見が言える雰囲気を作ることが大切ですし、意見を言われてもそれを受け入れる度量が必要です。

私が30歳半ばの頃、乳腺関係で全国の学会や講演で飛び回っていたころ、乳腺超音波に関する認定講習会を受講した時のことです。もちろんその時、私は生徒として受講していたのですが、受講している時に強い違和感を抱いたのを記憶しています。その感じた違和感について、自分なりに分析しました。

これまで、講演などで教える立場にいた自分が、教わるという立場に違和感を感じたのです。つまり、人として横柄になりかけていたということに気付かされました。

また乳腺の検査に対して自信と強いこだわりを持ってモダリティを担当させていただいたころは、現行の運用方法を変えるのに強い抵抗感を覚えたことがあります。つまり、自分が進歩を止めていたことに気付かされました。

私は猛省し、自分を戒め修正しました。

著名な先生が、勉強会や学会で受講される時、

とても真摯に聴講されている場面を多々拝見したことがあります。

人格的に尊敬できる方は、普段は教える立場でも、ある分野で自分よりも知識を有する人から教わる時は、相手を先生として敬い、自分の知識を素直に高めることができるものです。

では、意見を言いやすくする雰囲気はどのように作るのか。私は会議、または個人的にも「どう思う?」「どうしたらよい?」

を口癖にしています。すると、自分にはない発想が意外に多かったことに気付かされます。そうすることで、自然に意見を言ってくれる雰囲気に変わります。

もちろん、提案通りに進めるときもありますが、そうでないときもあります。自分の意見を通す場合には、必ず理由を説明し、納得してもらいます。つまり説明責任です。その最終決断は自分が責任を持つことは言うまでもありません。

人は歳をとるほど、偉くなるほど、人の意見は聞かなくなり、成長が止まり、さらにはイエスマンを周りに置き、組織を衰退させます。その横柄になりかけている自分の心にアンテナを立て、周りの意見に耳を傾けるように心掛けることで、人は成長し続け、組織も活性化します。

それは、もしかすると、友人関係、家庭内でも同じかもしれません。

第11回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏

日 時：2022年6月12日（日） 14：00から

総会会場：埼玉会館 4A会議室

〒330-8518 さいたま市浦和区高砂3-1-4 (TEL) 048-829-2471

記

- | | | | |
|-------|--------|---------|-----|
| 第1号議案 | 2021年度 | 事業報告 | (案) |
| 第2号議案 | 2021年度 | 決算報告 | (案) |
| 第3号議案 | 2021年度 | 監査報告 | |
| 第4号議案 | | 名誉会員の承認 | |
| 第5号議案 | その他 | | |
| | 2021年度 | 補正予算 | 報告 |
| | 2022年度 | 事業計画・予算 | 報告 |

【特別講演】講 師：(公社) 埼玉県診療放射線技師会 会長 田中 宏
テーマ：「凡人が生きる10の知恵」

新型コロナウイルス感染症の感染予防および飛散防止の観点から、会員の皆さまの健康と安全を第一に考え、可能な限り委任状提出による出席をお願い致します。

ご理解とご協力を重ねてお願い致します。

なお、ご意見・ご質問などはメールにてご連絡ください。

* 総会資料につきましては会誌5月268号、決算関係はホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

(公社) 埼玉県診療放射線技師会 総務担当 常務理事 今出克利
k-imade@sart.jp

※お詫び

「第11回 定期総会 について」の保護シール内に記載されていた自宅電話番号および勤務先電話番号の市外局番について、最初の「0」が脱字をしておりましたことをお詫び致します。なお、埼玉県診療放射線技師会データベースは「0」を付けたものが保存されております。

第11回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
表 彰
総会運営委員会報告
議 長 選 出
総 会 職 員 任 命
議 事
報 告

第1号議案 2021年度 事業報告 (案)
第2号議案 2021年度 決算報告 (案)
第3号議案 2021年度 監査報告
第4号議案 名誉会員の承認
第5号議案 その他
2021年度 補正予算 報告
2022年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

**第11回公益社団法人
埼玉県診療放射線技師会定期総会**

2021年度事業報告（案）

2021年度事業報告（案）

1. 総括

2021年度は昨年度に習得したWebによる新たな手段を使いこなし、まだ検討の余地はあるものの、安定した会議や勉強会、学術大会が開催できました。他学会でも新型コロナウイルス感染症のまん延状況によりハイブリッドで現地へ参加した方からは、「セッション終了後のディスカッションなどで本音トークが聞ける」などのリアルな意見も聞くことができました。今後は新型コロナウイルス感染症が終息した後もハイブリッド型は続きますが、やはり現地開催が主体となると予想されます。

昨年度も書かせていただきましたが、これまでの対象者は埼玉県内を想定していましたが、今後は全国の診療放射線技師が対象となります。しかしながら、アピール力にまだ工夫が必要であることも分かりましたので、今後は力を入れていきたいと思えます。

2021年10月から放映された「ラジエーションハウスⅡ～放射線科の診断レポート」では、大いに盛り上がりました。平均視聴率は10.71%（最高11.7%）であり、社会全体で診療放射線技師の認知度が上がったことはとても喜ばしいことです。コロナ禍での医療職種の活躍も重なり、診療放射線学科志望の高校生が増えたことは私たちにとって大きな喜びでもありました。私たち先輩診療放射線技師は、将来診療放射線技師を目指す優秀な後輩たちのために、思う存分に活躍できる環境と社会制度を作る義務があります。

2021年10月1日施行の診療放射線技師法改正については、静脈注射をはじめとする多数の行為が可能となりました。施設の事情はありますが、私たちの業務に反映させ、医師の負担軽減および医療全体の公衆衛生の向上に向けて努力する必要があります。これらの制度改革には行政とより一層の連携が必要であり、多くの会員の皆さまに理解をしていただく必要があると考えます。

コロナ禍の中で、ご協力を頂きました会員の皆さま、会務に果敢に挑戦してくれた理事・委員・支部役員・関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として山本英明氏、田中武志氏を名誉会員に推薦させていただきました。

ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

会員の育成

埼玉では以前から、講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が、他学会、他県技師会などで活躍をしております。近年では国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員の育成

技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師会の役目でもあります。他職種と多くの関わりあいをもち役員の成長につなげてまいります。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシュャーズセミナーは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、会場型での開催が困難となったため、e-ラーニング形式での開催致しました。参加者からは学習時間を自由に選べるなどのおおむね好評で県内外から多数ご参加いただきました。今後も会員入会促進事業として継続していきたいと考えております。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている50年・30年の対象者を選出し返信いただいた会員の方々を日本診療放射線技師会に推薦致しました。表彰は2021年東京開催の第37回日本診療放射線技師学術大会にて表彰されました。埼玉県診療放射線技師会の40年・20年永年勤続表彰は、対象となる会員の方々を選出し、表彰委員会での承認をへて当会定期総会にて表彰予定です。

恒例となりました年初の「新春の集い」[役員研修会]は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となりました。今年度は、いろいろな行事が新型コロナウイルス感染症のため例年通りとは行きませんでした。いずれの事業におきましても入会促進また会員の福利厚生事業として開催形式にこだわらず今後も継続していきたいと考えております。

2) 学術

今年度も新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、学術ナイトセミナー・DR計測セミナー・救急セミナー・乳腺セミナー・MRI基礎講習会についてはオン

ライン方式で開催しました。各種認定講習会および認定試験に関しては、2年間開催できずにいましたが、学術委員会として会員の皆さまに研さんするための環境を提供することも必要と考え、受講および受験方法など検討を重ねて今年度よりオンライン方式にて再開することができました。オンラインでの認定試験は初めての試みでしたが、大きなトラブルもなく開催できました。しかし、まだいくつか課題も残っているため引き続き検討し、感染状況に関わらず継続的に開催してまいります。

また、近年医療業界でもAI(Artificial Intelligence)技術が取り入れられつつあり、われわれ診療放射線技師も知識を持ち、共存していく時代になることが考えられます。そこで今年度はAI講習会を開催し、技術を身近に感じ興味を持てるような内容にて開催しました。

第35回埼玉県診療放射線技師学術大会についても、会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式における開催を予定していましたが、感染状況の拡大によりオンライン方式における開催となりました。今回は一部のセッションについて、オンデマンド配信を行うことで学術大会の内容をより多くの会員へ提供できたことは、オンライン方式を積極的に取り入れてきたことによる成果であり、次回以降も配信を行う予定となっております。

今後の学術大会や各種講習会の開催において、会場参加とオンライン参加を併用するハイブリッド方式による開催の需要が高まることも想定し、多くの会員の皆さまに参加していただける環境を整備して行きたいと考えています。

3) 編集・情報

会誌「埼玉放射線」を計4号発刊しました。編集・情報活動は本会活動の中でも、重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、2014年から発行回数が年4回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針の下、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や、放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確

な情報を、専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトの他、定期的に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Webサイトやメールマガジンは即時性の高い情報提供手段と考えています。

今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

- 2021年度本会公益活動として、従来行ってきた、
- ・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布
- ・各支部医療画像展での超音波式骨密度の無料測定
- ・放射線特別授業

は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止せざるを得ませんでした。

- ・ホームページからの被ばく相談（実績18件 2022/02/05）は継続して行っております。
- ・被ばく相談事例検討会ではWeb開催を実施するだけでなく、新たに、放射線被ばくに関する講習会を開催しました。

次年度も、従来の活動を踏襲するだけでなく、新しい生活様式を取り入れた公益活動について、熟考しながら活動を行っていく所存です。

2. 事業遂行評価

1. 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催 ◎
- イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会 ○
- ウ. 胸部撮影認定講習会 ○
- エ. 上部消化管検査認定講習会 ○
- オ. フレッシュャーズセミナー（SARTセミナー） ○
- カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成） △
- キ. CT認定講習会 ○
- ク. MRI基礎講習会 ○
- ケ. 乳腺セミナー ○
- コ. DR計測セミナー ○
- サ. 救急撮影ケーススタディー（日本救急撮影技師認定機構との共催） ○
- シ. 読影力向上のための講習会（支部開催セミナー） △

- ス. AI (Artificial Intelligence) 関連講習会の開催 △
- (2) 会員講師の育成と体制づくり
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 △
 - イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力 ○
 - ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ○
 - エ. 埼玉臨床画像研究会への協力 △
 - オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ○
 - カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 △
 - キ. 各認定機構との合同企画 (埼玉開催の推進) △
- 2. 組織運営に関わる事業
 - (1) 行政との連携 ○
 - (2) 入会促進事業の強化 ○
- 3. 公益目的事業
 - (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊 ○
 - (2) 市民公開講座の開催 △
 - (3) 地域自治体主催事業への参画 △
 - (4) 医療画像展の開催と支援 △
 - (5) 県民向けホームページの充実 ○
 - (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
 - (7) 中学高校における特別授業の担務 △
- 4. 編集・情報
 - (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
 - (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報 ○
 - イ. 学術データベースの充実 ◎
 - (3) メールマガジンの有効利用 ○
- 5. その他
 - (1) 他医療職種団体との連携 ○
 - (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

2021年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 2021年度役員は次の通りである。

役職名	氏名	担当
会長	田中 宏	
副会長 同	富田 博信	
	潮田 陽一	
監事 同	堀江 好一	
	浅野 克彦	
常務理事 同 同 同 同 同	今出 克利	総務
	八木沢英樹	総務
	城處 洋輔	学術
	中根 淳	学術
	佐々木 健	公益
	清水 邦昭	編集・情報
理事 同 同 同 同 同 同 同 同 同	肥沼 武司	財務
	近藤 敦之	学術
	滝口 泰徳	学術
	吉田 敦	編集・情報
	紀陸 剛志	公益
	双木 邦博	総務・第一支部
	大西 圭一	総務・第二支部
	市川 隆史	総務・第三支部
	大野 涉	総務・第四支部
	矢崎 一郎	総務・第五支部
茂木 雅和	総務・第六支部	

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第10回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を2021年6月13日(日)、埼玉会館において会員30人出席、有効委任状提出695人、合計725人にて開催した。総会では2020年度事業報告案、2020年度決算報告案、2020年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議した。

イ. 理事会は下記の通り8回開催し、重要案件について審議し決議した。

総会資料

理事会開催状況

	年月日	開催場所
1	2021.05.27	ZoomによるWeb開催
2	2021.06.13	同
3	2021.07.01	同
4	2021.09.02	同
5	2021.10.07	同
6	2021.11.04	同
7	2022.01.06	同
8	2022.03.03	同

ウ. 常務理事会は下記の通り3回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理した。

常務理事会開催状況

	年月日	開催場所
1	2021.04.01	ZoomによるWeb開催
2	2021.12.02	同
3	2021.02.03	同

エ. その他

連絡会議ならびに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理した。

連絡会議

	年月日	開催場所
1	2021.05.20	ZoomによるWeb開催
2	2021.06.24	同
3	2021.08.26	同
4	2021.10.28	同
5	2021.12.23	同
6	2022.02.24	同

予算会議

	年月日	開催場所
1	2022.02.03	常務理事会内 (Web)

全国会長会議

	年月日	開催場所
1	2022.01.21	Web

関東甲信越会長会議

	年月日	開催場所
1	2021.07.02	Web

北関東地域会長会議

	年月日	開催場所
1	2021.06.23	Web
2	2021.11.21	Web

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表の通りである。

委員会名	開催年月日
総会運営委員会	2022.05.12
編集情報委員会	2021.09.09 2021.11.19
学術委員会	2021.06.29 2021.08.12 2021.09.21 2021.10.25 2021.11.24 2021.12.01 2022.01.26
公益委員会	2021.07.14 2021.12.07
放射線特別授業運営委員会	公益委員会と合同

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	2021.07.21	Web
2	2022.01.06	Web
3	2022.01.30	Web

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員長	藤間 英雄
委員	橋本 里見 小島 精一
同	渡辺 弘 田中 宏
同	富田 博信 潮田 陽一
同	今出 克利 八木沢英樹
同	平野 雅弥

イ. 医療画像展実行委員会 (秩父会場)

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の影響により中止

ウ. 医療画像展実行委員会 (浦和区会場)

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の影響により中止

エ. 医療画像展実行委員会 (川越会場)

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の影響により中止

オ. 医療画像展実行委員会 (越谷市会場)

新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症の影響により中止

カ. 医療画像展実行委員会 (深谷会場)

総会資料

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響により中止

キ. 医療画像展実行委員会（伊奈町会場）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響により中止

ク. 医療画像展実行委員会（春日部会場）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響により中止

ケ. 医療画像展実行委員会（行田会場）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響により中止

コ. 編集・情報委員会

役職名	氏名
委員長	清水 邦昭
副委員長	吉田 敦
委員	肥沼 武司 潮田 陽一
同	宮崎 雄二 八木沢英樹
同	大友 哲也 渡部 伸樹
同	堀越 隆之

サ. 学術委員会

役職名	氏名
委員長	城處 洋輔
副委員長	中根 淳 近藤 敦之
同	滝口 泰徳
委員	今出 克利 寺澤 和晶
同	土田 拓治 佐々木 健
同	伊藤 寿哉 大根田 純
同	亀山 枝里 妹尾 大樹
同	浅見 純一 吉澤 孝郁
同	戸澤 僚太 新島 正美

シ. 公益委員会

役職名	氏名
委員長	佐々木 健
副委員長	紀陸 剛志
委員	志藤 正和 内海 将人
同	石田 仁子 石川 里紗
同	大河原侑司 佐藤 克哉
同	宮崎 千晶 嶋崎 恭介
同	坂庭 琴美

ス. 総務・財務委員会

役職名	氏名
委員長	今出 克利
副委員長	八木沢英樹 潮田 陽一

委員	肥沼 武司
同	双木 邦博 大西 圭一
同	市川 隆史 大野 涉
同	矢崎 一郎 茂木 雅和
同	田中 達也 矢部 智
同	佐々木 剛 岡田 尚也
同	福田 栞 戸澤 茜

セ. 総会運営委員会

役職名	氏名
委員長	矢部 智
委員	石田 貴志 三島 裕介
同	瀬川麻衣子 増淵 康太
同	矢部 智 野口 裕輔

ソ. 総会実行委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
副委員長	富田 博信 潮田 陽一
委員	今出 克利 八木沢英樹
同	城處 洋輔 中根 淳
同	清水 邦昭 佐々木 健

(5) 表彰(敬称略)

叙勲瑞宝双光章受賞

橋本 里見、山本 英明

保健衛生知事表彰

芦葉 弘志

公衆衛生功労知事表彰

中山 進、庭田 清隆、今出 克利

公衆衛生事業功労者(財)日本公衆衛生協会会長表彰

土田 拓司、双木 邦博

(公社)日本診療放射線技師会表彰

永年30年勤続者表彰(17人、敬称略)

江原 敏彦、梶 功治、草間 勇一、
小林 博文、近藤 和彦、白石 雄一、
田中 宏、土谷 弘光、寺澤 和晶、
萩元 孝、平野 雅弥、丸山 一幸、
村田 優子、持田 雅明、山口 明、
渡邊 城大、渡部 進一

(公社)埼玉県診療放射線技師会表彰

永年20年40年勤続表彰対象者は総会当日に報告致します。

(6) 物故者 なし

(7) 会員の動向 (2022年2月15日現在)

項 目	会 員 数
2020年度末 会員数	1,381人
2021年度 新入会者数	19人
同 再入会者数	3人
同 転入者数	2人
同 転出者数	3人
同 退会者数	8人
2021年度末 会員数	1,394人

(8) 2021年度賛助会員18社 (順不同)

シーメンスヘルスケア株式会社
 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
 株式会社三田屋製作所
 富士フイルムヘルスケア株式会社
 株式会社メディカル・サービスT&K
 コノカミノルタジャパン株式会社
 カイゲンファーマ株式会社
 富士フイルムメディカル株式会社
 日本メジフィジックス株式会社
 株式会社フィリップス・ジャパン
 バイエル薬品株式会社
 富士フイルム富山化学株式会社
 株式会社サイカンシステム
 島津メディカルシステムズ株式会社
 株式会社東日本メディカル
 株式会社ドクターネット
 株式会社アゼモトメディカル

2. 学術教育活動報告

(1) 第5回学術ナイトセミナー

ステップアップのためのワンポイントアドバイス
 講 師：吉澤 孝郁、戸澤 僚太、浅見 純一、
 新島 正美
 日 時：2021年10月27日 (水)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：29人

(2) 第6回DR計測セミナー

講 師：堀切 直也、戸澤 僚太
 日 時：2021年11月11日 (木)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：16人

(3) AI (Artificial Intelligence) 講習会

講 師：中根 淳、平野 雅弥、渡部 大志
 日 時：2021年11月18日 (木)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：29人

(4) 第19回胸部認定講習会

講 師：滝口 泰徳、曾根 達也、笹原 重治、
 森 一也、戸澤 僚太、佐々木 健
 日 時：2021年12月5日 (日)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：20人

(5) 第12回CT認定講習会

講 師：富田 博信、染野 智弘、八木沢英樹、
 寺澤 和晶、中根 淳、城處 洋輔
 日 時：2021年12月12日 (日)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：18人

(6) CT 認定試験

日 時：2022年1月8日 (土)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：12人
 認 定 者：A認定 該当者なし
 B認定 嶋崎 恭介、中村 英明、
 岡野 翼、宮本 桃子

(7) 救急セミナー

講 師：井田 篤、大根田 純、野々浦成美
 日 時：2022年1月12日 (水)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：19人

(8) 乳腺セミナー

講 師：山田 智子、新島 正美、坂井 香澄
 日 時：2022年1月16日 (日)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：22人

(9) 第19回上部消化管検査認定講習会

講 師：浅見 純一、志田 智樹、伊藤 寿哉、
 池田 圭介、今出 克利、大森 正司
 日 時：2022年1月23日 (日)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：12人

(10) 胸部認定試験

日 時：2022年1月30日 (日)
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参 加 者：11人
 認 定 者：A認定 該当者なし

B認定 大塚 虹歩、輪島 健大、
白石 健吾、上野 真帆、
吉田 寛将、鈴木愛理沙、
中村 亮太、中里 奨

(11) 上部消化管検査認定試験

日 時：2022年2月6日（日）
場 所：Zoomを利用したオンライン開催
参 加 者：18人
認 定 者：A認定 該当者なし
B認定 中村 隆行、澤田 英二

(12) MRI基礎講習会

講 師：池田 欣正、細井 慎介、坂口 功亮、
近藤 敦之

日 時：2022年2月12日（土）
場 所：Zoomを利用したオンライン開催
参 加 者：46人

(13) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会

日 時：2022年3月20日（日）
場 所：Zoomを利用したオンライン開催
参加申込：224人

3. 編集・情報 活動報告

(1) 編集活動報告

2021年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第69巻263号から第69巻266号まで、計4回発刊致しました。

第69巻1月263号では、第34回SART 学術大会抄録集、誌上講座：「放射線治療における水吸収線量計測の基本のキホン」～その2～。特集：第33回SART学術大会 終了後抄録集、ブラッシュアップセミナー「一般撮影におけるデジタル画像の最適化を目指す」～コニカミノルタ ユーザー～、「デジタル画像の最適化を目指す」～FUJIFILM ユーザー～、「デジタル画像の最適化を目指す」～Canon ユーザー～、学術委員会企画「臓器別に考える～下肢動脈～」～下肢動脈疾患の基礎～、「下肢動脈MRIの撮像法」～各撮像法の原理と注意点～、「下肢動脈のCT」～当院の撮影法や画像処理～、「臓器別に考える～下肢動脈～」～下肢動脈疾患の治療について～。

第69巻5月264号では、誌上講座：「放射線治療における水吸収線量計測の基本のキホン」～その3～、特集：第34回SART 学術大会後抄録集、第10回定期総会資料など。

第69巻7月265号では、誌上講座：「電離放射線障

害防止規則改正への対応」、技術解説：株式会社千代田テクノ、株式会社 島津製作所、キヤノンメディカルシステムズ株式会社、GE Healthcare Japan株式会社、株式会社フィリップス・ジャパンの5社、第10回定期総会資料など。

第69巻10月266号では、誌上講座：「脊髄再生医療リハビリテーションにおける当院の対応と診療放射線技師・臨床検査技師の関わり」、特集：2020年度支部合同勉強会 抄録集、技術解説：富士フイルム富士化学株式会社、バイエル薬品株式会社などを掲載致しました。

(2) 情報活動報告

ア [会員向けHP]

- 1) 学術案内 (19件)
- 2) 巻頭言 (4件) 263～266号まで
- 3) 会誌 (4件) 260～263号まで
- 4) お知らせ (40件)

イ [一般向けHP]

- 1) 「会誌・バックナンバー」260～263号まで
- ウ [メールマガジン配信]
- 1) 配信7件 (no.106からno.112まで)
- 2) 登録14件

4. 新春の集い

新型コロナウイルスの感染拡大により開催中止とした。

5. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

6. 公益活動

(1) 医療画像展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 被ばく相談

ホームページにて18件 (現在2022/02/05)

(3) 放射線特別授業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(4) 被ばく相談事例検討会

講 師：佐藤 克哉、石田 仁子、内海 将人

日 時：2022年2月22日（火）

場 所：Zoomを利用したオンライン開催

参 加 者：26人

(5) 放射線被ばくに関する講習会

総会資料

講師：鈴木 賢昭、野中 孝志、大河原侑司、
嶋崎 恭介、北山 早苗、佐々木 健、
多田 将

日時：2022年2月19日（土）

場所：Zoomを利用したオンライン開催

参加者：34人

7. 支部報告

第一支部

支部理事 双木 邦博
監事 宮澤 浩治
役員 八木沢英樹 野々浦成美
福田 栞 小野寺衣里
戸澤 僚太 内藤 完大
小泉 秀一 菊地 優貴
鎌田 靖男 安田 一平
酒井 利幸 佐藤夏都美

(1) 支部役員会

日時：2021年9月9日（木）19：00～

場所：ZoomによるWeb開催

役員：8人

内容：新役員紹介、浦和区健康まつり、勉強会内容、
支部合同勉強会、今後の活動について

(2) 第1回支部勉強会

日時：2021年12月14日（火）19：00～

場所：ZoomによるWeb開催

参加人数：40人

内容：

(ア) メーカー講演

「キヤノンメディカルシステムズ株式会社

情報提供（CT/MRI AI技術のご紹介）」

萩原 友基、張 つぼみ、穴見 和寛

(イ) 一般演題

「当院でのMRIにおけるAiCEを用いた臨床応用」

さいたま市立病院 渡邊 真澄

「ディープラーニングCT画像再構成技術 AiCE

(Advanced Intelligent Clear-IQ Engine) 特性
～Aquilion PrimeSP 80列～」

JCHO 埼玉メディカルセンター 八木沢英樹

第二支部

会長（支部理事） 大西 圭一

会計 大西 圭一

役員 三島 裕介

第三支部

会長（支部理事） 市川 隆史

副会長 高橋 将史

会計 瀬川麻衣子

監事 今井 昇

役員 栗原 良樹 小玉 和寿

安部 健志 堰 祐一

(1) 第1回 支部役員会

日時：2021年4月23日（金）18：45～20：00

会場：埼玉医科大学病院 放射線会議室

参加人数：5人

内容：2021年度事業日程について

(2) 第1回 第三支部勉強会

日時：2021年7月2日（金）18：30～20：00

場所：COVID-19感染対策でZoomにて開催

内容：救急撮影時のポイント

技師講演

・CT一般撮影

埼玉医科大学国際医療センター 書上 誠

・MRI

埼玉医科大学国際医療センター 宮崎 裕也

参加人数：95人

(3) 第2回 支部役員会

日時：2021年11月15日（月）20：00～20：45

場所：COVID-19感染対策でZoom会議

内容：今年度の状況説明と勉強会の開催に関して

参加人数：6人

(4) 第2回 第三支部勉強会・総会

日時：2022年3月18日（金）18：30～19：30

場所：COVID-19感染対策でZoomにて開催

内容：「胸部認定取得に向けた読影の基礎」

埼玉医科大学総合医療センター中央放射
線部

白石 健吾

参加人数：14人

(5) 第3回 支部役員会

日時：2022年3月18日（金）19：30～20：00

場所：COVID-19感染対策でZoom会議

内容：役員交代による申し送り・次年度運営に
関して

参加人数：8人

第四支部

会長（支部理事） 大野 涉

副会長 柏瀬 義倫
 会 計 高井 太市
 役 員 大谷 智則 増淵 康太
 田中 智大 横田 文克
 柏瀬 義倫
 監 事 山田 伸司

(1) 支部合同勉強会

日 時：2021年5月22日(土) 13:30～

総合司会：羽生総合病院 大野 涉

講演内容：

1. 若手への教育方法 ～一般撮影編～
 - ・ファシリテーター
 白岡中央総合病院 木村 千尋
 丸木記念福祉メディカルセンター 柳下 友明
 - ・演者
 さいたま赤十字病院 池野 裕太
 上尾中央総合病院 仲西 一真
2. これってウチの施設だけ?! 教育方法の再検討
 埼玉県済生会栗橋病院 内海 将人
3. 診療放射線技師の業務拡大と講習会について
 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会副会長 兼
 日本診療放射線技師会副会長 富田 博信
4. 大人の ズムリ場 (Zoom)
 そこが知りたかった技師会～現役理事とガチトー
 ク～
 - ・司会 上尾中央総合病院 茂木 雅和
 - ・ディスカッサント
 久我山病院 柴 俊幸
 済生会川口総合病院 森 一也
 白岡中央総合病院 石田 仁子
 かわぐち心臓呼吸器病院 竹本 直哉
 深谷赤十字病院 石川 里紗
 - ・講師
 所沢ハートセンター 大西 圭一
 上尾中央総合病院 佐々木 健
 JCHO埼玉メディカルセンター 八木沢英樹

参加者：62人

(2) 医療画像展 (秩父市保健センターまつり)

日 時：2021年6月6日(日) 10:00～14:00

場 所：秩父市保健センター

内 容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボ
 ール釣り、被ばく相談など

※コロナウイルスの影響で中止

(3) 2021年度 第四支部 納涼会

※コロナウイルスの影響で中止

(4) 第2回 第四支部勉強会

日 時：2021年9月30日(木) 19:00～21:00

内 容：「フィリップスMRIのAI Solution」
 (株) フィリップス・ジャパン 森脇 聡 氏
 「MRIと人工知能」

シーメンスヘルスケア (株) 大澤 勇一 氏

「最新画像処理技術SynergyDriveのご紹介」

富士フイルムヘルスケア (株) 久野 勝之 氏

「キヤノンMRIによるArtificial Intelligence (AI)
 の活用」

キヤノンメディカルシステムズ (株) 萩原 友基
 氏

「GE-MRI装置におけるAI技術の実践」

GEヘルスケア・ジャパン (株) 吉野 要 氏

参加者：69人

(5) 第2回 第四支部役員会

日 時：2021年9月30日(木) 21:00～21:30

内 容：忘年会、勉強会、健康祭り

参加者：7人

(6) 医療画像展 (深谷市福祉健康まつり)

場 所：深谷ビックタートル・深谷市総合体育館

内 容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボ
 ール釣り、被ばく相談など

※コロナウイルスの影響で中止

(7) 第3回 第四支部勉強会

日 時：2022年1月20日(木) 19:00～20:30

内 容：「Philips CT最新技術」

(株) フィリップス・ジャパン 草山 裕介 氏

「もっと知りたい肺疾患 ちょっとCOVID-
 19」

小川赤十字病院 原口 絵美

「COVID-19診断へのMiniIPの利用～チームカ
 はマキシマム～」

小川赤十字病院 清水 美季

参加者：59人

(8) 第3回 第四支部役員会

日 時：2022年1月20日(木) 20:30～21:00

内 容：健康祭り、監査会、総会

参加者：7人

(9) 2021年度 第四支部 忘年会

場 所：マロウドイン熊谷

※コロナウイルスの影響で中止

(10) 医療画像展 (行田健康フォーラム2022)

総会資料

場 所：教育文化センターみらい
内 容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣り、被ばく相談など

※コロナウイルスの影響で中止

(11) 2021年度 第四支部監査会

日 時：2022年2月24日(木) 19:00～

参加者：8人

(12) 第4回第四支部勉強会・2021年度第四支部総会

日 時：2022年3月17日(木) 19:00～

講演内容：「シーメンスCT最新情報」

シーメンスヘルスケア(株) 大澤 勇一 氏

定期総会

参加者：25人

(13) 第4回 第四支部役員会

日 時：2022年3月17日(木) 20:30～21:00

参加者：7人

第五支部

支部理事 矢崎 一郎

支部役員 岩井 悠二

鈴木 孝 石原 優希

矢部 智 村本 圭祐

金子 初穂 中嶋 幸孝

矢作 悠馬 町永 努

加藤 広一

長坂 純 中村 優志

曾根 昌弘 駒崎 和弘

(1) 情報交換会

定期的に開催していた情報交換会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 医療画像展

コロナウイルス感染拡大防止のため中止

第六支部

会 長(支部理事) 茂木 雅和

副会長 仲西 一真

監 事 尾形 智幸 山口 明

学 術 安川 紘平 飯島 竜

池野 裕太 小野寺将真

広 報 吉井 肇

編 集 佐越 美香

総 務 小屋 匠 野口 裕輔

木村 千尋 茂木健太郎

会 計 大川斗喜也 牧 隆史

(1) 第1回 支部役員会

日 時：2021年4月23日(金)

場 所：Web

参加者：12人

(2) 2020年度 支部合同勉強会

日 時：2021年5月22日(土) 13:30～

場 所：Web

(3) 第六支部2021年度技術交流会

※新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により中止

(4) 第六支部納涼会

※新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により中止

(5) 2021年度 第六支部第一回定期講習会

日 時：2021年8月31日(火)

場 所：Zoom

参加者：130人

内容：

【プログラム】

Web講習会を受けるためのZoomの使用方法について(仮)

上尾中央総合病院 茂木 雅和

【症例報告】

症例1 急性期脳梗塞

上尾中央総合病院 坂庭 琴美

症例2 心筋梗塞

彩の国東大宮メディカルセンター 保坂隆之介

症例3 大動脈解離

上尾中央総合病院 嶋崎 恭介

症例4 胆嚢・胆管炎

白岡中央総合病院 山崎 大和

症例5 外傷症例

さいたま赤十字病院 岡田 尚也

(6) 第2回 支部役員会

日 時：2021年9月9日(木) 19:00～

場 所：Web

参加者：13人

(7) 忘年会

※新型コロナウイルス(COVID-19)の影響により中止

(8) 第3回 支部役員会

日 時：2022年1月13日(木)

場 所：Web

参加者：14人
 (9) 支部会計監査
 日時：2022年2月4日(金)
 場所：Web
 参加者：5人
 (10) 第六支部定期総会及び第二回定期講習会
 日時：2022年3月10日(木) 19:00～
 場所：Zoom (Web開催)
 参加者：20人
 内容：【告示研修について】
 『概要』 上尾中央総合病院 茂木 雅和
 『告示研修を受講して』
 さいたま赤十字病院 大川斗喜也

9. 研究会活動

(1) 埼玉医用乳房画像研究会活動報告
 ア. 第1回埼玉乳房画像研究会講習会
 日時：2021年6月2日(水) 19:00～21:00
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：
 ポジショニングの実践とリアルタイムディスカッション
 熊谷生協病院 新島 正美
 熊谷総合病院 亀山 枝里
 参加者：29人
 イ. 第2回埼玉乳房画像研究会講習会
 日時：2021年11月26日(金) 19:00～21:00
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：マンモグラフィの読影法
 1部：講義 埼玉県立がんセンター 辻村明日香
 2部：症例検討
 埼玉県済生会川口総合病院 高橋 美香
 参加者：30人
 ウ. 第77回画像の向こうの患者をみよう勉強会
 (症例検討会)
 日時：2022年2月24日(木) 19:00～21:00
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：症例検討会
 MMG さいたま赤十字病院 舘沼理保奈
 US 埼玉協同病院 佐藤夏都美
 MRI 埼玉県立がんセンター 辻村明日香
 病理 さいたま赤十字病院 山田 智子
 参加者：16人
 エ. 第3回埼玉乳房画像研究会講習会

日時：2022年3月27日(日) 9:00～12:00
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：
 講義1 品質管理の基礎 線量管理
 さいたま赤十字病院 舘沼理保奈
 講義2 マンモグラムによる乳腺密度分類評価に関する研究
 埼玉県済生会川口総合病院 土田 拓治
 特別講演 我が診療放射線技師生涯に一片の悔いなし～乳腺診療との関わりから～
 さいたま赤十字病院 尾形 智幸

参加者：14人
 (2) 2021年度 埼玉消化管撮影研究会活動報告
 ア. 第60回埼玉消化管撮影研究会
 講師：志田 智樹、大森 正司
 日時：2021年7月10日(土)
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 参加者：63人
 イ. 第61回埼玉消化管撮影研究会
 講師：小林 茂幸、志田 智樹、大森 正司
 日時：2021年12月22日(水)
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 参加者：75人
 ウ. 第62回埼玉消化管撮影研究会
 講師：池田 圭介、浅見 純一、大森 正司
 日時：2022年3月25日(金)
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 参加者：50人

2020年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. AI (artificial intelligence) 講習会について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-1) 承認
2. 名誉会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-2) 承認
3. 2020年度永年勤続表彰対象者について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-3) 承認
4. 2020年度決算について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-4) 承認
5. 2020年度監査報告（案）について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-5) 承認
6. 新入会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-6) 承認
7. 2021・2022年度 会長、副会長、常務理事の選任について、審議し承認した。(議案書番号：理-7) 承認
8. 相談役の選任について、審議し承認した。(議案書番号：理-8) 承認
9. 新入会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-9) 承認
10. 2021年度第19回上部消化管検査認定講習会および認定試験の開催について、資料をもとに審議し承認した。
(議案書番号：理-10) 承認
11. DR計測セミナーの開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-11) 承認
12. 2021年度救急セミナーの開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-12) 承認
13. 第12回CT認定講習会の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-13) 承認
14. 第5回SART学術ナイトセミナーの開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-14) 承認
15. 第19回胸部認定講習会の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-15) 承認
16. 乳腺セミナーの開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-16) 承認
17. 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催と大会テーマ選定について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-17) 承認
18. 新入会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-18) 承認
19. 倉庫2F内装修繕について、審議し承認した。(議案書番号：理-19) 承認
20. 第35回SART学術大会 特別講演で「元読売巨人軍楨原寛己選手」企画について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-20) 承認
21. 第35回SART学術大会 特別講演で「五月女康作 先生」企画について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-21) 承認
22. 第35回SART学術大会の会場におけるWeb環境検証について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-22) 承認
23. 第35回SART学術大会の参加費について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-23) 承認
24. 第2回SART被ばく相談事例検討会の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-24) 承認
25. 本会広報手段として、SNS発信の運用および規定案の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-25) 承認
26. 埼玉県診療放射線技師会ホームページの更新費用（3か月間）について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-26) 承認
27. 新入会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-27) 承認
28. 会誌e-bookの見積りについて、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-28) 承認
29. 倉庫2F内装修繕について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-29) 承認
30. 2022年度診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー（第23回SARTセミナー）の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-30) 承認
31. 2022年、2023年の会誌作成業者の決定について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-31) 承認
32. 2021年度役員研修会の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-32) 承認
33. 放射線被ばくに関する講習会の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-33) 承認

34. MR基礎講習会の開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-34) 承認
35. 新入会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-35) 承認
36. SARTホームページの掲載回数について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-36) 承認
37. 第11回(2022年度)定期総会開催について、審議し承認した。(議案書番号：理-37) 承認
38. 2022年事業計画(案)について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-38) 承認
39. 2022年度表彰推薦について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-39) 承認
40. 埼玉県診療放射線技師会 永年勤続表彰対象者(20年・40年)の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-40) 承認
41. 2022年度支部合同勉強会 Web開催について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-41) 承認
42. 2022年度埼玉県診療放射線技師会予算案について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-42) 承認
43. 新入会員の承認について、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-43) 承認
44. 第24回秩父市保健センターまつりに参加し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置の貸出しについて、資料をもとに審議し承認した。(議案書番号：理-44) 承認

2022年度事業計画 コロナ終息後の飛躍

学会・講習会運営の新たなスタイル

世界的なコロナ禍となり2年がたった。当初はここまで長引くとは考えてなく、2020年度は学会や講習会の中止や延期を余儀なくされた。2021年度ではWeb開催、Webを併用したハイブリッド型の手法を私たちは手に入れることができた。半面、実際に現地参加した参加者からは、情報収集やディスカッションは、Webよりも現地参加の方がよりリアリティのある情報が得られるという意見も聞かれた。

今後、新型コロナウイルス感染症がどのような形でいつぐらいに終息するかは分からないが、専門家からは、感染力が強く毒性が低いオミクロン株は終息の兆しではないかという見方もある。

2022年度は、予測がつかない感染ピークを前提にして学会、講習会の開催を止めずに常に前進あり続けたい。

タスクシフト・シェアについて

2021年10月1日より、タスクシェアによる業務拡大に関する医療法改正があったことをご承知かと思う。予測のつかないコロナ禍で、講習会開催が思うように企画ができず、会員の皆さまにはご迷惑をお掛けしている。今後は講習会が開催され多くの診療放射線技師が受講することで、医療現場においてタスクシェアが徐々に浸透していくであろう。地域や病院によりさまざまな運用はあると思うが、医師の負担軽減を実現し、国民医療の向上に大きく寄与するものと確信している。

2022年度は、告示研修を診療放射線技師の皆さまにより理解をいただき推進していきたい。

横方向への飛躍

私たち公益社団法人は県民または国民の公衆衛生の発展のためにさまざまな公益や学術活動をしている。一部に会員のための事業も行っているが、活動の半分以上は公益活動が求められている。

診療放射線技師の分野で飛躍することも大切であるが、自分たちの垣根を越えて積極的な活動を行い、社会から評価を頂くことは、本来の公益法人として重要な事業である。例えば、他の医療団体との連携や、学

校教育、地域活動、行政的な事業で飛躍することは社会から評価され、必要とされることは社会的地位の向上に直結するものと確信している。

2022年度は、より横方向への飛躍と社会的に評価される職業を目指したい。

1. 職業人としての質の向上

- (1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催
 - イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会
 - ウ. 胸部撮影認定講習会
 - エ. 上部消化管検査認定講習会
 - オ. フレッシュアップセミナー（SARTセミナー）
 - カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー（医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成）
 - キ. CT認定講習会
 - ク. MRI基礎講習会
 - ケ. 乳腺セミナー
 - コ. DR計測セミナー
 - サ. 救急撮影ケーススタディー（日本救急撮影技師認定機構との共催）
 - シ. 読影力向上のための講習会（支部開催セミナー）
 - ス. AI（Artificial Intelligence）関連講習会の開催
 - セ. オンラインセミナー、学会の充実およびデジタル化
 - ソ. 業務拡大2015年統一講習会の継続および告示研修開催への協力
 - タ. オンライン会議の推進
- (2) 会員講師の育成と体制づくり
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進
 - ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
 - イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力
 - ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援
 - エ. 埼玉県臨床検査技師会への協力
 - オ. 日本放射線技術学会関東支部会との合同企画
 - カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画

キ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進）

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進事業の強化
- (3) 会員データベースの再構築

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応
- (7) 中学高校における特別授業の担務

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実
 - ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
 - イ. 学術データベースの充実
- (3) e-book 事業の推進
- (4) メールマガジンの有効利用

5. その他

- (1) 他医療職種団体との連携
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成24年4月1日制定

平成27年5月30日改正

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
- (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会などの開催
- (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
- (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
- (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第3章 会員

(種別)

第5条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
- (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
- (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体

2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第6条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第7条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して1年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡、又は解散したとき。

第4章 総会

(構成)

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬などの額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するには、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内

- 2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。

- 2 相談役は、次の職務を行う。
 - (1) 会長の相談に応じること。
 - (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 相談役の選任及び解任は、理事会において決議する。
- 4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会**(構成)**

第27条 この法人に理事会を置く。

- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権 限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

- 2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。
- 3 常務理事会は、次の職務を行う。
 - (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
 - (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招 集)

第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。

- 2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決 議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(事業年度)

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事の名簿
- (3) 理事及び監事の報酬などの支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支部

(支部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額9,000円
賛助会員（個人）	年額9,000円
賛助会員（法人）	年額25,000円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

- 2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。
- 3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。
- 4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

- 2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程 (本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の役員等が、本会の主催する講演会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会等」という。）の講師を務めたときは、その謝金として、1回につきその時間が30分以内のときは5,568円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超えるときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期刊行物又は書籍の原稿を当会員または日本診療放射線技師会会員が執筆したときは、1,000字毎に2,500円を限度として執筆謝金を支払うことができる。但し、1回の限度額を20,000円とする。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速やかに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 診療放射線技師以外の者が本会の発行する定期刊行若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算して支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

1 この規程は、平成30年6月18日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放射線技師または診療エックス線技師を主な対象者とした、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関する研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」という）の講師への謝礼について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につき55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等の会場まで公共交通機関を使用した場合における交通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算して支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後とし、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給する。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、会長が理事会の議決を経て定めたものについては2,000円とする。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品

費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条（1）の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

（1）本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

（2）本会が刊行する会誌を無料で配布を受けることができる。

(3) メーリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

(4) 本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割引料金で参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

- (1) 選挙の公示
- (2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示
- (3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認
- (4) 総会において選挙結果の報告
- (5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うものとする。

のとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

- (1) 理事
- (2) 監事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関わる事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

- (1) 議長団の選出の方法
- (2) 議事日程及び進行
- (3) 総会出席会員の資格審査
- (4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条 件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認められた者

(種 類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推 薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選 考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決 定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事

項についても理事会において決定する。

(内 容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実 施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予 算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (2) 学術奨励賞 若干名
- (3) 学術新人賞 若干名

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

(定義)

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

(設置申請)

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式一研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(承認基準)

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- (1) 学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- (2) 当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- (3) 本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

(解散及び廃止)

第5条 研究会は、研究会解散届（様式一研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。

2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

(名称)

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

(活動)

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。

- (1) 研究会を開催する
- (2) 研究成果を学術大会等に発表する

(報告)

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

(助成)

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。

2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

(会議室の利用)

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。

- (1) 理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
- (2) 本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
- (3) その他、会長が特に認めた会議、講習会等

(使用手続)

第6条 前条のうち(1)に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

(使用の優先)

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

- | | |
|-----------------|--------|
| (1) 09:00~12:00 | 2,000円 |
| (2) 13:00~17:00 | 2,000円 |
| (3) 18:00~21:00 | 2,000円 |
| (4) 09:00~17:00 | 4,000円 |
| (5) 13:00~21:00 | 4,000円 |
| (6) 09:00~21:00 | 5,000円 |

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

別 表

理事の職務権限

決 裁 事 項	決 裁 権 者		
	会 長	副会長	常務理事
事業計画及び予算の案の作成に関する事	○		
事業報告及び決算の案の作成に関する事	○		
人事及び給与制度の立案に関する事	○		
重要な使用人以外の者の任用に関する事	○		
出張に関する事	○		
契約の締結	○		
支出			
一件 20 万円以上（理事会承認が必要）	○		
一件 20 万円未満	○		
一件 5 万円以下		○	○

別 紙

選挙立候補届

現住所 _____

氏名 _____ 年齢 _____

勤務先名および住所 _____

年 月 日執行の
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（理事・監事）
選挙に立候補します。

上記の通りお届けします。

年 月 日

氏名 _____ 印 _____

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿

選挙候補者推薦届

候補者住所 _____

氏名 _____ 年齢 _____

勤務先名および住所 _____

年 月 日執行の
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（理事・監事）
選挙に上記の者を推薦します。

年 月 日

推薦者氏名 第○支部代表 印 _____

（理事・監事）候補への推薦を受諾いたします。

年 月 日

候補者署名 _____ 印 _____

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿

互助給付金申請書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事
印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生年月日
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒 電話
申請代理者氏名	印
<small>事情により本人が申請できない場合、ご署名下さい。</small>	
続柄	
会費免除申請理由	(1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 ()
<small>※該当する申請理由に○をつけて下さい。</small>	
休業期間	年 月 日～年 月 日まで <small>※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。</small>
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄

受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 研究会の名称
- 代表者、役員等の名前
- 連絡先
- 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 研究分野、内容 (具体的に)
- 研究会履歴
- 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

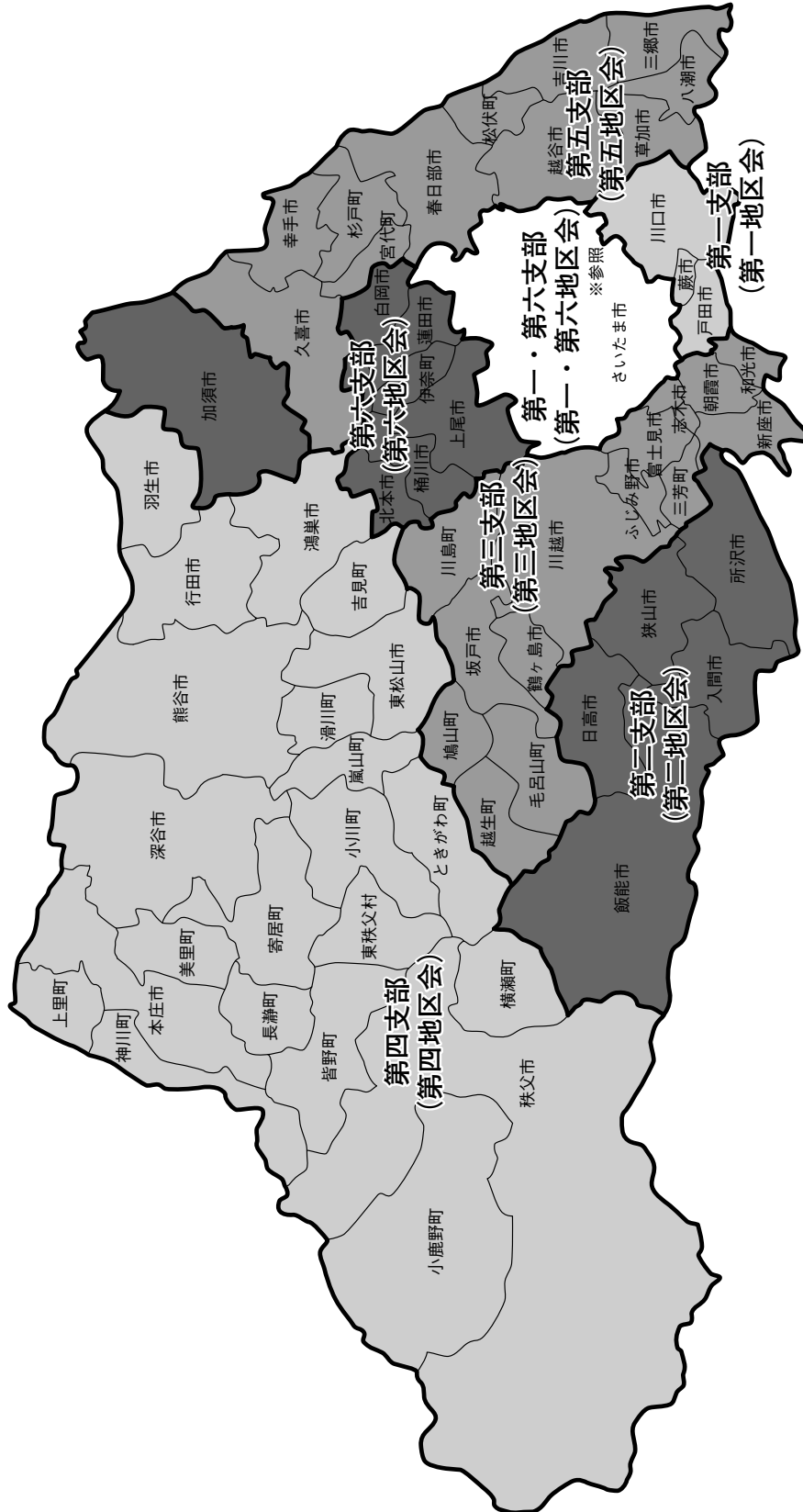
〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

記

- 研究会の名称
- 代表者、役員等の名前
- 連絡先
- 廃止の理由
- 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (2022年4月1日現在)



※ 第一支会 桜区・浦和区・南区・緑区
第六支会 上記以外のさいたま市内区

2022年度収支予算書

自2022年4月1日至2023年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計	収1				
1- 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
受取会費	0	0	0	3,745,500	3,745,500		0		12,485,000	
正会員受取会費				3,618,000	3,618,000		0		12,060,000	@9000×1310 新入50 貸倒30
賛助会員受取会費				127,500	127,500		0		425,000	@25000×17
事業収益	1,070,000	0	880,000	0	1,950,000	411,084	0	411,084	2,361,084	
講習会受講料等収益	740,000				740,000		0		740,000	セミナー参加料
学術大会参加登録費収益	330,000				330,000		0		330,000	@2000×150人 3000×10人
会誌広告収益		0	880,000		880,000		0		880,000	@100000X1 @600000X13
福利事業収益					0		0		0	
貸付収益					0	411,084			411,084	倉庫2F賃貸良
受取寄付金	0				0		0		0	
雑収益	400,000	0	30,000	0	430,000	0	0	173,300	603,300	
受取利息					0		0	100	100	預金利息
雑収益	400,000	0	30,000		430,000		0	173,200	603,200	日放委託料 学術大会機器展示料 25,000円×14社
経常収益計	1,470,000	0	910,000	3,745,500	6,125,500	411,084	0	411,084	15,449,384	
(2) 経常費用										
事業費										
給与手当	206,000	154,500	154,500	0	515,000		0		515,000	事務員給与と被分
福利厚生費	96,000	72,000	0	0	168,000		0		168,000	医療画像展・講習会 役員食代
会議費	136,000	40,000	135,000		311,000		0		311,000	委員会会議費等
旅費交通費	597,500	193,000	54,000		844,500		0		844,500	委員会交通費・日当
通信運搬費	202,122	74,390	723,990		1,000,502		0		1,000,502	電話・ネット、郵送費等
減価償却費	52,340	17,447	17,447		87,234		20,354		107,588	
消耗什器備品費					0		0		0	
消耗品費	138,574	96,391	56,158		291,123		0		291,123	
修繕費	30,000	30,000	30,000		90,000		0		90,000	
印刷製本費	8,000		2,174,700		2,182,700		0		2,182,700	学術大会マニキュアル 会誌印刷代等
光熱水料費	46,800	15,600	15,600		78,000		0		78,000	電気・ガス、水道
賃借料	1,244,625	132,000	84,964		1,461,589		0		1,461,589	会場費・リース料等
保険料	74,138	24,712	24,712		123,562		0		123,562	
諸謝金	1,829,188	212,925	132,000		2,174,113		0		2,174,113	講師料・原稿料等
租税公課	24,270	8,090	8,090		40,450		20,000		60,450	
支払手数料	11,000	4,400	12,540		27,940		0		27,940	
渉外費	15,000	5,000	5,000		25,000		0		25,000	
委託費	99,000		501,600		600,600		25,000		625,600	学術大会スタッフ・ HP管理他
雑費	20,000	20,000	20,000		60,000		0		60,000	

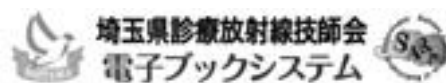
埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステムのお知らせ

当会では、1954年からの会誌を電子ブック化（e-book）することになりました。
現在は、2000年まで閲覧できるようになっておりますが、順次拡大していく予定です。
当会ホームページ内、「埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステム」にアクセス（または、下記URL、QRコード）していただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。
閲覧のためのパスワードは毎年変更する予定となっており、今後、会員の皆さまには会誌でご案内させていただきます。

アクセスURL : <https://e-books.sart.jp/sart/login.html>



2022年用
ログインID : sart_e-book2022
パスワード : sart_member2022



ログインはこちらから

ログインIDを入力	→	ユーザー名
パスワードを入力	→	パスワード
		ログイン

(公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を 診療放射線技師が会員価格で受講ができます。

このたび、職能団体のチーム医療を目的として、(公社)埼玉県診療放射線技師会と(公社)埼玉県臨床検査技師会で、お互いが企画する講習会を会員価格で受講することができる取り決めを行いましたのでお知らせ致します。

これまで職能団体の役員同士の交流はありましたが、会員同士の交流の機会はあまりありませんでした。最近では、診療放射線技師が心電図や血液データなどに興味を持ち、臨床検査技師の方が画像に興味を持っていると聞きます。そこでお互いの会員レベルの学術的交流を目的として企画致しました。

今後は、他職種との学術的な交流を深めるきっかけになればと考えております。



埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内

当会では、イベントや勉強会情報があるときに、不定期でメールマガジンを配信しております。登録数は徐々に増えてきておりますが、まだまだ少ない状況です。

そこで、今回このようなページを企画致しました。ご覧の皆さまには、ぜひ当会ホームページよりメールマガジンにご登録いただけますようお願い申し上げます（お名前とメールアドレスだけで登録できます）。

以下、No.93 で配信したメールマガジンの例です。多くの皆さまの登録をお待ちしております。

【埼放技メールマガジン】No.93

▼編集情報委員会からのお知らせ▼

埼放技メールマガジンのご利用ありがとうございます。

学術案内などの日程を埼玉県診療放射線技師会HPに掲載しております。

<http://www.sart.jp/>

第35回日本診療放射線技師学術大会（埼玉県開催）

開催日：2019年9月14日（土）から16日（月・祝）

会場：大宮ソニックシティ

◆…—【近日開催イベント・お知らせのご案内】—…◆

平成31年4月16日（火）締め切り 告示（2019・2020年度 役員選挙について）

【支部】<http://www.sart.jp/radiotech/branch/> からお進みください。

平成31年1月24日（木）第四支部勉強会のお知らせ

平成31年1月24日（木）第五支部情報交換会のお知らせ

【学術案内】<http://www.sart.jp/radiotech/information/> からお進みください。

平成31年1月25日（金）第1回SART 学術ナイトセミナー～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～

平成31年1月26日（土）平成30年度胸部認定試験開催のお知らせ

平成31年1月26日（土）第6回サイコメ実臨床セミナー「災害医療」一緒に学びませんか！

平成31年2月2日（土）第29回埼玉県大腸がん検診セミナー

平成31年2月2日（土）地元開催の全国大会で研究成果を発表しよう～研究発表支援セミナー～

平成31年2月9日（土）日本放射線公衆安全学会 第28回講習会 プログラム

改正RI法における医療現場の対応の最終準備

平成31年2月15日（金）第43回SAITAMA MRI Conference ご案内

平成31年2月22日（金）第75回埼玉CT Technology Seminar開催のご案内

平成31年2月24日（日）平成30年度SART TART支部合同勉強会骨軟部撮影セミナー2019

【埼放技メールマガジン】

アドレスの変更・削除などは、以下のアドレスへご連絡ください。mail_magazine2007@sart.jp

賛助会員さまへのお知らせ

編集情報委員会常務理事

清水 邦昭

会誌「埼玉放射線」への“技術解説・広告”のご依頼

日ごろから埼玉県診療放射線技師会へのご支援・ご協力ありがとうございます。
“2022年度賛助会員さま”の特典の1つに、会誌「埼玉放射線」に技術解説・広告掲載があります。

会誌掲載投稿のお願いを申し上げます。詳細については以下に記します。

掲載内容：技術解説（製品紹介）A4 3頁 + 広告A4 1頁 = 計 4頁

会誌「埼玉放射線」発行月：1月・5月・7月・10月となります。

原稿締め切り：発行月1ヵ月前の第1月曜日までに電子メールでお送りください。

なお、掲載希望月は賛助会員さまでお決めいただき、あらかじめ電子メールにてお知らせください。

また、1企業さまにつき年度内に1回の掲載とさせていただきます。

(2022年7月・10月・2023年1月・5月発行月までに1回)

原稿詳細：以下に示します。

企画書および執筆要綱

埼玉放射線「技術解説（製品紹介）」

企画協力：(公社)埼玉県診療放射線技師会 会誌「埼玉放射線」

企画意図

急速に進歩する医療業界においては、常に最新機器や医薬品・放射線被ばくの観点から、施設や線量測定技術などの情報、今後の動向を探ることが重要である。広い視野を持った業務遂行、被ばくに関する説明など、今後における業務の一助となることを目的とする。

対象読者

「埼玉放射線」の読者である(公社)埼玉県診療放射線技師会の会員（診療放射線技師）、「埼玉放射線」の配布先関係者（発行部数1490部）。

<執筆要項>

【執筆者】 当会、賛助会員企業さま

1、本文「技術解説」A4 3頁

【本文】

- ・でき上がり（図表画像データ含む）
◇左段22字×29行 右段22字×34行（1386字/頁）

【図表・画像データ】

- ・でき上がり
◇本文約200字程度で換算をしてください。
◇2段組の片側10行分を想定しております。
◇大きな図表の場合は、600字程度（段抜き15行程度）。

【その他】

- ・納品は、MS-Wordのひな形に展開し、電子メールでお願い致します。
- ・可能であれば会社のロゴをお願い致します。
◇会社のロゴは、広告原稿と別に取り扱いを致します。
◇会社のロゴは、初頁2段組の片側5行分を想定しております。

【注意事項】

- ・技術的内容を含めてご執筆ください。自社製品の特徴など、宣伝を伴った文言を用いても構いませんが、他社との比較を行う場合は、技術的な論拠に基づき、客観的な内容としてください。
- ・商品名や型番は、本文内に表記してください。
- ・編集構成の都合上、体裁に関しましては、お任せください。
- ・入稿後に編集を行い、印刷原稿が組み上がった時点で、電子著者校正をお願い致します。
- ・図表・広告を含め、全て白黒印刷となります。

2、広告 A4 1頁

本企画では、執筆料のお支払いなどはございません。ただし、A4版1頁の広告スペースを無償にて提供致します（通常スポット広告A4版1頁で2万円）。

広告原稿としては、「埼玉放射線」掲載上、違和感のない製品紹介を中心とした内容（一般的な商業誌に掲載するものと同様の広告を想定）とし、特定イベント案内などの広告は、ご遠慮ください。

【問い合わせ・納品先】（公社）埼玉県診療放射線技師会 編集情報委員会 清水 邦昭
勤務先：深谷赤十字病院 放射線科
E-mail：k-shimizu@sart.jp TEL：048-571-1511

「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報委員会

常務理事 清水 邦昭

本会会員は、専用アカウント（ID/PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード提供する医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインで掲載の本会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

2022年度アカウントについて
＜～2023年3月末日まで有効＞

学会さま専用ID：1100007180-07
パスワード：6hrrh4uk

雑誌名：埼玉放射線

雑誌URL：<http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita>

貴会雑誌URLをクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。

画面右側の会員認証欄に上記ID/PWご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。

（添付：学会誌閲覧方法.pdf ご参照）

*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1個発行し、年度ごと（4月～3月）で変更致します。

次回は、2023年2月上旬に新アカウントを事務局さま（本Mailアドレス）へご案内致します。

*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

なお、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと

「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。

あらかじめご承知願います。

お知らせ

* メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878



埼玉県内の核医学治療の現状

日本放射線公衆安全学会 諸澄 邦彦

1. はじめに

令和3年8月19日に「放射性医薬品を投与された患者の退出等について」(医政地発0819第1号)と題する厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(以下「医政地発0819通知」)が発出された¹⁾。従来は、医療法施行規則第30条の15、また「放射性医薬品を投与された患者の退出について」(平成10年6月30日付け医薬安発第70号厚生省医薬安全局安全対策課長通知 以下、「医薬安発第70号通知」)²⁾に基づき放射線管理を行って来たが、核医学治療(RI内用療法)の発展に対応できるように内容が見直された通知である。

核医学治療以外の放射線治療では外部照射や組織内照射が行われている。放射線治療は増殖のために分裂する細胞の能力を破壊するため、放射線を照射されると健康な細胞も腫瘍細胞と同様に(それぞれの細胞特性を利用し、健康な細胞への影響は最小化しているが)破壊される。外部照射の標準的な治療では、1週間に5日間照射され、それが5~7週間続けられる。組織内照射では、イリジウム-192による多分割照射やヨード-125のシードを用いた永久刺入法などが行われている。それに対して核医学治療はRI内用療法とも言われ、古くは1940年代から用いられて来たヨウ化ナトリウム(I-131)カプセルを内服するなど、放射性医薬品を体内に投与する放射線治療である(図1)。

しかし、「RI内用療法」の実施は限られたものとなっており、慢性的な入院待ちとなっている。「RI内用療法」を専用の病室で行うように制限しているのは、医療法施行規則第30条の15の「患者の入院制限」規定である。



図1：RI内用療法を専用で行う放射線治療病室

医療法施行規則第30条の15「患者の入院制限」

病院又は診療所の管理者は、診療用放射線照射装置若しくは診療用放射線照射器具を持続的に体内に挿入して治療を受けている患者又は診療用放射性同位元素若しくは陽電子断層撮影診療用放射性同位元素により治療を受けている患者を放射線治療病室以外の病室に入院させてはならない。ただし、適切な防護措置及び汚染防止措置を講じた場合にあっては、この限りでない。

この放射性医薬品などにより治療を受けている患者の入院については、他の患者や放射線診療従事者などの放射線防護の観点から、原則、放射線治療病室に入院することとされている。そして、放射性医薬品を投与された患者が医療施設より退出・帰宅する場合、公衆および自発的に患者を介護する家族などが患者からの放射線を受けることになり、その安全性に配慮する必要がある³⁾。医政地発0819通知は、医療法施行規則第30条の15の「患者の入院制限」規定のただし書きに基づく特別な措置を講じた病室の入院について、これまで緊急時などの場合に使用されてきたのを、「・・・同項ただし書きに基づき、適切な防護措置及び汚染防止措置を講じた場合には、一般病室等に入院させることも可能・・・」としており、考え方を明示することで実質的には規制が緩和されている。

今回の医政地発0819通知は、ルテチウムオキソドトロチド (Lu-177) の使用を念頭に置いた通知であり、適切な防護措置および汚染防止措置の具体的な内容については「医療放射線の適正管理に関する検討会」(令和3年6月24日開催)でも関係者間で議論され、関係学会で作成されたガイドラインを踏まえた適切な対応を医療現場に期待したものである⁴⁾。

2. 埼玉県内の放射線治療の現況

放射線治療は照射方法の違いによって大きく2種類に分けられる。外部照射と小線源治療であり、リニアックを用いた外部照射は、コンピュータの進歩によりIMRT(強度変調放射線治療)など革新的な発展を遂げている⁵⁾。

一方、体内に放射線源を入れ内部からがん放射線を直接照射する小線源治療の現状はどうか。畑中星吾などの調査(2020年)では、埼玉県内における小線源治療は、高・低線量率のどちらも実施している施設は2施設、高線量率のみ実施は2施設、低線量率のみ実施は2施設、未実施は16施設であった⁶⁾。

高線量率治療の実際の照射ではRALS(Remoto After Loading System)が用いられている。使用されるガンマ線源は高線量率治療ではイリジウム-192であり、この方法は、外部照射よりも集中的にがん病巣に照射できること、治療期間が短くて済むことなど大きなメリットがあるが、2021年10月1日現在の小線源治療装置設置施設名簿を見ると、埼玉県内の高線量率(HDR)治療装置の設置は4施設に留まっている⁷⁾。

小線源治療には、子宮腔などの管腔内に放射線源を入れて治療する腔内照射だけでなく、前立腺がんや舌がんなどに対し、その組織に直接針を刺し線源を入れて照射する組織内照射がある。このような小線源治療には短期間に数回の比較的多い線量かける腔内照射による高線量率治療と、線源を永久的に埋め込んで治療する組織内照射による低線量率治療がある。低線量率治療ではヨウ素-125シード線源永久挿入による前立腺がん密封小線源療法が、早期前立腺がんに対する治療選

択肢のひとつとなっている。こちらも2007年8月25日時点、県内で実施していたのは3施設であり、2021年12月時点でも4施設に留まっている。新たに治療を開始する施設が少ないのは、ロボット支援前立腺全摘術が増加しているためとの分析もある⁸⁾。

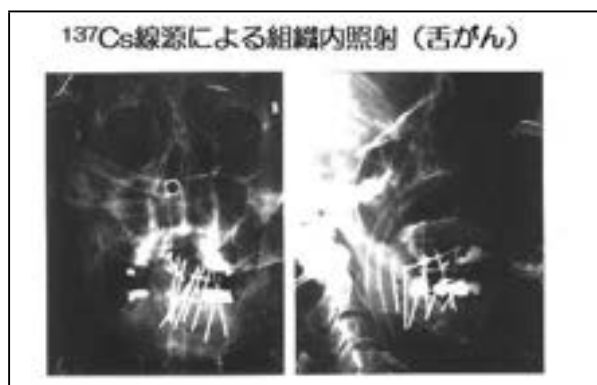


図2 組織内照射の一例

舌がんに対しては、舌の一部を切除する外科手術が施行される例が多いが、味覚が損なわれ、涎が続くなど手術後のQOL(生活の質)の低下は避けられない。Cs-137針を舌の腫瘍部に刺入するのは、一見すると痛々しいものにも見えるが、麻酔下で行われるので痛みを伴わず、その治療効果には目を見張るものがある(図2)。

また病巣に直接刺入した針を抜けないように絹糸で固定して連続照射するので、舌がんの場合は5~7日間程度の入院が必要となる。

Cs-137針の糸通しと滅菌、そして腫瘍部位へ針を刺す術者の手指の放射線被ばくは避けられない。また過去には小線源紛失事故も報告されているので、これら一連の行為における放射線管理も重要であるのは言うまでもない。



図3 小線源治療手術室

3. 国内で利用可能な核医学治療とその課題

わが国で保険診療として行われているRI内用療法は、2022年3月末時点でも限られている(表1)。

表1 日本で利用可能な核医学治療

日本で利用可能な核医学治療	
・ 甲状腺疾患 ⇒ 1940年代から実施	ヨウ化ナトリウム (I-131) カプセル
・ 骨転移疼痛(緩和治療) ⇒ 2007年承認	塩化ストロンチウム (Sr-89) 「メタストロン」
・ 悪性リンパ腫 ⇒ 2008年承認	イットリウム (Y-90) 静注用セット (インジウム (In-111) も利用) 「ゼバリン」
・ 骨転移を有する去勢抵抗性前立腺がん ⇒ 2016年承認	塩化ラジウム (Ra-223) 「ゾーフィゴ」
・ ソマトスタチン受容体陽性の神経内分泌腫瘍 ⇒ 2021年承認	ルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) 「ルタテラ」

1940年代から実施されているヨウ化ナトリウム (I-131) を内服する甲状腺がんに対する治療は、医療法施行規則の「患者の入院制限」により放射線治療病室が必要となる。この施設基準だけでなく、2003(平成15)年に導入されたDPC (Diagnosis Procedure Combination: 診断群分類) では放射性医薬品カプセルの薬価が薬剤費に包括されたことにより、核医学治療から撤退する病院が続いた。さらに2004(平成16)年には独立行政法人制度の導入により、不採算部門であるRI治療病室を廃止する国立大学病院もあり、2021(令和3)年時点で埼玉県内では2施設にまで減少した⁹⁾。

また、がんの骨転移による疼痛に対する治療薬として2007年に承認されたメタストロン (Sr-89) は、製造上の問題により2019年2月で廃止となった。さらにゼバリンインジウム (In-111) とゼバリンイットリウム (Y-90) 静注セットも、イブリツモマブ (抗体) 原薬の製造に支障が生じ、2020年9月現在供給停止となり、供給再開までに年単位の時間を要するとのことである¹⁰⁾。

一方、骨転移のある去勢抵抗性前立腺がんに対する塩化ラジウム (Ra-223) は、国内で「ゾーフィゴ」として2016(平成28)年に保険承認(1回684,930円)された。この薬剤は、国内で初

めてのα線放出RI内用療法薬であり、これまで整備されていなかったアルファ線放出製剤に対応した被ばく管理マニュアルが、関連学会により実施要綱「適正使用マニュアル」として策定され、それに従った治療が行われている¹¹⁾。この薬剤は入院の必要がなく、外来治療が可能であるメリットは大きい。前立腺がんの放射線治療 (Ra-223) を相談できる病院として、埼玉県内では10施設が検索できる。ただ原料であるアクチニウム (Ac-227) は、核燃料物質であるトリウムを原料として原子炉で製造する必要があるため、国際的な輸出入規制があり、国内自給が困難な輸入製剤である点が課題として残る。

そして今回のルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) は、2021(令和3)年6月23日に薬事承認、同年8月12日に薬価収載され、次期診療報酬改定までの間は包括評価の対象外とし、出来高算定(2,648,153円/回)となっている。薬事承認に伴い発出された医政地発0819通知は、別添の「放射性医薬品を投与された患者の退出に関する指針」と併せて、「特別な措置を講じた病室に係る基準、管理・運用及び行動規範に関するマニュアル」が厚生労働省から発出されている⁴⁾。また、日本アイソトープ協会では、安全取扱講習会を開催している¹²⁾。

核医学治療は、患者の延命のみならず、生活の質(QOL)も向上に大きく寄与するものである。そして核医学治療の実施に当たり、放射性医薬品を投与された患者が医療機関より退出・帰宅する場合、公衆および自発的に患者を介護する家族等が患者からの放射線を受けることになるので、その安全性に配慮する必要がある。

4. 核医学治療に求められる安全管理

核医学治療の導入と実施にあたり、実施病院などの医師、放射性医薬品の取り扱いおよび放射線安全管理などに携わる診療放射線技師ならびに患者の看護などに携わる看護師など医療関係者によるチーム医療による組織的取り組みが必要である。

4-1 医療法に基づく届出等に係る手続き

核医学治療を実施する病院などは、医療法施行規則第30条の8、同第30条の9および同第30条の11に規定する使用室の構造設備などが、同第30条の13～第30条の26に規定する基準に適合していなければならない。通常の核医学検査を実施している病院であれば、新たに核医学治療に用いる放射性医薬品について医療法施行規則第24条第8号に基づいた届出などに係る手続きを行う必要がある。

ヨウ化ナトリウム (I-131) を内服する甲状腺がんに対する治療では、同規則第30条の12に規定する放射線治療病室への入院が必要になる。一方、ルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) の場合は、放射線治療病室ではなく、同規則第30条の15のただし書きに規定されている「適切な防護措置及び汚染防止措置」を講じた病室（以下、特別な措置を講じた病室）を使用する場合には、当該病室の要件、基準及び患者の入院中における管理・運用を定める必要がある。

4-2 特別な措置を講じた病室の要件⁴⁾

医政地発0819通知に定める退出に係る基準を満たすまで、投与患者を特別な措置を講じた病室に入院させる場合、当該病室は以下の要件を満たしている必要がある。

- 1) 当該病室以外に入院している患者が被ばくする実効線量が3月間につき1.3ミリシーベルトを超えないこと（医療被ばくを除く）。また、必要に応じて、遮へい物を設ける等の措置を講じていること。
- 2) 当該病室を一時的な管理区域に設定すること。
- 3) 当該病室における表面汚染密度は、核種ごとに医療法施行規則別表第5に掲げる密度を超えないこと。
- 4) 当該病室は、トイレが設置された個室であること。
- 5) 当該病室に汚染拡大を防止するために適切な措置を講じていること。
- 6) 当該病室の出入口付近の目につきやすい場所に、関係する医療従事者以外の人がみだりに立ち入らないための注意事項を掲げる等の措置を講じていること。

- 7) 投与患者からの医療従事者の被ばく低減のため、当該病室内の出入口付近に、食事や薬剤等の受け渡し等に利用できるテーブル等を用意すること。
- 8) オムツや導尿カテーテル等を使用している投与患者においては、これらを当該病室内で適切に保管しておくための措置を講じていること。

4-3 特別な措置を講じた病室の汚染防止措置⁴⁾

放射線安全管理などに携わる診療放射線技師と患者の看護・介助などに携わる看護師は、投与患者を当該病室に入院させる前に、当該病室に以下のような汚染防止措置を講じておく。

- 1) 床・壁などのうち、投与患者の尿等によって汚染されるおそれのある場所をあらかじめ吸水性ポリエチレンシートでカバーしておく。
- 2) 当該病室内に放射性同位元素による汚染の検査に必要なGM計数管式サーベイメータなどの放射線測定器を備えておくこと。可能であれば、当該病室の出入口付近に設置しておくこと。
- 3) 当該病室において放射性同位元素の除染に必要な器材をあらかじめ準備しておくこと。それらの器材は、当該病室の出入口付近に設置しておくこと。
- 4) 当該病室内で投与患者が使用するスリッパ又は運動靴を準備しておくこと。
- 5) オムツや導尿カテーテル等を使用している投与患者に対しては、患者の状態から、通常のシーツの代わりにビニール製シーツの使用を考慮すること。

4-4 特別な措置を講じた病室における投与患者への対応

当該病室に入院中の投与患者への対応は、原則として、当該診療用放射性同位元素を用いた核医学治療に関する教育研修を受けた医療従事者が実施するのが望ましい。医療従事者などの被ばくを低減させるため、投与患者との接触は、医療上または介護上必要な場合に限定し、可能な限り短時間かつ距離をとって対応する必要がある。

例えば、ルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) 注射液を用いた国内臨床試験のデータによると、本剤投与終了4時間後の投与患者の体表面

から1メートルの距離における1cm線量当量率の平均値は $21.1 \mu\text{Sv/hr}$ であり、投与患者から1m離れた位置で30分かけて説明を行った場合、この間の医療従事者の被ばく線量は約 $8.7 \mu\text{Sv}$ と試算されている。また、当該病室に入院している患者対応として、投与患者から2m離れた位置で1回10分間、1日5回接した場合、医療従事者の被ばく線量は約 $3.6 \mu\text{Sv/日}$ と試算され、1mの距離で接した場合は約 $14 \mu\text{Sv/日}$ と報告されている⁴⁾。従って、本剤を投与された患者と接する場合は、作業時間を短く、線源との距離をとり、遮へいを設ける（外部被ばく防護の3原則）ことにより被ばく軽減に努めなければならない。

4-5 核医学治療に係る放射線安全管理責任者の指名と役割

核医学治療を実施する病院などの管理者は、放射線安全管理研修会において、本治療に係る放射線安全管理の専門知識を取得したと「認定」された医師の中から放射線安全管理責任者を指名する必要がある。当該放射線安全管理責任者は、本治療の指揮・監督に当たり、本治療に携わる医師などの関係者に対する教育研修の実施を指揮しなければならない。さらに病院などの管理者は、放射線安全管理研修会において、本治療に係る放射線安全管理の専門知識を取得したと「認定」された診療放射線技師または看護師等の中から、病院などの状況に応じて放射線安全管理担当者を1人以上指名することが望ましい。

5. ルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) 投与後の注意点

ルテチウムオキシドトレオチド (Lu-177) の場合は、放射線治療病室ではなく「特別な措置を講じた病室」への入院は可能となったが、本剤は投与後、体液（主に血液）、尿および糞便に微量の放射性物質が存在する可能性がある。特に腫瘍に取り込まれなかった本剤のほとんどは腎・尿路系から排泄され、投与後48時間後までは比較的高レベルの放射能が尿中に検出されることが報告されている¹³⁾。

それを受けて厚生労働省の「病室マニュアル」では、主に腎排泄により速やかに尿中排泄される診療用放射性同位元素にあつては、退出に係る基準に満たすまでの期間、当該病室に入院している投与患者の排泄などに関しては、以下のような対応を求めている⁴⁾。

- 1) 投与患者の糞便は、当該病室内のトイレに流すことができる。
- 2) 投与患者の排尿は、患者の状態及び医療機関の設備等を考慮した上で、管理区域内のトイレ、医療法施行規則第30条の11第1項第2号の規定により設ける排水設備に連結する措置を行った当該病室内のトイレ、当該病室内に一時的に設置した簡易トイレ又は蓄尿等により行う。
- 3) 当該病室内に一時的に設置した簡易トイレや蓄尿容器（排尿容器を介して蓄尿させる場合は排尿容器についても）の周辺を吸水性ポリエチレンシートで覆う等、十分な汚染防止措置を講じておくこと。
- 4) 簡易トイレや蓄尿容器の周辺に鉛遮へい体を置く等、特に、隣室に対する放射線防護措置を講じて置くことが望ましい。
- 5) 投与患者の血液等の体液、排泄物又は嘔吐物等に手や皮膚が触れた場合は、触れた箇所を直ちに石けんで洗い、十分すすぐこと。

上記2)の項目で求めている「管理区域内のトイレ、医療法施行規則第30条の11第1項第2号の規定により設ける排水設備に連結する措置を行った当該病室内のトイレ、当該病室内に一時的に設置した簡易トイレ又は蓄尿等により行う」の記述が、特別な措置を講じた病室の管理・運用で注意しなければならない点である。

投与患者の排尿を蓄尿した容器を、吸水性ポリエチレンシートで覆うなど、十分な汚染防止措置を講じた台車に乗せて管理区域内のトイレまで運搬する対応などを困難視する声がある。現場で、負担なく安全に実施する方策を模索する必要があるのではないだろうか。一方、固形状の廃棄物に関しては、医療法施行規則第30条の12に規定する放射線治療病室の廃棄物管理と同様な管理を行えば良いとの指摘もある（図4参照）。現場の放射線管理を無理が生じないように実施できそうだ

ろうか。

患者の排泄物の処理が放射線管理上の課題となっている。当該病室のトイレに排泄せず線源となる蓄尿容器を使用する場合は、病室内で遮へいが必要になるだけでなく、運搬する看護師の被ばく線量が増える以外に、重量物取り扱いの配慮も必要となる。管理区域内の放射性排水設備を介した場合と、当該病室内のトイレを介して医療機関全体の公共下水への排水を評価した報告などを参考に、各施設で最適な放射線管理を検討する必要がある¹⁴⁾。

核医学治療患者の放射線管理

・約1週間経過後治療室からの退出基準
距離1mで30 μ Sv/時間



外部線量率を記載した排出物 種類別に分別した医療廃棄物

図4 核医学治療患者の放射線管理

当該診療用放射性同位元素の退出基準を満たしていることを確認した後、投与患者の退出および当該病室の指定解除に関する記録を作成・保管する。なお、放射性医薬品を投与された患者が医療施設より退出・帰宅する場合、公衆および自発的に患者を介護する家族などが患者からの放射線を受けることになり、その安全性に配慮する必要がある。公衆および介護者について抑制すべき線量の基準を、公衆については、1年間につき1mSv、介護者については、患者および介護者の双方に便益があることを考慮して1件あたり5mSvとして退出基準が定められている。具体的には、①投与量に基づく退出基準、②測定線量率に基づく退出基準、③患者ごとの積算線量計算に基づく退出基準がある。

6. 放射線治療病室管理加算の見直し

2018年の診療報酬改定の画像診断分野でのトピックは、「画像診断管理加算3」（300点）の新

設だった。放射線治療においても、放射性同位元素内用療法管理料における骨転移のある去勢抵抗性前立腺がんに対するもの（2,630点）の新設があった。

2020年の診療報酬改定では、密封小線源治療の腔内照射の高線量率イリジウム照射の点数が10,000点から12,000点に、併せて画像誘導密封小線源治療加算で300点から1,200点に増点された。放射性同位元素内用療法管理料の1から4の項目は、放射性同位元素内用療法を行い、かつ計画的に治療を行った場合、月1回に限り算定できるもので、5については放射性同位元素を投与した日に限り算定できる（表2）。

表2 放射性同位元素内用療法管理料

放射性同位元素内用療法管理料		
1	甲状腺がんに対するもの 甲状腺分化がん又は甲状腺がんの転移の治療	1,390点
2	甲状腺機能亢進症に対するもの	1,390点
3	固形骨転移による疼痛に対するもの 固形骨転移に疼痛を有する患者	1,700点
4	日細胞性ホジキンリンパ腫に対するもの 悪性リンパ腫B細胞性非ホジキンリンパ腫又はマントル細胞リンパ腫	3,000点
5	骨転移のある去勢抵抗性前立腺がんに対するもの 去勢抵抗性前立腺がんが骨シンテグラフィ等で骨転移が認められる	2,630点

放射性同位元素内用療法管理料は、非密封放射性同位元素の内用療法を受けている患者の継続的な管理を評価するもので、患者に対し放射性同位元素内用療法の内容について説明・指導した場合に算定できるものである。

2022年の診療報酬改定では、算定要件に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして保険医療機関が地方厚生局長などに届け出た病室において、治療上の必要があつて放射線治療病室管理が行われた入院患者について、所定点数に加算できるようになった（表3）。

放射線治療病室管理加算についての要件および評価が見直されたのは、2021年に承認されたルテチウムオキソドトロチド（Lu-177）の薬事承認に留まらず、質の高い放射線内用療法の提供を推進する観点から今後が期待される。

表3 放射線治療病室管理加算の見直し

放射線治療病室管理加算の見直し	
改定案	現行
放射線治療病室管理加算 (1日につき)	放射線治療病室管理加算 (1日につき) 2,500点
1 治療用放射性同位元素による治療の場合 6,370点	(新設)
2 密封小線源による治療の場合 2,200点	(新設)

7. まとめ

現在国内では、甲状腺がんのI-131治療、有痛性骨転移に対するSr-90疼痛緩和療法、B細胞性リンパ腫に対するY-90放射性免疫療法、去勢抵抗性前立腺がんの骨転移治療のRa-223に加えて、悪性神経内分泌腫瘍に対するLu-177の内用療法が可能である。最近、前立腺がんPMSA (prostate specific membrane antigen) に対する内用療法の報告がある。Ra-223は骨転移部位のみがターゲットで、多臓器転移を有する患者には適用されないが、PMSAに対する内用療法では多臓器転移患者も対象となる¹⁵⁾。

一般的に放射線治療病室の採算性は良くない上に、2003年DPC導入と2004年国立大学の独立行政法人化により放射性同位元素内用療法の入院ベッド廃止が相次いだ。その後、診療報酬制度の甲状腺がんに対するDPCの評価は2010年に一部改善され、「放射線治療病室管理加算」の点数が1日あたり500点から2500点に増点、また「放射性同位元素内用療法管理料」の点数が甲状腺がんに関しては月1回あたり500点から1,390点に増点された。しかし、投与薬剤である放射性ヨウ素の薬価の取り扱いも曖昧である。その理由が、医科診療報酬点数表の第12部「放射線治療」の項目には他の項目では設定されている薬剤料の節がないことが原因のひとつであると考えられる。今回のルテチウムオキソドトロチド (Lu-177) の薬事承認と薬価収載に併せて、放射性同位元素内用療法の適切な評価が望まれる¹⁶⁾。

またβ核種であるI-131、Lu-177の他、より

治療効果の期待できるα核種のアスタチン (At-221) やビスマス (Bi-213) などの放射性同位元素内用療法への活用も期待される。α線は高LETであるが、組織内の飛程は50~100μm程度とβ線 (飛程数mm) と比べて非常に短く、隣接する数個の細胞に対してのみ放射線による障害を与えることができる。

国内において放射性同位元素内用療法が広がらなかったのは、放射線管理の煩雑さと診療報酬の低さが原因であったと考える。今回の医政地発0819通知により、適切な防護措置および汚染防止措置を講じた場合には、一般病室などに入院させることも可能となり、今後の放射性同位元素内用療法の発展に繋がると考える。

本稿は、国立保健医療科学院の「令和3年度医療放射線の適正管理に関する研修」で行った講義「埼玉県の核医学治療の現状」に加筆した。研修に参加された受講生からいただいた臨床現場からのご意見と、ご指導いただいた国立保健医療科学院生活環境研究部上席主任研究官山口一郎先生に感謝します。

●参考文献

- 1) 厚生労働省医政局地域医療計画課長：放射性医薬品を投与された患者の退出等について（医政地発0819第1号 令和3年8月19日）
- 2) 厚生省医薬安全局安全対策課長：放射性医薬品を投与された患者の退出について（平成10年6月30日 医薬安第70号）
- 3) 山口一郎監修：診療用放射線事務手続き・安全管理・日常点検、135-140、医療科学社、2019。
- 4) 日本医学放射線学会他：特別な措置を講じた病室に係る基準、管理・運用及び行動規範に関するマニュアル、2021年8月18日。
- 5) 装置運用視点から考える最新放射線治療：月刊新医療、No.564,21-61,2021。
- 6) 畑中星吾・轟圭介・新保宗史等：埼玉県内における放射線治療現場の状況把握のためのアンケート調査報告、日本診療放射線技師会誌、2021,vol.68,no.822,46-53。
- 7) 小線源治療装置設置施設名簿：月刊新医療、No.566,116,2021。

- 8) 斉藤史郎・矢木康人・西山徹等：放射線治療 Brachytherapy (小線源治療)、Japanese Journal of Endourology,28,207-214,2015.
- 9) 甲状腺癌 入院及び外来アブレーション受け入れ可能施設：<https://oncology.jsnm.org/iodine/list/thyroid>
- 10) ムンディファーム株式会社：ゼバリニンインジウム (^{111}In) およびゼバリニンイットリウム (^{90}Y) 静注セット供給停止の延長について (令和3年9月)
- 11) 日本医学放射線学会等：塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いる内用療法適正使用マニュアル 第一版、2017。
- 12) アイソトープ協会：アイソトープ内用療法講習会、<https://jriar-rnt-seminar.jp/public/about.html>
- 13) 細野眞等：平成27年度厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業) 医療における放射線防護と関連法令整備に関する研究 (H26-医療-一般-019) 分担研究報告書
- 14) 山口一郎・成田浩人・細野眞：核医学治療施設での公共下水への排水の放流時の放射性濃度評価法、令和3年度放射線安全取扱部会年次大会、2021年10月29日
- 15) 絹谷清剛：がんに対する内用療法 (内照射療法) の国際的状況、JASTRO_NEWSLETTER_119.indb
- 16) 厚生労働省ホームページ：令和4年度診療報酬改定について (mhlw.go.jp)

冠動脈CT撮影のピットフォール

桜友会 所沢ハートセンター 放射線科

第二支部理事
大西 圭一

はじめに

2019年の循環器疾患診療実態調査（日本循環器学会）によると、経皮的冠動脈形成術（以下PCI）約27万件、冠動脈CTは約50万件が行われている¹⁾。

冠動脈CTは、1983年に電子ビーム偏向型のelectron beam CT (EBT) が米国FDAで認可され臨床応用が始まった。国内では専門病院のみ導入され普及しなかった。国内のCT装置では1998年に4列のmulti-detector raw CT (MDCT) が登場し、2002年には16列、2004年には64列と急速に検出器は多列化し撮影時間は短縮していった。2005年にはDual Source CT (DSCT) が登場し時間分解能の向上と2管球方式によるスペクトラルCTが可能となる。2007年にはArea Detector CT (ADCT) が登場しone-beat撮影可能となり、被ばく低減と心筋評価を加味した包括的心臓CT検査が可能となった。同年ガーネット検出器(Gemstone) CTと高速スイッチング方式による面内空間分解能とスペクトラルCTが可能となり、2013年には2層検出器方式による撮影モードを選ばない全ての検査にスペクトラルCTが可能となった。スペクトラルCTはヨードコントラストの上昇、ビームハードニング、メタルアーチファクトの低減、物質弁別など、CTの欠点を改善し臨床的有用性を発表している²⁾³⁾⁴⁾⁵⁾。

空間分解能はスライス面(XY面、axial plane)とスライス厚方向(Z軸方向、体軸方向)と分けて評価する必要があり、冠動脈CTでは診断能に関わるので十分に理解して撮影条件を設定することが望ましい。1999年に最小スライス厚0.5mmのCT装置が発表されて以降、Flying Focal Spot機構によるオーバーサンプリングなどの技術が発表されているが、2016年までほとんど体軸分解能は変わらなかった。変わらなかった原因として空間分解能とノイズ特性はトレードオフの関係があり、診断できる画像を得るためには患者

被ばくが増加する懸念があるからと思われる。2017年4月に世界に先駆けて日本で高精細CTが登場し、大学病院中心に導入が始まった。装置特性を活かして検査目的に応じてCT検査の個別化が進んでいくものと言える。

画像再構成アルゴリズムに関しては、2009年には逐次近似法に属した反復再構成(イメージデータベースで反復し、段階的に近似解へ収束させることでコントラストの増強と画像ノイズの低減)が米国FDAで認可され、Radiological Society of North America (RSNA), Society of Cardiovascular Computed Tomography (SCCT) で臨床応用が発表された⁶⁾⁷⁾。その後、全ての装置メーカーは2011年までに逐次近似応用再構成Hybrid Iteration Reconstruction (HIR) を発表し、rawデータに対して反復ノイズ除去後Filtered Back Projection (FBP) を行うことにより、計算コストの高い画像再構成の高速化を可能にした(表1)。2016年にはModel Based IR (MBIR) が米国FDAで認可された。MBIRはHIRよりもさらに雑音低減効果が高いと報告されている⁸⁾。2018年にはDeep learning reconstruction (DLR) が登場した。DLRは画素ごとの積和演算(畳み込み積分)を行い、画像から特徴的な情報(ノイズ)を抽出してノイズ成分とシグナル成分を識別するためのネットワークDeep Convolutional Neural Network (DCNN) を構築する。高分解能低ノイズによる高画質のCT画像(教師画像)として学習させてDCNNを構築し、高ノイズの低品質CT画像をDCNNに入れると画質が改善された(De-noise) 画像が作成される(図1)。

表1 装置メーカーの違いによる逐次近似再構成アルゴリズム

Vendor	Algorithm name	Type of Algorithm	Reconstruction speed	Artifact reduction	Noise reduction
GE Healthcare	ASIR (Adaptive Statistical Iterative Reconstruction)	Hybrid	++	++	+++
	ASIR-V	Model based	++	++	+++
Philips Healthcare	iDose ⁴	Hybrid	++	++	+++
	iDose (iterative model reconstruction)	Model based	++	++	+++
Siemens Healthcare	Siemens iterative reconstruction (image aware)	Image aware	++	++	+++
	SIRF (iterative-free iterative reconstruction)	Model based	++	++	+++
Canon Healthcare	ADMIR (adaptive statistical iterative reconstruction)	Model based	++	++	+++
	ADMIR-V (adaptive statistical iterative reconstruction)	Hybrid	++	++	+++
	PROFIT (deep learning model-based iterative reconstruction)	Model based	++	++	+++

++ indicates a average 100% learning rate increasing

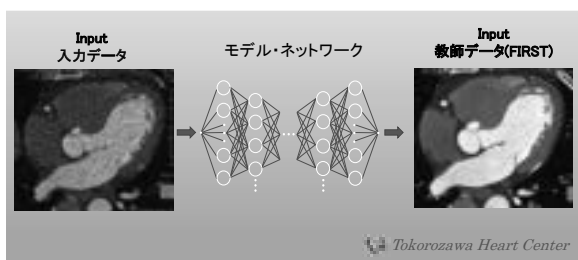


図1 Deep Learning原理：ネットワーク生成

画像再構成アルゴリズムの進歩と被ばく低減により、心筋Perfusionを追加する包括的心臓CT検査のハードルは下がり、CORE320 studyでは負荷心筋perfusion心臓カテーテル検査と負荷心筋SPECTの組合せをgold standardとして、冠動脈CTと負荷心筋CT perfusionの組合せの診断能が良好であった⁹⁾。AMPLIFIED試験では、CTAによる解剖学的評価にCT perfusionによる機能的評価を組み合わせることで、血行動態的に有意な冠動脈疾患をより正確に検出できることが明らかとなった¹⁰⁾ (図2)。

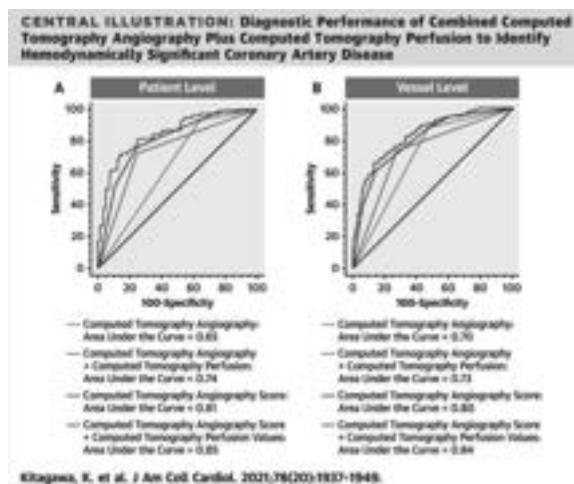


図2 AMPLIFIED 試験

このような背景から当院では、2018年12月より高精細CT Aquilion Precisionを導入し2021年10月までに累計3198例の冠動脈CTを行っている。心血管治療専門施設で高精細CT導入している施設では世界で当院だけである。本稿では冠動脈CT撮影のピットフォール、高精細CTの特徴や装置特性を活かしたPCI支援画像について述べる。

冠動脈CTのエビデンスについて

SCOT-HEART試験のポストホック分析によると、冠動脈CTで得られる有害なプラーク（ポジ

ティブリモデリングまたは低減衰プラーク) (図3)、閉塞性疾患を有する患者は、正常冠動脈患者に比べて10倍の心筋梗塞の増加を示した¹¹⁾ (図4)。冠動脈CTで病変性状 (vulnerable plaque) を早期に評価したことで、早期のスタチン製剤の投与につながりプラークの安定化でACSの予防になるものと推測されている。SCOT-HEART試験の結果を受けて欧米のエビデンスが変わりつつある。European Society of Cardiology (ESC) 2019ガイドラインでは、閉塞性冠動脈疾患 Coronary Artery Disease (CAD) を臨床評価だけで除外できない症候性の患者のCADを診断するための初期検査として、冠動脈CTAまたは非侵襲的機能イメージングによる心筋虚血が推奨される (クラス I)。冠動脈CTAで機能的な重要性が不確かであるか診断できない場合は、心筋虚血の機能的画像診断が推奨 (クラス I) とされている¹²⁾ (図5)。

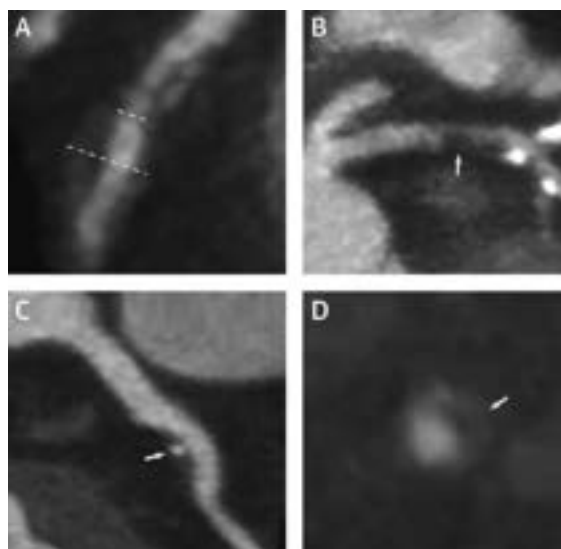


図3 CTによるvulnerable plaque (不安定プラーク)の特徴

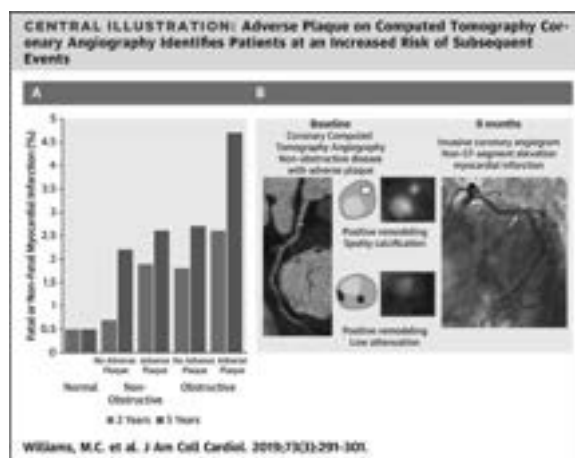


図4 SCOT-HEART 試験

また、2021年に発表された関連学会合同による胸痛の診療ガイドラインでは、急性胸痛の患者に対する第一選択の検査戦略として冠動脈CTAを推奨（クラス1）とされている。欧米のガイドラインを受けて日本のガイドラインも冠動脈CTの位置づけが大きく変わるものと推測される。

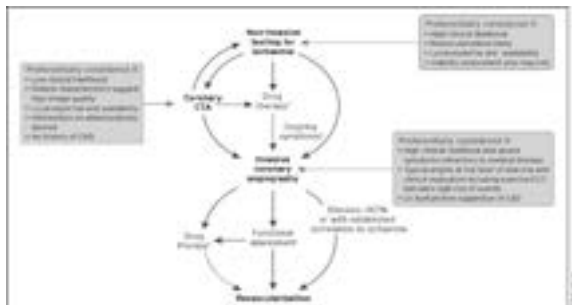


図5 European Society of Cardiology 2019ガイドラインによる冠動脈CTの位置づけ

呼吸制御とポジショニングについて

冠動脈CTに関わらずCT検査において呼吸制御は重要である。患者さんとのコミュニケーションでのポイントは「呼吸制御の重要性を正しく伝える」である。「お腹を1mmも動かさないでください」と説明し、呼吸練習時には腹壁の動きを確認する。さらに、横隔膜の動きはバンディングアーチファクトとなり、20秒の呼吸停止中に横隔膜は最大吸気で 29.9 ± 19.0 mm、最大呼気で 2.6 ± 2.9 mmの変動があると言われている¹³⁾。当院では深呼吸の状態では心窩部にタオルを巻いて(図6)アーチファクトの低減に努めている。近年、80歳を超える高齢者の検査も少なくなく、指示を忘れてしまう可能性もあるので、何度も理解するまで説明する頻度とタイミングが重要である。呼吸停止中の心拍変動の把握も重要である。吸気息止めによる胸郭拡張により、1割程度低下し4.5秒後に安定するといわれているが、個人差も多い¹⁴⁾。冠動脈CT撮影前の心拍変動を把握し、各患者の可能呼吸停止時間、呼吸停止後から撮影までのdelay timeの設定など心拍変動の少ないタイミングでの撮影、最適化は重要である(図7)。冠動脈CTでのハーフ再構成の原理は本稿では割愛するが、スライス面内の画質特性の把握は重要である。ハーフ再構成で使用する投影データの取得時においてはX線管側と検出器側でスライス面内の画質特性が不均一であることが報告されており、心臓をガントリー中央に配置しての撮影が望

ましいと考えられる¹⁵⁾。CTの特性をよく理解し、画質低下を招かないようにポジショニング(被写体を中心に)に注意する。高精細CTでは、2段階テーブルシフトが出来るテーブルシフト機構の活用を紹介する。本症例は左肺全摘出後の高度縦隔左側偏位症例である。スカウト撮影後、縦隔変位を確認し、コンソール上でスカウト画像で、心臓がScan FOVの中心となるよう設定し、コンソール上でテーブルを右側シフトで撮影を行った(図8)。「質の高い撮影画像無くして質の高い画像診断は無い」ため呼吸制御とポジショニングは重要である。

心窩部をタオルで圧迫(深呼吸)



図6 横隔膜によるバンディングアーチファクトの抑制を目的としたポジショニング時の工夫

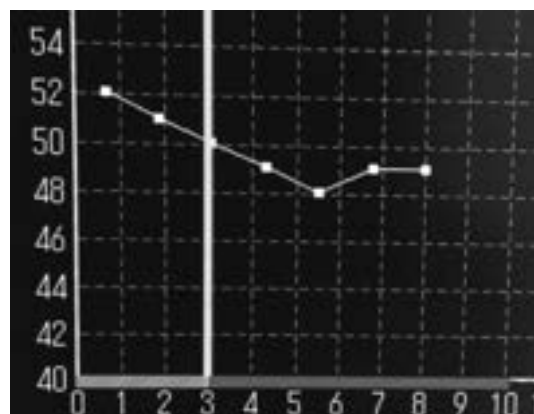


図7 撮影前の心拍変動把握とDelay timeの設定

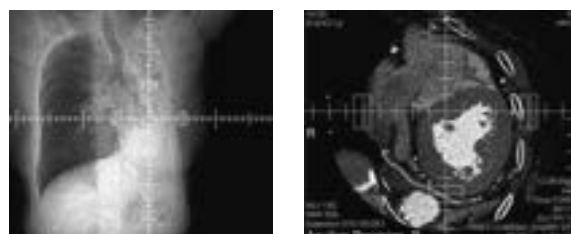


図8 テーブルシフト機構による活用事例～テーブルを右側にシフト～

冠動脈CTに必要な時間分解能について

CTにおける時間分解能の定義は、一枚の再構

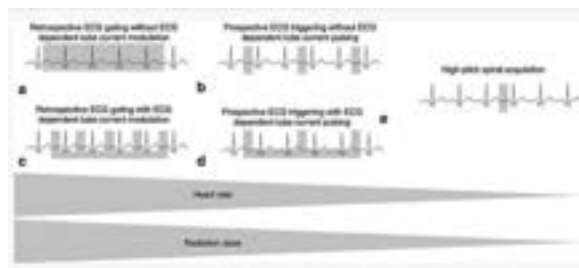
成画像に含まれる時間成分を表す物理指標であるが、冠動脈CTにおける時間分解能の定義は心臓の位相内の時間要素を表す。装置毎に時間分解能が異なるが、画像再構成に必要な知識は同じである。心周期、心拍数と心位相の関係、PQ時間が画像再構成に与える影響など、基本的な知識は非常に重要であるので先行研究を確認して頂きたい¹⁶⁾。冠動脈CTに必要な時間分解能は患者の心拍数によって異なり、高心拍ほど装置の高い時間分解能が要求される(図9)。大橋らは冠動脈セグメント毎に必要な時間分解能を明らかにし、165 ms の時間分解能のモードはHR が 60 bpm 未満の場合にのみ十分であったと結論づけている¹⁷⁾。これは装置に関わらず、モーションアーチファクトが少ない画像を得るためには心拍コントロールが重要である。左室の動きは冠動脈の動きに類似するため、心電図、心周期、左室容積の変化をよく理解し画像再構成することが望ましい。slow filling phase (SF) は、左室容積の変化量が少なく冠動脈の動きも少ないため再構成位相として最適で、SF 時間の把握が重要である。佐野らはSF 時間とRR 時間、PQ 時間の関係を明らかにし、95% 予測区間を $SF = -443 + 0.742 (RR - PQ)$ と報告した¹⁸⁾。計算より得られたSF 時間は装置の時間分解能と比較し、Prospective ECG triggering 法 (Prospective gating scan 法) の適応の判定に利用する(図10)。CT 検査前情報として心電図を確認し、左室容積の変化を意識した撮影および画像再構成が、画質の向上と被ばく低減につながる。

表2 3つの時間分解能モードに対するそれぞれの冠動脈の平均スコア

Coronary Artery	Section (Coronary Segment)	83 ms			125 ms			165 ms			
		Score	Score	Score	Score	Score	Score	Score	Score	Score	
Low HR	RCA	1 9(1)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
		2 9(2)	4.0±0.1	4.0±0.2	3.9±0.3	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
		3 9(3, 4)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
	LAD, LMT	4 9(5, 6)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
		5 9(7, 8)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
		6 9(9, 10)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
	LCX	7 9(11, 12)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
		8 9(13, 14, 15)	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	4.0±0.0	
		Mean	9(1-15)	4.0±0.0	4.0±0.1	4.0±0.1	4.0±0.1	4.0±0.1	4.0±0.1	4.0±0.1	
	High HR	RCA	1 9(1)	3.9±0.4	3.7±0.5	3.3±0.9	3.9±0.4	3.7±0.5	3.3±0.9	3.9±0.4	3.7±0.5
			2 9(2)	3.7±0.5	3.4±0.7	2.8±0.9	3.7±0.5	3.4±0.7	2.8±0.9	3.7±0.5	3.4±0.7
			3 9(3, 4)	3.8±0.5	3.1±1.0	2.6±1.0	3.8±0.5	3.1±1.0	2.6±1.0	3.8±0.5	3.1±1.0
LAD, LMT		4 9(5, 6)	4.0±0.1	4.0±0.1	4.0±0.2	4.0±0.1	4.0±0.1	4.0±0.2	4.0±0.1	4.0±0.1	
		5 9(7, 8)	4.0±0.1	4.0±0.2	3.9±0.4	4.0±0.1	4.0±0.2	3.9±0.4	4.0±0.1	4.0±0.2	
		6 9(9, 10)	4.0±0.1	4.0±0.2	3.8±0.3	4.0±0.1	4.0±0.2	3.8±0.3	4.0±0.1	4.0±0.2	
LCX		7 9(11, 12)	4.0±0.2	3.9±0.5	3.8±0.6	4.0±0.2	3.9±0.5	3.8±0.6	4.0±0.2	3.9±0.5	
		8 9(13, 14, 15)	4.0±0.2	3.8±0.4	3.5±0.7	4.0±0.2	3.8±0.4	3.5±0.7	4.0±0.2	3.8±0.4	
		Mean	9(1-15)	3.9±0.3	3.7±0.6	3.5±0.9	3.9±0.3	3.7±0.6	3.5±0.9	3.9±0.3	3.7±0.6

Ohashi K, et al; Examination of the optimal temporal resolution required for computed tomography coronary angiography. Radiol Phys Technol. 2013 Jul;6(2):453-60. doi: 10.1007/s12194-013-0218-1. Epub 2013 May 26. PMID: 23709040.

図9 冠動脈CTに必要な時間分解能



Vogler N., Meyer M., Henzler T. Technical Innovations and Concepts in Coronary CT. Medical Radiology. Springer, Cham. https://doi.org/10.1007/174_2016_95

図10 心電図同期撮影法

最適な造影方法について

放射線診断専門医には、画像診断管理が課せられており、造影検査の必要性、適応(正当化)および造影方法(適正化)を判断するように求められている。診療放射線技師には、専門医が求める検査に対して最適な撮像条件(撮影範囲・撮影時相・造影方法・被ばく管理)の設定という重要な役割と責務が求められる¹⁹⁾。放射線科医、放射線技師が協力しCT撮影ガイドライン第2版を発売した。冠動脈CT撮影ガイドラインの詳細は本稿では割愛するが、ガイドラインの推奨条件は確認しておくことが望ましい。冠動脈造影効果は先行研究より高すぎるCT値(500HUを超える場合)は、ビームハードニングによって狭窄率が不正確となるうえ、プラークのCT値が変化し、性状評価が困難となる²⁰⁾。PROTECTION-III Studyに参加したマルチセンターで、高画質冠動脈CT画像として割り当てられた冠動脈のCT値は全て350HUを超えていた²¹⁾。先行研究より冠動脈のCT値は350HU~400HU程度が適切であると思われる。良好な造影画像を得ることが重要であるが、造影剤到達時間は標準的な被検者では大きな差異はないものの、心機能などの循環系の個人差によって20秒以上の違いが発生することが知られているので、被検者毎に撮影開始時間を調整することが行われている²²⁾。CT造影理論について本稿では割愛するが、造影剤注入に関する基礎理論の把握は重要である。冠動脈CTにおける撮影タイミングの補正の目的は、造影剤のファーストパス(初回循環)を的確に捉えて撮影を行うことである。その手法はTest Bolus (TB法)、Test injection (TI法)、Bolus Tracking (BT法)、Test Bolus Tracking (TBT法)があり、どの手法を使用するかは装置

の特性や、検査環境などを考慮して症例に応じた使い分けをするのが望ましい。実際の検査では心房細動や左室駆出率 Left Ventricular Ejection Fraction (LVEF) 低下、高度の弁逆流などはBT法が望ましいと考えている。先行研究より短時間の呼吸停止下で実施される冠動脈CTでは、有用であることが報告されているTBT法をメインで使用している²³⁾。上行大動脈、下行大動脈に Region Of Interest (ROI) を設定し、本スキャン直前に少量 (5~10ml) の造影剤を注入、ROI 設定位置の Time-Enhancement Curve (TEC) が目視で確認できそれぞれのTECがクロスしたところで、Trigger Pointとしてスタートし、delay time15sに自動スタートする。TBT法のメリットとしては心拍コントロール前後の還流環境の影響を抑え、TBの撮影タイミング推定精度の高い手法を活かせることにあると考えている (図11)。



図11 TBT法の実際

高精細CTの装置概要について

空間分解能に影響を与える因子として、1つ目は焦点サイズがあげられる。高精細CTでは電界による電子ビーム収束技術により、焦点サイズは $0.4 \times 0.5 \sim 1.6 \times 1.4$ の6種類に選択可能となった。X線管球の小焦点化によるメリットは、半影の影響が少なくなり、空間分解能が向上し、デメリットは管電圧に応じて出力 (mA) に制限が生じ、負荷が高い撮影条件ではクーリングが発生することがあげられる (図12)。2つ目はスライス厚があげられる。高精細CTでは160列CTとなるが、検出器サイズが $0.25\text{mm} \times 1792$ channels となりスライス厚 0.25mm が選択可能となり、面内、体軸ともに空間分解能が向上した。検出器の高密度化のメリットは、スライス厚を薄く、空間分解能を向上、デメリットはフォtonsの減少により画像ノイズの増加があげられる (図13)。

XY面のTask Transfer Factorの比較検討を行った。320列CTと比較して高精細CTは高いTTFを示している (図14)。Z軸の評価にはクシファントムを用いて比較検討を行った (図15)。320列CTと比較して、高精細CTはスリットの分解能が高かった (図16)。水槽内にSTENT (2.5mm径) を設置して、撮影条件を変えて比較検討を行った。従来CTでは空間分解能が低くパーシャルボリューム効果の影響が大きいため、STENT内腔のCT値は上昇し不正確である。従来CTでは、STENT内再狭窄の評価は難しい。高精細CTでは空間分解能が高いため、STENT内腔のCT値は正確となり、STENT内腔狭窄の評価は可能となることが示唆される (図16)。



図12 焦点サイズについて

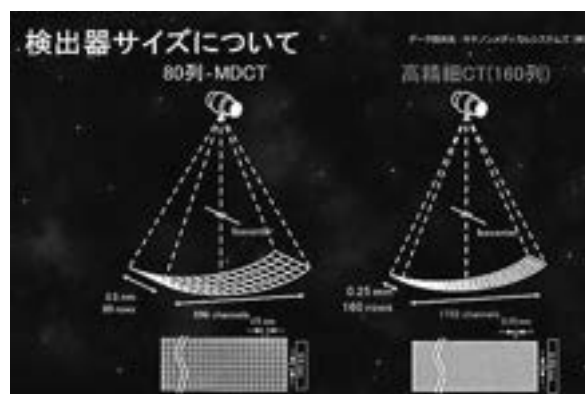


図13 検出器サイズについて

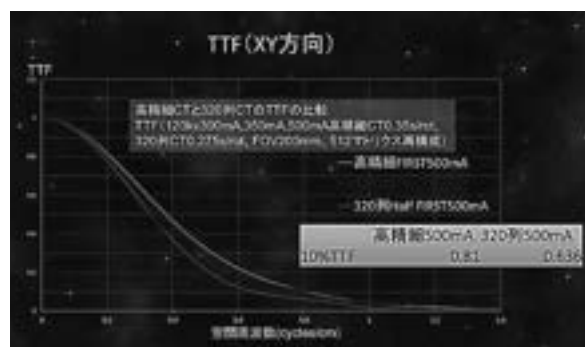


図14 TTF(XY方向)について

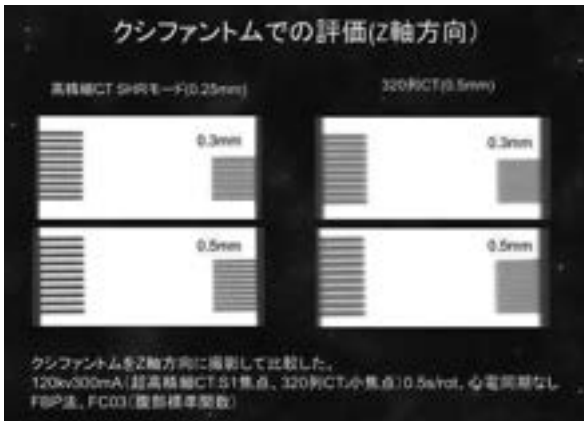


図15 クシファントムでの評価(Z軸)について

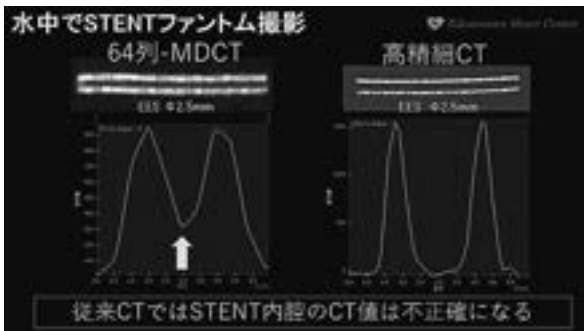


図16 ステントファントムの比較

CTをPCIに活かす～冠動脈起始異常～

先天性冠動脈異常は心臓関連突然死の原因の約2割程度を占め、特に小児や青年期の突然死の原因疾患の1つである²⁴⁾。大きく冠動脈起始部位・走行異常、開口部狭窄・閉鎖、冠動脈血管異常、冠動脈終末末端異常に分類される²⁵⁾ (表2)。冠動脈走行異常の中で、大動脈と肺動脈の間を走行するものは拍動や呼吸によって圧迫し虚血をきたすこともあり、malignant courseと呼ばれる。代表的なmalignant courseでは、左冠動脈の右冠尖起始+大血管管走行、左冠動脈の右冠尖起始+右室流出路円錐部中隔内走行があげられる。このように虚血のリスクのある走行・形態異常などの冠動脈の異常を冠動脈CTで評価することは重要である。冠動脈CTは、冠動脈造影と比較して、冠動脈の起始部、走行、狭窄部位の長さなどの空間的形態特徴を評価するのに優れている²⁶⁾。ガイディングカテーテルのエンゲージ困難予測に冠動脈CTが有効であった症例を報告する。68歳男性で近医よりCHF、RMIにて転院搬送、同日入院した。冠動脈CTを施行し、#7に高度狭窄を認め、LCAの起始部は高位起始を認める。エンゲージが困難と予測されたので、起始部の位置関係が確認出来るよう術前に大動脈を含めたVolume

Rendering (VR) 画像を保存した (図17)。ガイディングカテーテルはJudkins Left5.0 (JL5.0) を選択し、先端をL字型に伸ばしてエンゲージを行った。PCI施行時のガイディングカテーテルの選択には、上行大動脈の形状、Valsalva洞の大きさ、冠動脈起始部の走行の把握が重要であると言われている²⁷⁾。これらの評価するには冠動脈CTが有効であると報告されている^{28) 29) 30)}。冠動脈CTにおけるPCI術前の冠動脈入口部評価は、スムーズなカテーテル操作により被ばく線量と造影剤量の低減に有効である。

表2 先天性冠動脈異常の分類

<p>① Anomalies of origination and course</p> <p>1) Aortic root</p> <p>a) Single coronary artery</p> <p>b) Near proper aortic sinus</p> <p>High, low, commissural</p> <p>c) Anomalous aortic origin of coronary artery</p> <p>a) Anomalous aortic origin of LCA</p> <p>b) Anomalous aortic origin of RCA</p> <p>c) Anomalous aortic origin of LAD</p> <p>d) Anomalous aortic origin from AE</p> <p>2) Ectopic location outside of AD root</p> <p>a) Pulmonary artery</p> <p>b) Anomalous LCA from RA</p> <p>c) Anomalous RCA from RA</p> <p>d) Anomalous LAD from RA</p> <p>e) Anomalous CA from PA</p> <p>f) Total anomalous coronary artery from PA</p> <p>g) Aortic arch and its branches</p> <p>aortic arch, brachiocephalic artery, right carotid artery, internal mammary artery, bronchial artery, subclavian artery, descending thoracic aorta</p>	<p>② Ostial stenosis or atresia</p> <p>1) Congenital ostial stenosis or atresia</p> <p>2) Ostial obstruction by azygosic aortic valve</p> <p>3) Ostial obstruction associated with supra-aortic stenosis</p> <p>③ Anomalies of intronic coronary artery</p> <p>1) Myocardial bridge</p> <p>2) Duplication of coronary artery</p> <p>3) Absent or hypoplastic coronary artery</p> <p>4) Subendocardial coronary course</p> <p>5) Crossing coronary arteries</p> <p>6) Coronary ectasia or aneurysm</p> <p>④ Anomalies of coronary termination</p> <p>1) Coronary arterial fistula</p> <p>2) Atresia of coronary sinus ostium</p> <p>3) Absence/hypoplasia of coronary sinus</p>
---	--

Angelini P. Circulation 2002 (revised)



図17 冠動脈起始異常

CTをPCIに活かす ～Slow flow/No reflowの予測～

慢性冠動脈疾患ガイドラインによると、冠動脈CTの画像所見として、1) 低輝度プラーク (low attenuation plaque <30 HU)、2) 陽性リモデリング (positive remodeling >1.1)、3) ナプキンリングサイン (napkin-ring sign)、4) 小石灰化 (spotty calcium) などがある。これらの所見が二つ以上みられる場合は、高リスクプラークとして報告すべきとされている³¹⁾。low attenuation plaqueがあり、CT値が低いほどPCI中のNo reflowを起こしやすく、冠動脈CTでプラーク性状を評価することはNo reflowの予測に役立つと報告されている³²⁾。

Slow flow/No reflowの予測に冠動脈CTが

有効であった症例を報告する。77歳女性で呼吸苦のため他院で心不全加療後に当院系列クリニックを受診し、TTEで前壁akinesisの所見があり当院へ紹介となり、CVD評価のためのCTを依頼される。冠動脈CTで、RCA Dominant、#7,9,11は高度石灰化病変による高度狭窄、#1は不安定プラークを伴った高度狭窄の所見となり、RCAが閉塞すると致命的となるので#1からPCIの方針となる(図18)。術前には放射線技師より不安定プラークとSlow flow/No reflowが起きる可能性を報告した。CAGの結果で#1 90%、#7 99%、#9 90%、#11 90%の狭窄が見られ、#1の病変にOCTで観察。病変部はLipid plaque/fibrous plaqueが主体のため前拡張を行わず、Direct stentingを施行した。Direct stenting群ではNo reflowを有意に減少させることができたとの報告があり³³⁾冠動脈CTで冠動脈プラークの性状評価をすることで、多枝病変におけるPCI優先順位の方針決定や合併症の低減に有効である(図19)。

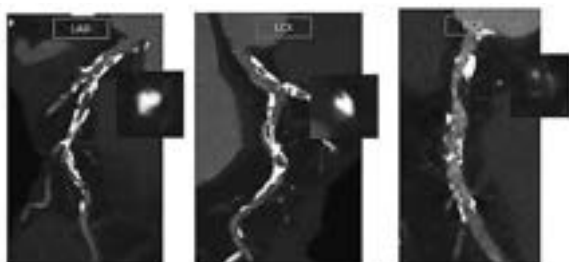


図18 #1 高度狭窄(不安定プラーク)+3枝病変

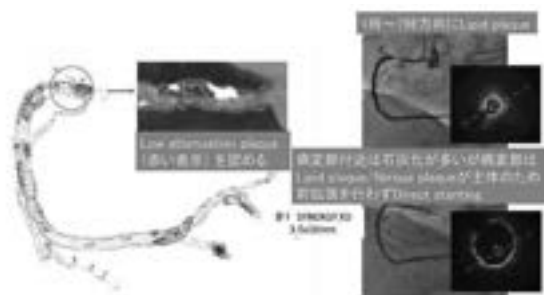


図19 冠動脈CTによるプラーク表示

CTをPCIに活かす～高度石灰化病変～

従来CTでは空間分解能不足によるpartial volume効果で高度石灰化周辺の内腔評価は難しい。高精細CTでは高い空間分解能により内腔評価が出来てきてCTの弱点が克服しつつある。高精細CTでの高度石灰化病変のチェックポイントは1) 石灰化病変の血管内腔を確認しデバイスが通過できるか予測する、2) 石灰化の程度(全

周性、偏心性、180度を超える広角高度石灰化)を確認する、3) 石灰化病変部の屈曲の程度(45度を超える)を確認する。

高度石灰化病変のPCIに冠動脈CTが有効であった症例を報告する。88歳女性で労作時胸部圧迫感のため近医より紹介されCVD評価のため冠動脈CTを依頼される。冠動脈CTで、#6から#7にかけて高度石灰化を認め一部、全周性石灰化があり血管内腔が認められないため、高度狭窄とデバイス通過困難が予測される。石灰化病変部の屈曲は、27度で大きな屈曲は認めない(図20)。高精細CTでは石灰化病変の広がりや厚み、石灰化の程度、イメージングデバイスが通過しない場合は、distal側の病変性状も把握ができる(図21)。CAGでは#6から#7にかけて90%狭窄を含むびまん性石灰化病変を認めた。OFDI、balloon (ScoreFlex2.0mm) 通過を試みるも不通過となりRotational Atherectomy (RA) 施行となる。Rota Burr1.5mmにてablation施行。Pickingにて3-4回ablation施行し、その後OFDIにて病変部の石灰化分布を確認しScoreFlex2.0mmにて開大。#6から#7にかけてstentを留置した(図22)。ロータブレードの最大の合併症は冠動脈穿孔であり、術前にCTで合併症のリスク予測をすることは非常に重要である。安全性が優れているRAの概念としてhalfway rotational atherectomyが報告され、あえて屈曲部を超えずに手前だけをアブレーションし、後半部分はバルーン拡張を追加する方法である。ロータブレードとバルーンを上手く組み合わせるとステント留置前の前処置として安全性が高いと報告されている³⁴⁾。ロータブレード施設基準改定により、当院では2020年よりロータブレードを施行している。安全なPCIが行えるようCT画像でサポートできればと考えている。

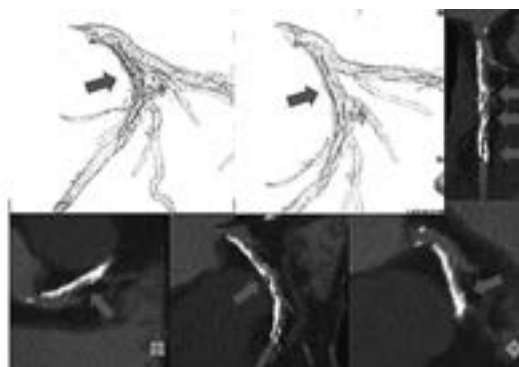


図20 高度石灰化病変



図21 Angio画像と冠動脈CT画像の比較

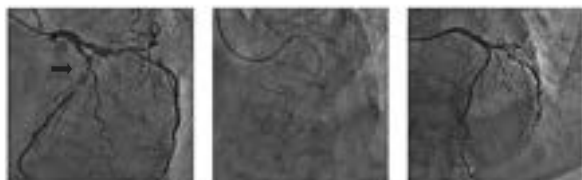


図22 Rotational Atherectomy

CTをPCIに活かす ～LMT病変～

日本循環器学会によるLMT病変の血行再建に関するガイドラインの推奨で、2 stentingの必要性を考慮して、治療法を選択するよう記載されている³⁵⁾ (表3)。高精細CTでのLMT病変のチェックポイントは以下の3点である。1) RCAとの供血バランス (dominance) を確認する。LCAがdominantまたはRCAがhypoplastyのとき、LMTのバルーン拡張の虚血により急激な血圧低下や重篤な合併症を予測する。2) 病変性状の把握や側枝の病変の有無を確認する。LMTからLAD入口部およびLCX入口部のプラークの分布を把握して側枝閉塞のリスクを予測する。(Plaque shiftのリスク評価) 3) LMTに対しての分岐角ステントを留置するとき、ステントの屈曲を予測し、至適ステントプラットフォームの選定をする。

LMT病変のPCIに冠動脈CTが有効であった症例を報告する。86歳男性で労作時胸部圧迫感のため近医より紹介され、CVD評価のため冠動脈CTを依頼される。冠動脈CTで、#5distalから#6にかけて高度狭窄、#2から#3、#7、#12、#13に高度狭窄の所見となりRCAとの供血バランスは均等で起始異常などの解剖学的異常は認められない (図23)。短軸像ではLCXの入口部はプラークを認めない。PCI、CABGの治療法を説明し患者がPCIを希望したためPCIの方針となる (図24)。1回目PCIは#2から#3、2回目PCIで#5distalから#6を治療した。術前にCTでのPlaque shiftのリスク評価をすることで、LMT分岐部治療に有用な情報となる。

表3 LMT分岐部病変の血行再建に関するエビデンス

			PCI		CABG	
			橋脚カラス	エビデンスレベル	橋脚カラス	エビデンスレベル
非狭窄性分岐部 (LMT) 病変	SYNTAX スコア ≤ 22	2 stentを要しない分岐部病変	I	B	I	A
		2 stentを要する分岐部病変	IIb	B	I	A
	SYNTAX スコア 23~32	2 stentを要しない分岐部病変	IIa	B	I	A
		2 stentを要する分岐部病変	IIb	B	I	A
SYNTAX スコア ≥ 33		III	B	I	A	

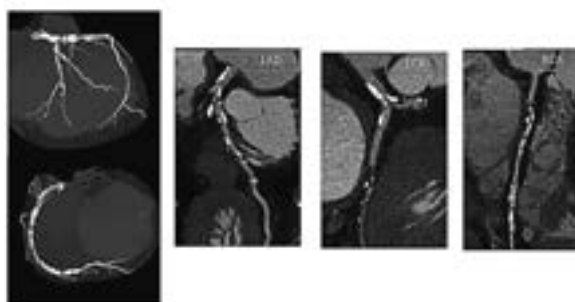


図23 LMT病変+3枝病変

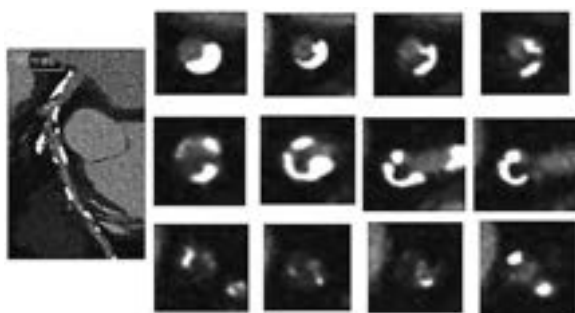


図24 #5~#6のCPR画像とSA画像

RSNA2019で報告

2019年 12月1日から 6日にかけて、第105回北米放射線学会RSNA2019：マコーミックプレイス (シカゴ) で開催され高精細CTの装置特性および臨床応用について報告した (図25)。



図25 富田副会長と記念撮影

Sunday 12:30-1:00 PM | CAS-SUA | CA Community, Learning Center Cardiac Sunday Poster Discussions CA158-ED-SUA7 TITLE: Recent Technologies in Coronary Stent CT Angiography: Impact of the Ultra High Resolution CT on Its Image Quality. Presenter: Keiichi Onishi

おわりに

本稿では、冠動脈撮影においてピットフォールになりやすいことをまとめ、必要な知識や高精細CTの特性や、PCI術前支援画像を紹介した。従来CTのLimitationであった高度石灰化病変の評価、小径STENT再狭窄評価を高精細CTは診断可能にした。高精細CTは、従来CTでの空間分解能の限界を突破しCardiac Radiologyに大きなインパクトを与えた。今回発表と執筆の機会を頂いたことで、深く学べて業務改善につながるヒントも多くあった。冠動脈CTに携わり今年で20年となるが、今日までの過程で「研究会」という存在は非常に大きい。新人の時に先輩に背中を押してもらって発表することは、今後の技師としての成長につながる。研究会での自己研さんについての5つのポイントをお伝えしたい。①目的意識を持つ②基礎を忘れない③日々の業務を振り返り分析して次に活かす④他人の意見を素直に受け入れる⑤挑戦を恐れない。「CT技術の限界と先輩技師は超えるために存在する」みんなで切磋琢磨し、臨床医から信頼される診療放射線技師が多く生まれることを願っている。私は心臓血管治療施設でCTを担当する診療放射線技師として、臨床医とメーカーで新しい冠動脈CTの価値を創造していきたい。

謝辞

今回の執筆にあたり、貴重な機会を与えて頂きました東京医科大学八王子医療センター 藤村耕平先生、榊原記念病院 武田 和也 先生、発表と執筆の許可を頂きました循環器画像技術研究会 佐藤 久弥 会長と循研幹事の皆さまに厚くお礼申し上げます。

参考文献

1 日本循環器学会:循環器疾患診療実態調査

2019年報告書

- 2 McCollough CH, Leng S, Yu L, et al. Dual- and Multi-Energy CT: Principles, Technical Approaches, and Clinical Applications. Radiology. 2015;276(3):637-653.
- 3 Siegel M, Kaza R, Bolus D, et al. White Paper of the Society of Computed Body Tomography and Magnetic Resonance on Dual-Energy CT, Part 1. J Comput Assist Tomo. 2016;40(6):841-845.
- 4 Goodsitt MM, Christodoulou EG, Larson SC. Accuracies of the synthesized monochromatic CT numbers and effective atomic numbers obtained with a rapid kVp switching dual energy CT scanner. Med Phys. 2011;38(4):2222-2232.
- 5 D'Angelo T, Cicero G, Mazziotti S, et al. Dual energy computed tomography virtual monoenergetic imaging: technique and clinical applications. Br J Radiol. 2019;92(1098):20180546.
- 6 Bittencourt, M., Schmidt, B., Seltmann, M., et al. : Iterative Reconstruction in Image Space (IRIS) in Cardiac Computed Tomography ; Initial Experience. Journal of Cardiovascular Computed Tomography, 2010.
- 7 Gramer, B., Hein, F., Meyer, T.H., et al. : Iterative Image Reconstruction in High-Pitch Helical Cardiac CT Angiography.
- 8 Deák Z, Grimm JM, Treitl M, et al. Filtered back projection, adaptive statistical iterative reconstruction, and a model-based iterative reconstruction in abdominal CT: an experimental clinical study. Radiology 2013; 266(1): 197-206.

- 9 Carlos E.Rochitte, Richard T. George, Marcus Y. Chen, et al. Computed tomography angiography and perfusion to assess coronary artery stenosis causing perfusion defects by single photon emission computed tomography: the CORE320 study. *European Heart Journal*. 2014; 35: 1120-1130.
- 10 Kitagawa K, et al. Diagnostic Performance of Dynamic Myocardial Perfusion Imaging Using Dual-Source Computed Tomography. *J Am Coll Cardiol*. 2021 Nov 16;78(20):1937-1949. doi: 10.1016/j.jacc.2021.08.067. PMID: 34763770.
- 11 Williams MC, et al. Coronary Artery Plaque Characteristics Associated With Adverse Outcomes in the SCOT-HEART Study. *J Am Coll Cardiol*. 2019 Jan 29;73(3):291-301. doi: 10.1016/j.jacc.2018.10.066. PMID: 30678759; PMCID: PMC6342893.
- 12 Knuuti J, et al. 2019 ESC Guidelines for the diagnosis and management of chronic coronary syndromes: The Task Force for the diagnosis and management of chronic coronary syndromes of the European Society of Cardiology (ESC). *European Heart Journal*, published online Aug. 31, 2019.
- 13 Holland AE, Goldfarb JW, Edelman RR. *Radiology*. 1998 Nov;209(2):483-9. doi: 10.1148/radiology.209.2.9807578. PMID: 9807578.
- 14 Horiguchi J, Shen Y, Hirai N, Yamamoto H, Akiyama Y, Ishifuro M, Kakizawa H, Hieda M, Tachikake T, Matsuura N, Ito K. *Acad Radiol*. 2006 Feb;13(2):173-6.
- 15 高田賢、市川勝弘 ハーフ再構成画像における面内画質特性の評価 *Proceedings of JSCT Vol.2* 2014;20-23
- 16 佐野始也。64 列 MDCT による冠動脈撮影の最適なプロト コルを求めて。 *日放技学誌* 2011; 67(5): 601-607.
- 17 Ohashi K, et al; Examination of the optimal temporal resolution required for computed tomography coronary angiography. *Radiol Phys Technol*. 2013 Jul;6(2):453-60. doi: 10.1007/s12194-013-0218-1. Epub 2013 May 26. PMID: 23709040.
- 18 Sano T, Kondo T, Matsutani H, et al. Significance of PQ interval in acquisition of coronary multidetector row computed tomography. *Journal of Cardiology* 2009; 54(3): 441-451.
- 19 日本放射線技術学会撮影部会編。X 線 CT 撮影における 標準化～GALACTIC～ (改訂 2 版)。日本放射線技術学会 2015: iii - iv
- 20 Cademartiri F1, et al . Influence of intracoronary attenuation on coronary plaque measurements using multislice computed tomography: observations in an ex vivo model of coronary computed tomography angiography .*Eur Radiol*. 2005 Jul;15(7):1426-31. Epub 2005 Mar 5
- 21 Cademartiri F1,et al. Higher intracoronary attenuation improves diagnostic accuracy in MDCT coronary angiography..*AJR Am J Roentgenol*. 2006 Oct;187(4):W430-3.
- 22 市川智章 (編)。CT 造影理論 東京:医学書院, 2004.
- 23 Yamaguchi T, et al. A New Contrast Enhancement Protocol for Subtraction Coronary Computed Tomography Requiring a Short Breath-Holding Time.

- Acad Radiol 2017; 24(1): 38-44.
- 24 Angelini P. Normal and anomalous coronary arteries: definitions and classification. Am Heart J. 1989 Feb;117(2):418-34. doi: 10.1016/0002-8703(89)90789-8. PMID: 2644796.
- 25 Angelini, Paolo. "Coronary artery anomalies: an entity in search of an identity." Circulation 115.10 (2007): 1296-1305.
- 26 Cheezum MK, et al. Anomalous Aortic Origin of a Coronary Artery From the Inappropriate Sinus of Valsalva. J Am Coll Cardiol. 2017 Mar 28;69(12):1592-1608. doi: 10.1016/j.jacc.2017.01.031. PMID: 28335843.
- 27 延吉正清:新冠動脈造影法.医学書院1990,
- 28 Ghersin E, et al. Anomalous origin of right coronary artery: diagnosis and dynamic evaluation with multidetector computed tomography. J Comput Assist Tomogr. 2004 Mar-Apr;28(2):293-4. doi: 10.1097/00004728-200403000-00022. PMID: 15091137.
- 29 山科 章,冠動脈病変の非侵襲的診断法,日獨医報(2010)Volume55 1, 9-17
- 30 工藤 正幸 三次元CT画像を用いた冠動脈の起始異常および開口部起始位置の解剖学的調査 近畿大学医学雑誌 35巻3-4号 Page177-184
- 31 日本循環器学会ほか：慢性冠動脈疾患診断ガイドライン（2018年改訂版）.2019.
- 32 Nakazawa G, et al. Efficacy of culprit plaque assessment by 64-slice multidetector computed tomography to predict transient no-reflow phenomenon during percutaneous coronary intervention. Am Heart J. 2008 Jun;155(6):1150-7. doi: 10.1016/j.ahj.2008.01.006. Epub 2008 Mar 28. PMID: 18513532.
- 33 Loubeyre C, et al : A randomized comparison of direct stenting with conventional stent implantation in selected patients with acute myocardial infarction. J Am Coll Cardiol ; 39
- 34 Sakakura K, et al. How Should We Perform Rotational Atherectomy to an Angulated Calcified Lesion? Int Heart J. 2016 May 25;57(3):376-9. doi: 10.1536/ihj.15-421. Epub 2016 May 9. PMID: 27170474.
- 35 日本循環器学会ほか：安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン（2018年改訂版）.2019.

衆議院議員三ツ林裕巳先生と衆議院議員畦元将吾先生へ 年頭のご挨拶および政策に関する意見交換

2022年1月14日（金）、公益社団法人日本診療放射線技師会 富田博信副会長と共に、衆議院議員三ツ林裕巳先生、衆議院議員畦元将吾先生へ表敬訪問を行い、年頭のご挨拶と政策について意見交換をさせていただきました。

「告示研修に関すること」「タスクシフトにおける診療放射線技師の活躍」「保険点数に伴う診療放射線技師待遇の改善」など、多岐にわたる分野での意見交換をさせていただきました。



左：富田副会長 中：三ツ林衆議院議員 右：田中会長

左：田中会長 中：畦元衆議院議員 右：富田副会長



左：田中会長 中：畦元衆議院議員 右：富田副会長

2021年度 第12回CT認定試験開催報告

学術理事 中根 淳

2022年1月8日（土）に、オンライン環境のみで第12回CT認定試験を開催した。認定試験の受験者数は12人であった。今回のCT認定試験は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、会場集合型から切り替えてオンラインで実施をした。オンライン開催のため、他県からの受験もあった。内容は、例年通り筆記・読影・物理特性の3つの試験を実施し、各試験70点以上で認定取得となる。ただし、物理特性は、講習会で実施したNPS、MTF、SSPzのどれか2つ選択し、講習会で配布した資料を見ながら解析して構わないとしている。試験当日はオンラインという初めての試みであったが、ページングによる読影もリモートデスクトップアプリケーションなどを活用し、会場型と同じような試験を構築し、大きなトラブルもなく終わることが出来た。今後も、オンラインにて継続的に認定試験は実施する予定である。

最後に認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

【CT認定者】敬称略

A 認定：該当者なし

B 認定：嶋崎 恭介（上尾中央総合病院）
中村 英明（静岡済生会総合病院）
岡野 翼（総合東京病院）
宮本 桃子（上尾中央総合病院）

認定試験を合格された方々には、各施設でCT検査の技術向上において中心的な役割を担っていただけたら幸いです。

2021年度 救急セミナー Web 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 学術理事 滝口 泰徳

2022年1月12日（水）にWeb会議システムを用いて、第5回 2021年度救急セミナー Webを開催しました。参加は19人の申し込みがありました。内訳は、埼玉県以外にも多くの地域からの参加があり、オンラインセミナーのメリットと考えています。内容と講師は、以下の通りです。

プログラム（敬称略）

総合司会

		JCHO 船橋中央病院	滝口 泰徳
19:00~19:30	DMATにおける診療放射線技師の役割～私たちにできること～	上尾中央総合病院	井田 篤
19:40~20:10	災害対策をはじめよう！	埼玉医科大学総合医療センター	大根田 純
20:20~20:50	緊急時に備えていますか？心肺停止患者対応の訓練と課題	さいたま市立病院	野々浦成美

埼玉県診療放射線技師会では救急撮影ケーススタディとして、「1つの疾患に対して、身体所見、生理検査から総合的に画像検査を捉える」ことを目的にグループワークを含む講習会を行ってまいりました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の観点から今年度も集合型での講習会は難しく、Web（Zoom）を用いたオンラインでの座学中心の講習会を救急セミナーとして企画しました。今回はケーススタディではテーマにしにくい災害医療や心肺停止患者の対応について各施設の取り組みを紹介しました。

今回のテーマはどれもいつ起こるかわからない災害や緊急事態に対して、どれだけ備えることができるのかということを改めて考えさせられる内容でした。このような企画は会員の皆さまにとって有意義であると考えています。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

2021年度 乳腺セミナー開催報告

学術担当 亀山 枝里

埼玉県診療放射線技師会主催の乳腺セミナーは、2022年1月16日（日）、コロナ禍のためオンライン開催となりました。受講された参加者数は22人でしたが、オンライン開催の利点でもある遠方からの参加もみられ関心の高さを知ることができました。

今回のセミナーではマンモグラフィだけではなく、乳腺エコーや乳腺MRIについても学ぶことができ、症例検討では一つの症例をモダリティごとに読影を行い、病理から治療方法まで一連の流れで学ぶことができる内容でした。また、読影の際にはZoomの投票機能を使用することで、オンラインセミナーでも座学だけではなく、受講者参加型のセミナーとなりました。

セミナー後のアンケートに関しても、良かったとの回答をいただけ、次回開催に向けてのご意見もいただきました。今回ご講演いただきました山田先生、新島先生、坂井先生にはこの場をお借りしお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

総合司会：亀山 枝里（熊谷総合病院）

13：00～14：00	マンモグラフィの基礎と読影法	山田 智子（さいたま赤十字病院）
14：00～15：00	乳腺エコーの基礎と読影法	新島 正美（熊谷生協病院）
15：10～16：10	乳腺MRIの基礎と読影法	坂井 香澄（関東中央病院）
16：10～17：10	症例検討	山田 智子（さいたま赤十字病院） 新島 正美（熊谷生協病院） 坂井 香澄（関東中央病院）

2021年度 上部消化管検査認定講習会&認定試験 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 学術委員 浅見 純一

2022年1月23日（日）に2021年度上部消化管検査認定講習会を、Zoomを利用したオンライン形式で開催しました。申込者数は17人で全講習会を聴講し修了された方は12人でした。新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今年度も前回と同様に、完全オンライン形式での開催となりましたが、広島県や熊本県などの遠方から参加された方もいましたので、オンライン開催による効果だと思っております。今後もより充実した講習会を目指すように企画して参ります。

また、2022年2月6日（日）に第18回上部消化管検査認定試験を開催しました。今回より、筆記試験、読影試験はオンライン試験となり、準備など含めて大変ではありましたが、大きなトラブルもなく開催することが出来ました。県外の方を含めた18人が受験して、B評価者が2人という結果でした。今後も、新型コロナウイルスの感染状況に左右されないように、講習会や認定試験を企画して参りますので、ぜひ、ご参加ください。講習会のプログラムおよび講師は下記の通りです。

プログラム（敬称略）

開催日：2022年1月23日（日）

会 場：Zoomを利用したオンライン講習

8：30～ 9：30	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	浅見 純一（行田中央総合病院）
9：40～10：40	被ばく管理	志田 智樹（丸山記念総合病院）
10：50～11：50	受診者管理 （造影剤・検査説明・接遇・情報管理）	伊藤 寿哉（埼玉石心会病院）
11：50～12：50	昼休み	
12：50～13：50	上部消化管撮影技術	池田 圭介（済生会川口総合病院）
14：00～15：00	上部消化管検査に必要な病理	今出 克利（さいたま市民医療センター）
15：10～16：10	上部消化管検査に必要な読影	今出 克利（さいたま市民医療センター）
16：20～17：20	精密検査法とレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

終わりに、参加された受講生の皆さま、講義を担当して頂いた先生方に、この場を借りて深くお礼申し上げます。

【講師の方々】



本会の動き

【上部消化管検査認定者】

A 認定：なし

B 認定：中村 隆行（済生会川口総合病院）

澤田 英二（三郷中央総合病院）

認定試験を合格した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めて頂きたいと思っております。



2021年度 第19回 胸部認定試験 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
 学術理事 滝口 泰徳

2022年1月30日（日）に埼玉県診療放射線技師会主催の第19回胸部認定試験がオンライン形式で開催されました。認定試験の受験者は県内外合わせ11人でした。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、認定講習会および認定試験の開催は叶いませんでしたが、今年度はオンラインで試験を行うことで無事に開催することが出来ました。

開催方法はZoomで受験者と通信を行ったまま、Webのアンケートサイトを用いた読影問題、および筆記問題を回答する方法をとりました。可能な限り従来の試験との格差をなくすため、筆記試験は選択方式、読影試験は記述方式で回答を収集しました。読影試験に関しては3回前より高精細モニタを用いた試験方式でした。一人につき1台のモニタで、3分おきに変わる画像を読影する方式をとっていましたが、「拡大表示をしたい」、「制限時間内に自由に読影したい」との意見を頂いており、そちらに関しては今回の試験方式で改善されたのではないかと思います。ただ、オンライン方式での受験者のほとんどが通常のPCで参加しており、モニタの輝度や解像度、医用モニタではないことによるコントラストの違いにより、少数ではありますが「画像が見にくい」との意見があり、今後の課題とさせていただければと思います。

認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、オンライン開催に向けさまざまな意見を下された学術委員、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

認定試験の結果は以下の通りです。

【胸部認定】

A 認定：該当者なし

B 認定：大塚 虹歩（三愛病院）
 輪島 健大（伊奈病院）
 白石 健吾（埼玉医科大学総合医療センター）
 上野 真帆（上尾中央総合病院）
 吉田 寛将（西大宮病院）
 鈴木愛理沙（西大宮病院）
 中村 亮太（上尾中央総合病院）
 中里 奨（済生会川口総合病院）

認定試験を合格者した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただければ幸いです。

2021年度 MRI基礎講習会 (Web) 開催報告

埼玉県診療放射線技師会
学術理事 近藤 敦之

埼玉県診療放射線技師会が主催してきたMRI基礎講習会は、昨年引き続きZoomを利用したオンラインセミナーとし2022年2月12日(土)に開催した。内容は、問題解説が中心となった。受講者は46人であった。

プログラム (敬称略)

2022年2月12日(土)

12:30~	入室開始		
13:00~14:00	基礎分野問題解説	自治医科大学附属さいたま医療センター	池田 欣正
14:10~15:10	技術分野問題解説	埼玉医科大学総合医療センター	細井 慎介
15:20~16:20	管理分野問題解説	さやま総合クリニック	坂口 功亮
16:30~17:00	試験傾向と最新技術解説	埼玉医科大学病院	近藤 敦之

基礎分野問題解説は基礎物理、正常解剖、画像解剖、読影に関連した分野を池田先生に解説していただいた。初心者から上級者までの全ての土台となる部分を丁寧に解説していただいた。技術分野問題解説では、MR撮像、画像再構成、シーケンスやアーチファクトの問題を細井先生に解説していただいた。磁気共鳴専門技術者の中でも幅広い知識が求められる分野をわかりやすく解説していただいた。管理分野問題解説は安全管理に関連する分野であり、坂口先生に解説していただいた。この分野は、実臨床において重要であり、安全なMRI検査を行うための基本事項をしっかりと解説していただいた。試験傾向と最新技術解説では、基礎講習会の追加説明、除外問題の解説、技術解説(Boneイメージング)を取り上げました。最後に、講師の皆さま、受講者の皆さま、協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

放射線被ばくに関する講習会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
公益理事 紀陸 剛志

2022年2月19日（土）に埼玉県診療放射線技師会主催の放射線被ばくに関する講習会が、オンラインにて開催されました。参加者は25人でしたが、埼玉県外からの申し込みも多数ありました。オンライン開催の利点でもある、遠方からの参加者の多さから、放射線被ばくに関する関心の高さを知ることができました。

今回は、今一度「放射線被ばくについて見直してみよう」という趣旨から、会員の皆さまには、改めて放射線防護を考えるべく、患者さんに対する放射線防護、医療従事者に対する放射線防護、それぞれについて考え直すきっかけとなるよう、講師の方々にご講演いただきました。特別講演では、「放射線について考えよう。」というテーマで、同著者の多田先生にご講演いただきました。われわれが、放射線について忘れていたり誤解して記憶していることをご教授いただきました。さらには、放射線事故や放射線を扱うことに対する再教育の重要性を感じる、非常に興味深い講演内容でした。

最後に、講演会の途中の通信トラブルでは、不測の事態でご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。また当講習会にご協力いただきました講師の方々、ご参加いただきました会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

総合司会 埼玉医科大学病院 紀陸剛志

1. 放射線防護について考える～患者編～

- | | | |
|-------------------|--------------------------------|----------------|
| ①放射線防護の最新知見 | JART医療被ばく安全管理委員会 | 鈴木 賢昭 |
| ②放射線防護の現状（東京多摩地域） | 公立福生病院 | 野中 孝志 |
| ③放射線防護の現状（埼玉県） | SART公益委員 さいたま赤十字病院
上尾中央総合病院 | 大河原侑司
嶋崎 恭介 |

2. 放射線防護について考える～従事者編～

- | | | |
|-----------|-----------|-------|
| ①改正電離則の概要 | さいたま赤十字病院 | 北山 早苗 |
| ②実践的従事者防護 | 上尾中央総合病院 | 佐々木 健 |

3. 特別講演 「放射線について考えよう。」

大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 准教授 多田 将

第3回SART被ばく相談事例検討会 開催報告

公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
公益理事 紀陸 剛志

2022年2月22日（火）に埼玉県診療放射線技師会主催の第3回SART被ばく相談事例検討会が、オンラインにて開催されました。参加者は17人でしたが、埼玉県外からの申し込みも多数ありました。オンライン開催の利点でもある、遠方からの参加者の多さから、被ばく相談に関する関心の高さを知ることができました。

診療放射線技師として日ごろ、診療にたずさわる中で、被ばく相談をされた際に、なんて答えようか不安がある方、被ばく相談に上手く対応できなかった経験をお持ちの方、被ばく相談に興味がある方々にご参加いただきました。

今回も埼玉県診療放射線技師会の公益委員が、講師を務めました。公益委員の主な活動の中に、メールによる被ばく相談があります。被ばく相談は、対面式や電話、メールなどさまざまな形態がありますが、基本的な考え方や進め方、伝え方は同じだと思います。その被ばく相談を“ととのえる”為に知っておきたいコツと、被ばく相談のノウハウを事例紹介とともにご講演いただきました。質疑においても、積極的な意見交換が行われ、ご参加いただいた皆さまと一緒に、被ばく相談について考えることができたと感じております。

最後に、当講習会にご協力いただきました講師の方々、ご参加いただきました会員の皆さまに、この場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

総合司会 埼玉医科大学病院 紀陸 剛志

1. 【19:00～19:30】

放射線被ばくに関する基礎知識

埼玉県立小児医療センター 佐藤 克哉

2. 【19:30～20:40】

被ばく相談を“ととのえる”為に知っておきたいコツ

①傾聴法や被ばく相談について

白岡中央総合病院 石田 仁子

②事例紹介

済生会栗橋病院 内海 将人

③質疑応答

第三支部



第三支部だより



第三支部理事 市川 隆史

すがすがしい若葉の季節を迎え、皆さまにはご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて昨年度、いまだCOVID-19の感染の影響で、例年行事である川越市健康祭りやリレーフォーライフの開催はなく、第三支部ではWeb開催の勉強会のみとなりました。また、納涼会、新年会などの親睦活動も自粛せざるを得ない状況でした。本年度も当面の間、対面で集合するような親睦活動は未定とさせていただきますが、期待をもって状況を見ていきたいと思っております。

勉強会については、埼玉県診療放射線技師会活動に鑑みて当面の間Web形式で開催する予定です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【報告事項】

1. 第2回 第三支部勉強会・総会

(ア) 日時：2022年3月18日（金）18：30～19：30

(イ) 場所：COVID-19感染対策でZoomにて開催

(ウ) 内容：「胸部認定取得に向けた読影の基礎」

埼玉医科大学総合医療センター中央放射線部 白石 健吾

参加人数：14人

2. 第3回 支部役員会

(ア) 日時：2022年3月18日（金）19：30～20：00

(イ) 場所：COVID-19感染対策でZoomにて開催

(ウ) 内容：役員交代による申し送り・次年度運営に関して

参加人数：8人

【今後の予定】

1. 2022年度 第1回第三支部役員会

(ア) 日時：未定

(イ) 場所：Zoomでの開催を予定

(ウ) 内容：年間活動予定報告

2. 2022年度 支部合同勉強会

(ア) 日時：2022年5月21日（土）14：00～17：00

(イ) 場所：オンライン開催

(ウ) 内容：「ディスカッション～なんでもいいから諸先輩に聞いてみよう！～」

「タスクシフト/シェアについてのアンケート」

「診療放射線技師のタスクシフト/シェアと業務拡大について(仮)」

「救急センター看護師だった診療放射線技師が、進化する診療放射線技師に伝えられること」

※第三支部活動は随時、埼玉県診療放射線技師会ホームページに掲載しますのでご確認ください。

各支部掲示板

【2021年度総会開催報告】

2022年3月18日（金）に「2021年度 第三支部総会」を開催しました。
第2回勉強会（Web開催）の後、支部の役員のみでの開催となりました。
開催時の資料を、この場を借りて提示させていただきます。

議題 第21 令和3年度事業報告

令和3年度 埼玉県診療放射線技師会 第三支部・地区事業報告
(令和3年4月1日～4年3月31日まで)

報告事項

(1) 第1回 総会
日時：2021年4月23日（金） 18:00～20:30
場所：埼玉医科大学病院 本館311号会議室
出席者：8名

(2) 第1回 勉強会
日時：2021年7月2日（金） 18:30～
内容：Zoom 勉強会開催のポイント
・ICU（一般病棟） 埼玉医科大学国際医療センター中央放射線科 藤上 誠 氏
・ICU1 埼玉医科大学国際医療センター中央放射線科 室岡 裕也 氏

(3) 第2回 総会
日時：2021年10月16日（月） 20:00～
場所：COVID-19 感染対策で20周年会議
出席者：8名

(4) 第2回 勉強会・総会
日時：2021年3月18日（金） 18:30～
内容：「施設認定申請に向けた活動の基礎」
埼玉医科大学総合医療センター中央放射線科 室岡 裕也 氏

(5) 第3回 総会
日時：2022年4月18日（金） 18:30～
場所：COVID-19 感染対策で20周年会議
参加人数：8人
内容：役員交代による申し送り・お年賀渡呈に際して

第三支部総会 室岡 裕也
第三支部総会 今井 真

議題 第22 令和4年度事業計画（案）

令和4年度 埼玉県診療放射線技師会 第三支部・地区 事業計画（案）

第三支部総会・地区代表者 室岡 裕也
(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

1. 総務会
① 第1回総務会（支部合併） 令和4年5月
② 第2回総務会 令和4年11月
③ 第3回総務会 令和5年2月

2. 総務会行事
① 納税会 未定
② ボーディング大会 未定
③ 新年会 未定

3. 公益
① シニアフォーティブイフ問題 令和4年9月 開催未定
② 同趣会開催まつり 令和4年11月 開催未定

4. 役員会
① 第1回役員会 令和4年8月
② 第2回役員会 令和4年9月
③ 第3回役員会 令和4年12月
④ 第4回役員会 令和5年2月

5. 地区定期総会 令和5年3月

注）COVID-19 感染対策により開催の有無、日付の変更の可能性あり

第三支部総会・地区代表 室岡 裕也
第三支部・地区総会 今井 真

審議PC-2 2021年度 第三支部決算報告						
埼玉県診療放射線技師会 第三支部 財務出納帳						
日付	支払い/入金先	勘定科目	摘要	入金	出金	残金
2021年4月1日	埼玉県診療放射線技師会		当年度補助金 (500円×会員 267人)	133500		133500
2021年4月～2022年3月	第三支部役員会	会議	会議費(通信費)(1人×1000円)延べ19名 4月、11月		19000	114500
2021年7月2日	第1回勉強会講師謝礼 書上 誠 氏、宮崎 裕也 氏	学術	講師謝礼 5568円×2		11136	103364
2022年1月31日	郵便局	公益	往復はがき(110枚) プライバシーシール		13860	89504
2022年3月18日	第2回勉強会講師謝礼 白石 健吾 氏	学術	講師謝礼		2110	87394
2022年1月31日	銀行		硬貨を伴う引出し手数料		5568	81826
2022年3月18日	銀行		硬貨を伴う引出し手数料		110	81716
					110	81606
				入金合計	出金合計	残金合計
				¥133,500	¥51,894	¥81,606

第六支部

～Lock on～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

1. 巻頭言
2. 総会報告
3. 旧役員退任あいさつ

巻頭言

丁寧なコミュニケーション

埼玉県立小児医療センター 茂木健太郎

新型コロナウイルスが流行し始め早くも2年半がたつ。マスク着用や会食を控え、ミーティングや飲み会をオンラインで行うなど、新しい生活様式も今では当たり前を感じるまでに浸透してきた。だが、かつてのように気軽にしていた対面でのコミュニケーションとは違い、感染対策として会話は手短に済ませがちだったり、オンラインではスムーズなやり取りが思ったようにいかなかったりする。

仕事では、上司や部下、他職種、世代の異なる相手が出て、それぞれ異なる考えを持っている。チームで良い仕事をするには良い職場環境、特に職員同士の信頼関係が必要であるが、感染対策として会話も控えめにとわれてしまえば、いっそう職員同士のコミュニケーションが減り、信頼関係も築きにくくなっているのではないか。

私は最近、人間関係で失敗をしている。去年、私は両親たちと2世帯で暮らし始めた。やはりというべきか、一緒に暮らし始めてしばらくして妻と母の関係がうまくいかなかった。嫁姑問題である。世代間の生活習慣に対する価値観の違いも原因の一つであったが、それ以前に、家族の間柄となったとはいえ、本人同士にしてみれば、まだまだお互い知らない事だらけの“他人”であったのだ。そこを十分にケアしないまま、面倒事を頼んだり、引き受けたりと、空気が読めていなかった私の失敗であった。

その後、私達の仲は1歳半の息子が取り持ってくれた。母には息子との遊びには積極的に関わってもらったところ、息子の振りまく無邪気な笑顔につられ、自然な状態で妻と母がコミュニケーションをとれる環境が生まれた。そして互いの理解と信頼を築くことができたのだ。

さて5月になり、皆さんも新しい人間関係が落ち着いてきた頃だと思う。平時であれば大型連休にBBQで親睦を深めるといった行事がひらかれていたところだが、今年もコロナ禍とあって歓送迎会も行えなかったご施設も多いのではないだろうか。

イベントなどの楽しい時間を共有できる場合は、お互いを知り信頼関係を築くうえで大切だったと思う。家族の間柄でも互いの理解が難しいなら、まして本当の他人ならなおさら丁寧な付き合い方をしなくてはいけないのではないか。

信頼感はこちらからはたらきかけ、相手から得られるものである。信頼感を深める要素を挙

げるならば、その人の能力や成果はもちろんだが、誠実さや価値観、相手との接触頻度や自分への関心、といったものがあると思う。これらは相手に対して、丁寧にしっかりと対応し、自分のことを伝えるだけでなく相手の話をきちんと聞き理解を示すことの積み重ねで高められる。これらは簡単ではないが、せめてあいさつや連絡をとる頻度を上げることから始めたい。

マスク着用のせいで表情が読みにくく、対話の機会が減っている今だからこそ、丁寧なコミュニケーションをとるようにしていきたいと思う。

旧役員退任あいさつ

4年間第六支部の総務・学術を努めさせていただきました。会長をはじめ役員の皆さま方には大変お世話になりました。総務では納涼会や忘年会の企画・運営、学術ではコロナ禍のため、会議ツールを用いたWebでの定期講習会を企画・運営させていただいたことは大変貴重な経験となりました。これからは、六支部の一会員としてさまざまな行事に参加し、貢献していきたいと思えます。4年間ありがとうございました。

上尾中央総合病院 飯島 竜

この2年間の任期中はオンラインを通じての活動となり、至らぬ点多々ありましたが、貴重な経験となりました。

皆さまには大変お世話になり、ありがとうございました。

これからも技師会の活動を通して、皆さまと連携していきたいと思えます。

埼玉県立小児医療センター 牧 隆史

2021年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部 定期総会報告

去る3月10日（木）に公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第六支部定期総会が無事終了致しました。お忙しい中、多くの出席および委任状提出いただきありがとうございました。

会員の皆さまには引き続きご協力とともにご指導、ご鞭撻をいただけます様、よろしくお願い致します。

2021年度 埼玉県診療放射線技師会第六支部 総会議事録

1. 日 時 2022年3月10日（木）19時00分～19時30分
2. 開催方式：Zoomを用いたWeb
3. 会 員 数 337人
4. 出 席 者 20人 委任状提出者 224人 合計 244人
5. 開 会
6. 会長挨拶
7. 議長選出・書記任命

議長に埼玉小児医療センター 茂木健太郎氏、書記に指扇病院 石川直哉氏、上尾中央総合病院 中川原拓実氏が選出された。

8. 議事事項

- ・2021年度事業報告
- ・2021年度決算報告
- ・監査報告（事業監査報告、会計監査報告）
- ・2022年度事業計画案
- ・2022年度予算案

9. 議事の経過

総会出席者数の審査の結果、本総会は成立する旨が報告された。

2021年度事業報告を茂木会長が報告。

2021年度決算報告を大川会計が報告。

監査報告は山口明氏により、事業が適正であったと報告された。また、会務・事業に対し収支共に健全に行われていると認める旨を報告された。

議長は議事について順次に賛否を諮り、賛成多数により全議事について承認された。

2022年度事業案を茂木会長、2022年度予算案を牧会計が説明した。

議長は議事について順次に賛否を諮り、賛成多数により全議事について承認された。

10. 役員選挙

本年の選挙は行われず。

11. 閉会

以上のとおり議事が進行されたことを報告致します。

2021年3月10日（木）
第六支部理事 茂木 雅和

求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

掲載要項

発行部数：約1490部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月中旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。
法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
FAX 番号 048-664-2733
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

2021年度 第1回常務理事会議事録（抄）

日 時：2021年4月1日（木）19:00～21:00

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者：会 長：田中 宏

副 会 長：堀江 好一

常務理事：今出 克利、潮田 陽一、

八木沢英樹、城處 洋輔、

結城 朋子

欠 席 者：富田 博信、佐々木 健

第1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏

議事録署名人 堀江 好一、今出 克利

議事録作成人 結城 朋子

と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中
会長を議長に選出し、

2021年度第1回常務理事会を開催した。

第2. 報告および確認事項

1. 副会長（堀江）

(1) 公益インフォメーションへの次年度事業計画お
よび予算の提出が終了した。

2. 総務（城處）

(1) フレッシュアップセミナーをeラーニング形式で
6月ごろに開催予定。

3. 編集情報（八木沢）

(1) 会誌5月264号について報告した。

ア. 2021年5月25日完成 発送予定

(2) 会員データベースおよび演題登録システムのデ
モを5月中に予定。

4. 学術（今出）

(1) 第34回埼玉県診療放射線技師学術大会をオン
ライン形式で開催した。

ア. 日時：2021年3月14日（日）

イ. 会場：Zoomを利用したオンライン形式

ウ. 申込者数：194人（埼玉県内：186人、県外：
8人）

エ. 添付資料① 開催報告とアンケート調査結果

5. 財務（潮田）

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日時：2021年3月27日（土）

(2) Pay Pay決裁有料化の連絡があった。利率発表
は3月31日予定であったが、8月31日へ延期と
なった。

第3. 審議・承認事項

なし

次回、2021年度 第2回常務理事会予定 2021年
8月5日（木）

配布資料（メール配信を含む）

- (1) 総務資料
- (2) 編集情報資料
- (3) 学術資料
- (4) 財務資料
- (5) 前回議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人にお
いて署名捺印します。

2021年4月1日（木）

議事録署名人 堀江 好一 （押印略）

今出 克利 （押印略）

2021年度 第6回理事会議事録 (抄)

日時：2021年11月4日（木）19:00～21:30

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：会長：田中 宏
 副会長：富田 博信、潮田 陽一
 常務理事：今出 克利、八木沢英樹、
 城處 洋輔、清水 邦昭、
 中根 淳
 理事：肥沼 武司、滝口 泰徳、
 近藤 敦之、吉田 敦、
 紀陸 剛志、双木 邦博、
 大西 圭一、市川 隆史、
 大野 渉、矢崎 一郎、
 茂木 雅和
 監事：浅野 克彦
 顧問：小川 清
 事務局：結城 朋子、戸澤 茜
 欠席：鈴木 正人、堀江 好一、佐々木 健

4. 総務（今出）

- (1) 第19回上部消化管認定講習会、委嘱状の発送について
 ア. 該当者6人に対して、委嘱状を作成した。（公印番号3-27）
 イ. 10月19日（火）に郵送した。
 (2) コロナ感染状況を鑑み、新春の集いは今年度も中止とする。
 (3) 今後の会議予定

日時	イベント名	備考欄
2021/12/ 2 (木)	第2回常務理事会	
2021/12/30 (木)	第5回常務連絡会	
2022/ 1/ 6 (木)	第7回理事会	
2022/ 2/ 3 (木)	第3回常務理事会	
2022/ 2/24 (木)	第6回常務連絡会	
2022/ 3/ 3 (木)	第8回理事会	

第1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

議長：田中 宏
 議事録署名人：田中 宏、浅野 克彦
 議事録作成人：八木沢英樹 と定めた。

5. 総務（八木沢）

- (1) 報告事項なし。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（田中）

- (1) 報告事項なし。

2. 副会長（富田）

- (1) 日本診療放射線技師学術大会が11月12日（金）～14日（日）に東京ビックサイトで開催する。
 (2) 「告示」研修会について
 ファシリテーター講習会を11月6日（土）と7日（日）にパース大学（群馬県）にて開催する。

3. 副会長（潮田）

- (1) 顧問税理士の月次監査を受けた。
 ア. 日程：2021年10月30日（土）
 イ. 内容：消費税のインボイス制度
 電子帳簿保存法（ネット販売で物品を購入した場合は、必ず領収証などをPDFで保存すること）

6. 編集・情報（清水）

- (1) 埼玉放射線10月266号発送済み

ア. 内容：

(ア) 「誌上講座」

「脊髄再生医療リハビリテーションにおける当院の対応と臨床検査技師・診療放射線技師の関わり」 肥沼理事 吉田理事

(イ) 「技術解説」

富士フィルム富山化学：フルデオキシグルコース（18F）静注「FRI」の紹介
 バイエル薬品 MRI用造影剤自動注入装置 - MRXperion -

(ウ) 支部合同勉強会 抄録集（後抄録）

さいたま赤十字病院 放射線科部
 池野 裕太 氏
 埼玉県済生会栗橋病院 放射線技術科
 内海 将人 氏

(エ) 会告

CT認定講習会のお知らせ
 AI講習会のお知らせ

- 乳腺セミナーのお知らせ
2021年度 救急セミナーWeb開催のお知らせ
第19回上部消化管検査認定講習会
第19回胸部認定講習会Web開催のお知らせ
- (2) 会誌埼玉放射線1月267号
締め切り12月1日(水)
ア. 内容:
(ア) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集
(イ) 第六支部定期講習会2人
(ウ) 「技術解説」富士フイルム株式会社
- (3) 委員会開催予定
ア. 第1回編集情報委員会 2021年9月9日(木) 済み
イ. 第2回編集情報委員会 2021年11月予定
- (4) 会誌発行部数変更 1490部
7. 編集・情報(吉田)
(1) ホームページ
ア. Webサイト 掲載および更新(会員用)
(ア) 第97回 埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内
(イ) 2021年度 救急セミナー Web開催のお知らせ
(ウ) 乳腺セミナー開催のお知らせ
(エ) 2021年度 第19回上部消化管検査認定講習会
(オ) 第98回 埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内
イ. 新エントリーフォームについて
(ア) 申込番号が連番になってしまう。
(イ) システムが独立しておりイベントカレンダーと連動できない。
(ウ) 申し込み後のサンクス画面にてリロード、戻るボタンを押下すると同じデータが連続でデータベースに書き込みされてしまう(修正済み)。
ウ. メールマガジン
(ア) メルマガNo.110配信
8. 財務(肥沼)
(1) 10月6日(水) 公益法人 informationに昨年
度事業報告再提出を行った。
- (2) 10月11日(月)
学術大会演題申込を新規フォームにて開設した。
- (3) 10月14日(木) 公益法人 informationに理事登記変更届提出を行った。
- (4) 10月15日(金) eBook準備のためSARTホームページのSSL取得をした。
URL、トップページからhttp://~ を/https://~へ自動表示変換
- (5) 10月26日(火) eBook準備のためDNSを設置した。
サブドメインe-books.sart.jpで作成、キタジマ出版側との連携を確認した。
- (6) Facebookについて
ア. アカウント作成(現在非公開)した。
URL (https://www.facebook.com/sart.net.jp)
ウ. ソーシャルメディア運用規定の修正を行った。(添付資料)
エ. ソーシャルメディア利用管理規定の修正を行った。(添付資料)
オ. Facebookのテスト配信を始める。
9. 学術(城處)
(1) 2021年度第4回学術委員会を開催した。
ア. 日時: 2021年10月25日(月)
イ. 会場: ZoomによるWeb会議
ウ. 添付資料: 第4回学術委員会議事録
- (2) 第5回 SART学術ナイトセミナーを開催した。
ア. 日時: 2021年10月27日(水)
イ. 会場: ZoomによるWeb開催
ウ. 参加人数: 29人
エ. 添付資料: 第5回 SART学術ナイトセミナー開催報告
- (3) JART基礎技術講習会の次年度開催について
ア. 一般撮影を予定
10. 学術(中根)
(1) 第5回 SART学術ナイトセミナー開催報告
ア. 申込者29人
11. 公益(佐々木)
(1) 報告事項なし。

12. 公益（紀陸）

- (1) 報告事項なし。

13. 第一支部（双木）

- (1) 今後の予定

ア. 支部勉強会の開催

- (ア) 日時：2021年12月中旬
(イ) Zoomによる開催
(ウ) 内容：未定

14. 第二支部（大西）

- (1) 支部合同勉強会実行委員会（Web会議）へ参加した。

ア. 日時：2021年11月1日（月）19:00～

- (2) 今後の予定なし。

15. 第三支部（市川）

- (1) 報告事項なし。
(2) 今後の予定なし。

16. 第四支部（大野）

- (1) 報告事項なし。
(2) 今後の予定

ア. 4支部Web勉強会の開催

- (ア) 日時：2022年1月20日（木）

17. 第五支部（矢崎）

- (1) 報告事項なし。
(2) 今後の予定なし。

18. 第六支部（茂木）

- (1) 報告事項なし。
(2) 今後の予定

ア. 2021年度第2回支部勉強会の開催（詳細は未定）

イ. 第3回支部役員会議

- (ア) 日時：2022年1月13日（木）
(イ) 場所：Web会議
(ウ) 参加人数：14人

エ. 内容：四半期報告、定期講習会等

- (3) 支部勉強会のYouTube配信についての報告
（報告者：仲西支部役員）

第3. 審議・承認事項

1. 議案-27 倉庫2F内装修繕について

- (1) 起案者：田中 宏（会長）
(2) 事由：倉庫に2F家庭教師センターの内部状態が悪く、早急に対応するため、添付した見積内容で依頼しましたので事後承認をお願いします。
(3) 実施日：2021年度内
資料をもとに、予算および修繕内容についての説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

2. 議案-28 2022年度 診療放射線技師のためのフレッシュアップセミナー（第23回SARTセミナー）の開催について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
(2) 事由：本セミナーは新入会員を対象としたセミナーであり、日本診療放射線技師会と埼玉県診療放射線技師会との合同企画で開催したい。
(3) 開催日：2022年6月の日曜日
資料をもとに、プログラムおよび予算の説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

3. 議案-29 2022年、2023年の会誌作成業者について決定して欲しい。

- (1) 起案者：清水 邦昭（編集情報）
(2) 事由：2年毎に見積りを取得して選定業者を決定している。
(3) 契約：2023年10月号作成（2023年10月31日）まで
資料をもとに、審議の結果、選定企業は賛成多数で「株式会社キタジマ」に決定した。

4. 議案-30 2021年度 役員研修会の開催について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
(2) 事由：例年実施している役員研修会（国会見学）を開催したい。
(3) 開催日：2022年2月の日曜日を予定
審議の結果、賛成多数で承認された。

5. 議案-31 放射線被ばくに関する講習会の開催について

- (1) 起案者：紀陸 剛志（公益）
(2) 事由：2021年は、東日本大震災から10年という節目の年であり、昨今、医療法の一部改正も

あり、会員の皆さまに今一度「放射線被ばくについて見直してみよう」という趣旨の講習会を公益委員会で企画した。

- (3) 開催日：2022年2月～3月の土曜日（午後）
資料をもとに、プログラム内容と予算の説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

6. 議案-32 MR基礎講習会の開催について

- (1) 起案者：近藤 敦之（学術）
(2) 事由：近年の磁気共鳴専門技術者認定試験問題の解説を行う内容で、MR基礎講習会を企画した。
(3) 開催日：2022年2月中の土曜日午後
資料をもとに、プログラム内容および収支予算の説

明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

7. 議案-33 新入会員の承認

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
資料をもとに、新入会員について、審議の結果、賛成多数で承認された。

会員数1381人（2021年11月4日現在）

新入会	6人	2021年度累計	64人
再入会	1人	2021年度累計	5人
転入	0人	2021年度累計	4人
転出	0人	2021年度累計	9人
退会	1人	2021年度累計	5人

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No,
1	倉庫2F内裝修繕について	見積書			承認	なし	理-27
2	2022年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー（第23回SARTセミナー）の開催について	予算案・プログラム	2	1	承認	開催会場は、継続審議	理-28
3	2022年,2023年の会誌作成業者の決定について	見積書・仕様書	3	2	承認	選定業者は、キタジマ印刷に決定	理-29
4	2021年度 役員研修会の開催について	予算案・プログラム	1	1	承認	なし	理-30
5	放射線被ばくに関する講習会の開催について	予算案・プログラム		1	承認	なし	理-31
6	MR基礎講習会の開催について	予算案・プログラム	1	1	承認	開催日時を再考	理-32
7	新入会員の承認	会員の動向	1		承認	なし	理-33

配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2022年1月6日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）
浅野 克彦（押印略）

2021年度 第2回常務理事会議事録 (抄)

日 時：2021年12月2日 (木) 19:00～21:00

場 所：ZoomによるWeb会議

出席者：会 長：田中 宏

副 会 長：潮田 陽一

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

佐々木 健、城處 洋輔、

中根 淳、清水 邦昭

監 事：浅野 克彦、堀江 好一

欠 席 者：富田 博信、結城 朋子、戸澤 茜

印番号3-30)

イ. 11月30日 (火) に郵送した。

(2) 第一支部勉強会、委嘱状の発送について

ア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号3-31)

イ. 12月2日 (木) に郵送した。

(3) 2021年度第1回総務・財務委員会を開催した。

ア. 開催日：2021年11月30日 (火)

イ. 場所：Zoomを利用したオンライン形式

ウ. 添付資料：2021年度第1回総務・財務委員
会議事録

(4) 2022年度フレッシュャーズセミナーについて

ア. 開催日：2022年5月15日 (日)

イ. 会場：大宮ソニックシティビル 市民ホール
401・401を仮予約

(5) 2022年度 SART 定期総会について

ア. 開催日：6月19日 (日) 14:00～で企画

イ. 会場未定

5. 総務 (八木沢)

報告事項、特になし。

6. 学術 (城處)

(1) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催
案内について内容を確認した。

(2) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の大会
ポスターを決定した。

(3) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会のプロ
グラムを確定した。

(4) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の機器
展示の募集要項および機器展示料について確認
した。

(5) ソニックシティでインターネット環境の調査に
ついて報告した。

(6) 特別講演の控室について

7. 学術 (中根)

(1) AI講習会の開催を報告した。

8. 編集情報 (清水)

(1) 1月号の会誌を作成中である。

(2) 会誌のe-book化について進捗状況を報告した。

9. 公益 (佐々木)

(1) 被ばく相談

ア. 10月) 3件

第1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議 長 田中 宏

議事録署名人 田中 宏、潮田 陽一

議事録作成人 八木沢英樹

と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中
会長を議長に選出し、2021年度第2回常務理事会を
開催した。

第2. 報告および確認事項

1. 会長 (田中)

(1) 第35回日本診療放射線技師学術大会の開催に
おける感謝状を日本診療放射線技師会より頂いた。

2. 副会長 (富田)

(1) 自由民主党予算政策懇談会に要望を提出する予
定。

ア. 診療放射線技師の適正配置について

イ. 画像診断分野のAI技術支援について

ウ. 正しい放射線の知識の周知のため、診療放射
線技師による患者に寄り添った被ばく相談能
力の活用について

(2) 政策ヒアリングの動画の公開について

ア. 2021年11月24日 (水) 本会上田会長は、
畦元代議士 (診療放射線技師) 仲介のもと、
岸田首相との面談を行った。

3. 副会長 (潮田)

(1) 11月22日 (月) 北関東会長会議に参加した。

4. 総務 (今出)

(1) MRI基礎講習会、委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。(公

- イ. 11月) 1件
- (2) 勉強会開催に関して
 - ア. 2021年度被ばく相談事例検討会：2022年2月22日 (火) 開催
 - イ. 2021年度放射線被ばくに関する講習会：2022年2月19日 (土) 開催
- (3) 第2回公益委員会を12月7日に開催予定

第3. 審議・承認事項

- 1. 常務理事会議案-1 SARTホームページの更新費用について
 - (1) 起案者：清水 邦昭 (編集情報)
 - (2) 事由：ホームページの更新費用について、現在は月に3回の更新ということで2万円の契約となっていた。しかし、掲載量が多く月3回の更新では間に合わなくなるため、7回更新での契約をお願いしたく審議の程、お願い致します。
 - (3) 実施日：2022年1月から
資料をもとに、予算および契約内容についての説明があり、審議の結果、更新内容の変更と見積りを再度取り直し、継続審議となった。

- 2. 常務理事会議案-2 受付管理システム仕様変更について
 - (1) 起案者：吉田 敦 (編集情報)
 - (2) 事由：エントリーシステムの受付番号の割り振りが全イベント通しでの割り振り方法となっている。人数の把握が困難のため、イベントごとに受付番号を割り振るようシステム変更をしたい。
 - (3) 実施日：2022年1月中を予定
資料をもとに、予算および変更内容についての説明があり、審議の結果、仕様変更の内容および見積金額の見直し、継続審議となった。
- 3. 常務理事会議案-3 第10回 (2022年度) 定期総会開催について
 - (1) 起案者：今出 克利 (総務)
 - (2) 事由：2022年度 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会開催したい。
 - (3) 実施日：令和4年6月12日 (日)
資料をもとに、開催日および開催方式についての説明があり、審議の結果、承認された。

審議・承認事項まとめ

No.	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	SARTホームページの更新費用について	あり	3	1	継続審議	更新内容の変更と見積りを再度取り直し	常理-1
2	受付管理システム仕様変更について	あり	5	2	継続審議	仕様変更および見積金額の見直し	常理-2
3	第10回定期総会開催について	なし	1	1	承認		常理-3

次回、2021年度第3回常務理事会の開催は、2022年2月3日 (木) を予定している。

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。
2022年1月6日 (木)

配布資料 (メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 総務資料
- (3) 編集情報資料
- (4) 学術資料
- (5) 財務資料
- (6) 議案書
- (7) 前回議事録

議事録署名人 田中 宏 (押印略)
潮田 陽一 (押印略)

2021年度 第7回理事会議事録 (抄)

日時：2022年1月6日 (木) 19:00~20:00

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：会長：田中 宏

副会長：富田 博信、潮田 陽一

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

城處 洋輔、中根 淳、

佐々木 健、清水 邦昭

理事：肥沼 武司、滝口 泰徳、

近藤 敦之、吉田 敦、

紀陸 剛志、双木 邦博、

大西 圭一、市川 隆史、

大野 渉、矢崎 一郎、

茂木 雅和

監事：堀江 好一、浅野 克彦

顧問：小川 清

欠席：鈴木 正人、結城 朋子、戸澤 茜

第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議長：田中 宏

議事録署名人：田中 宏、堀江 好一

議事録作成：八木沢英樹

と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長 (田中)

(1) 報告事項なし

2. 副会長 (富田)

(1) 告示研修を3月中に、埼玉医科大学病院での開催を企画している。
年度内に2回開催予定

3. 副会長 (潮田)

(1) 報告事項なし。

4. 総務 (今出)

(1) MRI基礎講習会、委嘱状の発送について
ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号3-30)
イ. 11月30日 (火) に郵送した。
(2) 第一支部勉強会、委嘱状の発送について

ア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号3-31)

イ. 12月2日 (木) に郵送した。

(3) 2021年度第1回総務・財務委員会を開催した。

ア. 開催日：2021年11月30日 (火)

イ. 場所：Zoomを利用したオンライン形式

ウ. 添付資料：2021年度第1回総務・財務委員会議事録

(4) 2022年度フレッシュャーズセミナーについて

ア. 開催日：2022年5月15日 (日)

イ. 会場：大宮ソニックシティビル 市民ホール 401・401を予約した。

(5) 2022年度 第11回定期総会について

ア. 開催日：6月12日 (日) 14:00~

イ. 会場：埼玉会館を予約した。

今年度の会議予定

日時	イベント名	備考欄
2022/ 1/ 6 (木)	第7回理事会	
2022/ 2/ 3 (木)	第3回常務理事会	
2022/ 2/24 (木)	第6回常務連絡会	
2022/ 3/ 3 (木)	第8回理事会	

5. 総務 (八木沢)

(1) 役員研修会 (国会見学) 2022年2月20日 (日)

6. 編集・情報 (清水)

(1) 会誌埼玉放射線1月267号
締め切り12月1日 (水) 済み
初校正終了、1月7日 (金) 再校正出し予定

ア. 内容：

(ア) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集

(イ) 第六支部定期講習会抄録集 (2人)

(ウ) 「技術解説」富士フィルム株式会社

(2) 会誌埼玉放射線5月268号

締め切り4月1日 (金)

ア. 内容：

(ア) 2022年埼玉県診療放射線技師会総会資料

(3) 委員会開催予定

第1回編集情報委員会 2021年9月9日 (木)

- 済み
第2回編集情報委員会 2021年11月19日(金)
済み
(4) 会誌発行部数 1490部
7. 編集・情報(吉田)
- (1) Webサイト 掲載および更新(会員用)
- ア. 5th Enhanced CT Imaging Seminar
イ. 令和4年新春のつどい 開催中止のお知らせ
ウ. 第61回 埼玉消化管撮影研究会開催案内
エ. 第99回 埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内
オ. 会誌バックナンバー262号 掲載
カ. 会誌バックナンバー263~266号 サムネイル・巻頭言 掲載
キ. 令和3年度埼玉県診療放射線技師会 第一支部 第1回勉強会
ク. 2021年度 MRI基礎講習会(Web)
~専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識~
ケ. 2021年度 第19回胸部認定試験
コ. 放射線被ばくに関する講習会
サ. 第3回SART被ばく相談事例検討会
シ. 2021年度 第12回CT認定試験
ス. 2021年度第3回関東DR研究会
DR画像のきほんのキホンの基本 ~深層学習~
セ. 第四支部勉強会のご案内
- (2) Webサイト 掲載および更新(一般用)
- ア. 会誌バックナンバー262号 掲載
イ. 会誌バックナンバー263~266号 サムネイル・巻頭言 掲載
- (3) 新フォームについて
- ア. イベント登録時申し込みボタンをダブルクリックすると2重で申し込みが行われる(修正済み)
イ. 受付管理システム仕様変更見積再取得(添付資料)
- (4) メールマガジン
- ア. メールマガジン登録2件
イ. メールマガジンNo1111配信
8. 財務(肥沼)
- (1) 11月5日(金) Facebook試験運用開始
- (2) 11月16日(火) 公益法人 informationに理事登記変更届再提出
- (3) 11月30日(火) 技師会センター予約システムhttps化に伴う不具合を復旧
- (4) 12月4日(土) 第35回学術大会一般演題採用通知発信
- (5) 12月21日(火) HP更新、第35回学術大会機器展示募集
- (6) 第35回学術大会Web抄録作成・公開(会誌発行後)
9. 学術(城處)
- (1) 第6回DR計測セミナーを開催した。
- ア. 日時:2021年11月11日(木)
イ. 会場:ZoomによるWeb開催
ウ. 参加人数:16人
エ. 添付資料①:第6回DR計測セミナー開催報告
- (2) SART学術企画 AI(Artificial Intelligence)講習会を開催した。
- ア. 日時:2021年11月18日(木)
イ. 会場:ZoomによるWeb開催
ウ. 参加人数:29人
エ. 添付資料②:SART学術企画 AI(Artificial Intelligence)講習会開催報告
- (3) 第19回胸部認定講習会を開催した。
- ア. 日時:2021年12月5日(日)
イ. 会場:ZoomによるWeb開催
ウ. 参加人数:20人
エ. 添付資料③:第19回胸部認定講習会開催報告
- (4) 第12回CT認定講習会を開催した。
- ア. 日時:2021年12月12日(日)
イ. 会場:ZoomによるWeb開催
ウ. 参加人数:18人
エ. 添付資料④:第12回CT認定講習会
- (5) 第5回学術委員会を開催した。
- ア. 日時:2021年11月24日(水)
イ. 会場:ZoomによるWeb会議
ウ. 添付資料⑤:第5回学術委員会議事録
- (6) 第6回学術委員会を開催した。
- ア. 日時:2021年12月1日(水)
イ. 会場:ZoomによるWeb会議
ウ. 添付資料⑥:第6回学術委員会議事録
- (7) 告示研修について企画中

ア. 日時：2022年3月12日（土）13日（日）

イ. 会場：埼玉医科大学病院

(ア) 3月予定

(イ) Zoomによる開催

(ウ) 内容：未定

10. 学術（中根）

(1) 報告事項なし

14. 第二支部（大西）

(1) 報告事項なし。

(2) 今後の予定なし。

11. 公益（佐々木）

(1) 被ばく相談

11月) 1件

12月) 2件

(2) 勉強会開催に関して

ア. 2021年度被ばく相談事例検討会：2022年2月22日（火）開催

イ. 2021年度放射線被ばくに関する講習会：2022年2月19日（土）開催

(3) 第2回公益委員会を12月7日（火）に開催した。

15. 第三支部（市川）

(1) 報告事項なし。

(2) 今後の予定なし。

16. 第四支部（大野）

(1) 報告事項なし。

(2) 今後の予定

ア. 第四支部 Web 勉強会の開催

(ア) 日時：2022年1月20日（木）

12. 公益（紀陸）

(1) 報告事項なし

17. 第五支部（矢崎）

(1) 報告事項なし。

(2) 今後の予定なし。

13. 第一支部（双木）

(1) 報告事項

ア. 第1回支部勉強会

(ア) 日時：2021年12月14日（火）19:00～20:30

(イ) Zoomによる開催

(ウ) 参加人数：40人

(エ) 内容：

メーカー講演

「キヤノンメディカルシステムズ株式会社 情報提供（CT/MRI AI技術のご紹介）」

萩原 友基、張 つぼみ、穴見 和寛

一般演題

「当院でのMRIにおけるAiCEを用いた臨床応用」

さいたま市立病院 渡邊 真澄

「ディープラーニングCT画像再構成技術 AiCE (Advanced Intelligent Clear-IQ Engine) 特性 ～Aquilion PrimeSP 80 列～」

JCHO 埼玉メディカルセンター

八木沢英樹

18. 第六支部（茂木）

(1) 報告事項なし。

(2) 今後の予定

(ア) 2021年度第2回支部勉強会を企画中

ア. 詳細は未定

(イ) 第3回支部役員会議

ア. 日時 2022年1月13日（木）

イ. 場所 Web会議

ウ. 参加人数 14人

エ. 内容 四半期報告、定期講習会など

第3. 審議・承認事項

1. 議案-34 SART ホームページの掲載回数について

(1) 起案者：清水 邦昭（編集情報）

(2) 事由：こちらからはデータをその都度ながしておき、望月印刷でデータをためておいていただくことが可能という回答を頂いております。また、指定日より前倒しをして掲載することも可能という回答も頂いております。そこで、スタートは3回で開始し、途中でどうしても足りない場合は回数を変更する方向でお願いしたいです。

(3) 実施日：2022年2月から
資料をもとに、予算および掲載方法についての説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

昨年同様、会場集客型+オンライン配信を行う、ハイブリッド型での開催を予定しているが、新型コロナウイルス感染状況により、オンライン配信のみとなる可能性もあります。

2. 議案-35 第11回（2022年度）定期総会開催について
- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事由：公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
定期総会を開催したい。

- (3) 開催日：2022年6月12日（日）
- 資料をもとに、開催概要の説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	SART ホームページの掲載回数について	見積書	1		承認	なし	理-34
2	第11回（2022年度）定期総会開催について	なし			承認	感染状況により、開催方式は変更する	理-35

配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2022年3月3日（木）

議事録署名人 田中 宏（押印略）
堀江 好一（押印略）

2021年度 第3回常務理事会議事録 (抄)

日時：2022年2月3日 (木) 19:00～21:00

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：会長：田中 宏

副会長：潮田 陽一、富田 博信

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

佐々木 健、城處 洋輔、

中根 淳、清水 邦昭

監事：浅野 克彦、堀江 好一

事務員：戸澤 茜

欠席者：結城 朋子

第1. 議事録作成人 議事録署名人の選出

議長 田中 宏

議事録署名人 田中 宏、潮田 陽一

議事録作成人 八木沢英樹

と定めた。

議事録作成人、議事録署名人の選出につづき、田中会長を議長に選出し、2021年度第3回常務理事会を開催した。

第2. 報告および確認事項

1. 会長 (田中)

- (1) 1月14日 (金) 三ツ林代議員および畦元代議員への年頭のあいさつのため、議員会館に伺った。

2. 副会長 (富田)

- (1) 1月14日 (金) 三ツ林代議員および畦元代議員への年頭のあいさつのため、議員会館に伺った。

3. 副会長 (潮田)

- (1) 2021年度の有休財産の展望について説明があった。

4. 総務 (今出)

- (1) 放射線被ばくに関する講習会の委嘱状の発送について
ア. 該当者5人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号3-35)
イ. 1月21日 (金) に郵送した。
- (2) フレーシャーズセミナー・SART 学術大会の委嘱状郵送について、2月中に行う予定。

(3) その他

- ア. 会員カード発行について、どこまで発行を行ったか前総務担当常務理事 結城さんに確認する。
イ. 永年勤続表彰者抽出に関して、新会員データベースで抽出可能と確認。(堀江監事)

(3) 今年度の会議予定

日時	イベント名	備考欄
2022/ 2/24 (木)	第6回常務連絡会	
2022/ 3/ 3 (木)	第8回理事会	

5. 総務 (八木沢)

(1) 総会運営委員会について

ア. 総会運営委員 選出

委員：各支部 (各1人)

委員長：第五支部 (委員の中で)

議長候補：第四支部 (運営委員とは別に選出)

- (2) 新型コロナウイルス感染拡大のため、2月20日 (日) の国会見学を延期することになった。

6. 学術 (城處)

- (1) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催方式について
完全Web方式と決定
- (2) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の大会ポスター修正 (完全Web開催と修正)
- (3) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の機器展示開催なしとする。
- (4) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会の演者へWebテストは開催1週間前行う。

7. 学術 (中根)

- (1) 各認定講習会・試験開催について報告

8. 編集情報 (清水)

(1) 会誌

ア. 会誌埼玉放射線1月267号

締め切り：12月1日 (水) 済み

初校正終了：1月7日再校正出し予定

イ. 内容：

- (ア) 第35回埼玉県診療放射線技師学術大会
抄録集

- (イ) 第6支部定期講習会 2人
 (ウ) 「技術解説」富士フィルム株式会社
 ウ. 会誌埼玉放射線5月268号
 締め切り：4月1日(金)
 内容：2022年埼玉県診療放射線技師会総会資料
 会誌発行部数 1490部 増刷予定
- (2) 委員会開催
 第1回編集情報委員会 2021年9月9日(木)
 第2回編集情報委員会 2021年11月19日(金)
- (3) ホームページ
 ア. Webサイト 掲載および更新(会員用)
 (ア) トップページ、バナー修正
 (イ) 2021年度 第18回上部消化管検査認定試験
 (ウ) 2022年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題登録
 (エ) (公社) 埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰候補者推薦について
 (オ) 第100回 埼玉CT Technology Seminar 開催のご案内
 (カ) 第77回 画像の向こうの患者をみよう勉強会(症例検討会)
 イ. Webサイト 掲載および更新(一般用)
 ウ. トップページ、バナー修正
 エ. 新フォームについて
 (ア) 受付管理システム仕様変更
 オ. メールマガジン
 メールマガジン登録3件
 カ. e-bookの運用について
9. 公益(佐々木)
 (1) 勉強会開催に関して
 ア. 2021年度被ばく相談事例検討会：2022年2月22日(火)開催
 イ. 2021年度放射線被ばくに関する講習会：2022年2月19日(土)開催
- 審議の結果、一部修正を行い承認された。
2. 常務理事会議案-5 2022年度埼玉県診療放射線技師会予算案について
 (1) 起案者：潮田 陽一(副会長)
 (2) 事由：2022年度の予算案について審議を行っていただきたい。
 (3) 実施日：2022年4月から
 資料をもとに、予算および内容についての説明があり、審議の結果、承認された。
3. 常務理事会議案-6 埼玉県診療放射線技師会永年勤続表彰対象者(20年・40年)の承認
 (1) 起案者：八木沢 英樹(総務)
 (2) 事由：第11回定期総会で実施する令和3年度埼玉県放射線技師会永年勤続表彰対象者の承認
 (3) 実施日：2022年6月12日(日) 定期総会で表彰
 資料をもとに、表彰対象者についての説明があり、審議の結果、承認された。
4. 常務理事会議案-7 2022年度支部合同勉強会Web開催について
 (1) 起案者：茂木雅和(第六支部理事)
 (2) 事由：次年度の予定として集合型ではなくWebを用いた支部合同勉強会を企画した。
 (3) 内容：
 (ア) 支部間の垣根を越えてなんでも聞ける仲間を作る
 (イ) 法改正に伴う診療放射線技師のタスクシフト/シェアについて学ぶ
 (4) 実施日：2022年5月21日(土)
 資料をもとに、予算および勉強会の内容についての説明があり、審議の結果、承認された。

第3. 審議・承認事項

1. 常務理事会議案-4 2022年事業計画(案)
 (1) 起案者：田中 宏(会長)
 (2) 事由：2022年事業計画(案)の承認
 (3) 実施日：2022年4月1日(金)から
 資料をもとに、事業計画内容についての説明があり、

議事録

No.	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	2022年事業計画 (案)	あり	1	0	承認	加筆修正箇所があれば、随時見直して、次回の理事会までに完成させる.	常理-4
2	2022年度埼玉県診療放射線技師会予算案について	あり	0	1	承認		常理-5
3	永年勤続表彰対象者 (20年・40年) の承認	あり	0	1	承認	次回の理事会までに、承諾者をリストアップする.	常理-6
4	2022年度支部合同勉強会 Web開催について	あり	3	1	承認	開催案内文の修正することによる条件付き	常理-7

次回、2021年度第6回常務理事連絡会の開催は、2022年2月24日 (木) を予定している。

配布資料 (メール配信を含む)

- (1) 会長資料
- (2) 総務資料
- (3) 編集情報資料
- (4) 学術資料
- (5) 財務資料
- (6) 議案書
- (7) 前回議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において署名捺印します。

2022年2月24日 (木)

議事録署名人 田中 宏 (押印略)
潮田 陽一 (押印略)

会員の動向

第6回理事会承認 (2021年11月04日)

会員数	1381人 (2021年11月4日現在)	
新入会	6人	2021年度累計 64人
再入会	1人	2021年度累計 5人
転入	0人	2021年度累計 4人
転出	0人	2021年度累計 9人
退会	1人	2021年度累計 5人

第8回理事会承認 (2022年3月3日)

会員数	1394人 (2022年2月15日現在)	
新入会	19人	2021年度累計 83人
再入会	3人	2021年度累計 8人
転入	2人	2021年度累計 6人
転出	3人	2021年度累計 12人
退会	8人	2021年度累計 13人

役員名簿

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

2021・2022 年度役員名簿

役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	田中 宏	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	h-tanaka@sart.jp
副会長	富田 博信	済生会川口総合病院	048-253-1551	h-tomita@sart.jp
副会長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
常務理事(学術)	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
常務理事(学術)	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
常務理事(総務)	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
常務理事(総務)	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
常務理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(財務)	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
理事(学術)	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	a-kondo@sart.jp
理事(学術)	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
理事(編集・情報)	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
理事(公益)	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
第一支部理事	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
第二支部理事	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
第三支部理事	市川 隆史	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takafumi-ichikawa@sart.jp
第四支部理事	大野 渉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
第五支部理事	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
第六支部理事	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp

事務局

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
事務局長	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	堀江 好一	JCHO さいたま北部医療センター	048-663-1671	k-horie@sart.jp
監事	浅野 克彦	参議院議員秘書		katsuhiko-asano@sart.jp
顧問	小川 清	群馬パース大学		k-ogawa@sart.jp
顧問	鈴木 正人	埼玉県県会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問税理士	増田 利治	増田利治税理士事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
副委員長	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	y-ushioda@sart.jp
委員	結城 朋子	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-yuuki@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	双木 邦博	さいたま市立病院	048-873-4111	k-namiki@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	042-940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	市川 隆史	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	takafumi-ichikawa@sart.jp
委員	大野 渉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	田中 達也	小川赤十字病院	0493-72-2333	yt-tanaka@sart.jp
委員	矢部 智	越谷市立病院	048-956-2221	s-yabe@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp
委員	岡田 尚也	さいたま赤十字病院	048-852-1111	naoya-okada@sart.jp
委員	福田 葉	さいたま市立病院	048-873-4111	shiori-fukuda@sart.jp
委員	戸澤 茜	埼玉県診療放射線技師会 事務局	048-664-2728	akane-tozawa@sart.jp

役員名簿

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	城處 洋輔	済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
副委員長	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
副委員長	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	0492-76-1264	a-kondo@sart.jp
副委員長	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
委員	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
委員	寺澤 和晶	さいたま赤十字病院	048-852-1111	kazuaki-terasawa@sart.jp
委員	土田 拓治	済生会川口総合病院	048-253-1551	t-tsuchida@sart.jp
委員	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
委員	伊藤 寿哉	埼玉石心会病院	04-2953-6611	t-ito@sart.jp
委員	大根田 純	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	jun-oneda@sart.jp
委員	亀山 枝里	熊谷総合病院	048-521-0065	eri-kameyama@sart.jp
委員	妹尾 大樹	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-7702	taiki-senoo@sart.jp
委員	浅見 純一	行田中央総合病院	048-553-2000	jyunichi-asami@sart.jp
委員	吉澤 孝郁	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	takafumi-yoshizawa@sart.jp
委員	戸澤 僚太	済生会川口総合病院	048-253-1551	ryouta-tozawa@sart.jp
委員	新島 正美	熊谷生協病院	048-524-3841	masami-niijima@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
副委員長	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3593	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイクリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp
委員	八木沢英樹	JCHO 東京蒲田医療センター	03-3738-8221	h-yagisawa@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
委員	志藤 正和	済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	内海 将人	済生会栗橋病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp
委員	石田 仁子	白岡中央総合病院	0480-93-0661	kimiko-ishida@sart.jp
委員	石川 里紗	深谷赤十字病院	048-571-1511	risa-sakamoto@sart.jp
委員	大河原侑司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuji-okawara@sart.jp
委員	佐藤 克哉	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	katsuya-sato@sart.jp
委員	宮崎 千晶	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0089	chiaki-miyazaki@sart.jp
委員	嶋崎 恭介	上尾中央総合病院	048-773-1111	kyousuke-shimasaki@sart.jp
委員	坂庭 琴美	上尾中央総合病院	048-773-1111	kotomi-sakaniwa@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会を申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生 年 月 日 西 暦 年 月 日
氏 名			

<p>1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ	TEL	—	—
勤務先名			
フリガナ	〒		
勤務先住所			
フリガナ	〒	TEL	— —
自宅住所			
E-mail (携帯不可)			

正会員入会申し込み

会誌送付先	① 勤務先 ② 自宅	所属支部（地区）
-------	-----------------	----------

診療放射線 技師免許	国家試験	第 回 合格
	登録	第 号 年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦 年 月
	卒業年月日	西暦 年 月
	学校	

関連分野の 最終学歴	学位	ある なし
	学位記番号	
	授与年月	
	授与機関	

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
 TEL 048-664-2728
 FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注1) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

注2) 滞納している会費がある場合にはお支払いください。

※重要 注3) 退会時には必ず会員番号をご記入ください。
 記載がない場合、退会処理に時間がかかり、希望日に間に合わない場合があります。

決算処理

埼放技	
日放技	

FAX申し込み

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願い致します。

FAX申し込み

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

* 郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会員登録変更届

年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

① 転出者は正確にご記入ください

転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入
-----	----------	------------------

② 変更した項目をご記入ください

変更項目	<input type="checkbox"/> 印		
	ふりがな 自宅住所	〒 -	TEL - -
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 -	TEL - -
	ふりがな 改姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

年間スケジュール

2022年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会など

年間スケジュール表

年間スケジュール

2022年度 (5-7) 予定											
5月		埼玉放技	日放技など	6月		埼玉放技	日放技など	7月		埼玉放技	日放技など
1	日			1	水			1	金		
2	月			2	木			2	土		
3	火			3	金			3	日		
4	水			4	土			4	月		
5	木			5	日			5	火		
6	金			6	月			6	水		
7	土			7	火			7	木		
8	日			8	水			8	金		
9	月			9	木			9	土		
10	火			10	金			10	日		
11	水			11	土			11	月		
12	木			12	日	第11回公益社団法人 埼玉県診療放射線 技師会定期総会		12	火		
13	金			13	月			13	水		
14	土			14	火			14	木		
15	日			15	水			15	金		
16	月			16	木			16	土		
17	火			17	金			17	日		
18	水			18	土			18	月		
19	木			19	日			19	火		
20	金			20	月			20	水		
21	土			21	火			21	木		
22	日			22	水			22	金		
23	月			23	木			23	土		
24	火			24	金			24	日		
25	水			25	土			25	月		
26	木			26	日			26	火		
27	金			27	月			27	水		
28	土			28	火			28	木		
29	日			29	水			29	金		
30	月			30	木			30	土		
31	火							31	日		

2022年度 (8-10) 予定											
8月		埼玉放技	日放技など	9月		埼玉放技	日放技など	10月		埼玉放技	日放技など
1	月			1	木			1	土		
2	火			2	金			2	日		
3	水			3	土			3	月		
4	木			4	日			4	火		
5	金			5	月			5	水		
6	土			6	火			6	木		
7	日			7	水			7	金		
8	月			8	木			8	土		
9	火			9	金			9	日		
10	水			10	土			10	月		
11	木			11	日			11	火		
12	金			12	月			12	水		
13	土			13	火			13	木		
14	日			14	水			14	金		
15	月			15	木			15	土		
16	火			16	金			16	日		
17	水			17	土			17	月		
18	木			18	日			18	火		
19	金			19	月			19	水		
20	土			20	火			20	木		
21	日			21	水			21	金		
22	月			22	木			22	土		
23	火			23	金			23	日		
24	水			24	土			24	月		
25	木			25	日			25	火		
26	金			26	月			26	水		
27	土			27	火			27	木		
28	日			28	水			28	金		
29	月			29	木			29	土		
30	火			30	金			30	日		
31	水							31	月		



広告協賛会社一覧 (順不同)

No.	会社名	郵便番号	住所	電話
1	株式会社メディカルクリエート	330-0854	さいたま市大宮区桜木町2-403ほていやビル3階	048-782-7424
2	日本放射線防衛株式会社	113-0033	東京都文京区本郷2-38-12	03-3811-1158
3	株式会社メディカル・サービス T&K	362-0001	上尾市上1710-3	048-777-7021
4	バイエル薬品株式会社	330-0843	さいたま市大宮区吉敷町1-75-1太陽生命大宮吉敷ビル7階	048-640-6027
5	日本メジフィジックス株式会社	136-0075	東京都江東区新砂3-4-10	03-5634-7450
6	富士フィルムメディカル株式会社	330-0842	さいたま市大宮区浅間町2-240	048-645-6001
7	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	330-0845	さいたま市大宮区仲町3-13-1住友生命第2ビル1階	048-614-9950
8	株式会社三田屋製作所	350-0833	埼玉県川越市芳野台2-8-12	049-298-8017
9	富士製薬工業株式会社	102-0094	東京都千代田区三番町5番地7	03-3264-2211
10	PDR ファーマ株式会社	104-0031	東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル	03-3538-3621
11	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	331-8701	さいたま市北区土呂町1-45-10	048-651-9290
12	コニカミノルタジャパン株式会社	105-0023	東京都港区芝浦1-1-1	03-6324-1080
13	シーメンスヘルスケア株式会社	141-8644	東京都品川区大崎1丁目1番1号ゲートシティ大崎ウエストタワー5階	03-3493-7500
14	富士フィルムヘルスケア株式会社	330-0812	埼玉県さいたま市北区宮原町4-17-22	048-661-8500

広告索引

造影剤関係

富士製薬工業株式会社	5
バイエル薬品株式会社	2

アイトープ関係

PDR ファーマ株式会社	6
日本メジフィジックス株式会社	3

フィルム関係

富士フィルムメディカル株式会社	4
-----------------	---

機器関係

株式会社メディカル・サービス T&K	1
キヤノンメディカルシステムズ株式会社	2
GEヘルスケア・ジャパン株式会社	4
株式会社三田屋製作所	6
コニカミノルタジャパン株式会社	7
シーメンスヘルスケア株式会社	3
富士フィルムヘルスケア株式会社	5

施設工事関係

日本放射線防衛株式会社	1
-------------	---

PACS サービス関係

株式会社メディカルクリエート	表3
----------------	----

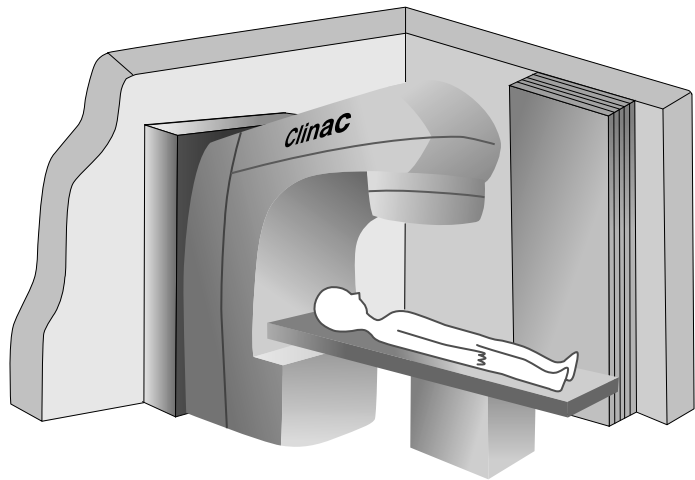
放射線施設等の設計、施工、維持管理

- リニアック、CT・MRI・RI検査室建造など
- 鉛、RC等の放射線遮へい工事
- 電波・磁気シールド工事
- 空調、電気、給排水設備工事
- 医療法、電離則に基づく法定測定

最近の施工施設（全国）

国立病院北海道がん	慶應大学病院
秋田大学病院	名古屋大学病院
東北大学病院	大阪大学病院
埼玉県立がんセンター	九州大学病院
国立がん研究センター中央病院	琉球大学病院

など多数



日本放射線防衛株式会社

国土交通大臣許可（特-28） 第21807号
高度管理医療機器等販売業・貸与業

本社 / 〒590-0074 堺市堺区北花田口町3丁目2番10号 TEL072-232-0741・FAX072-223-7393
 東京支店 / 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目38番12号 TEL03-3811-1158・FAX03-3811-1046
 名古屋支店 / 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目32番20号 TEL052-269-9130・FAX052-269-9133

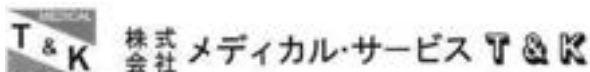
URL [http://www.nippoh-net.co.jp]

SIMPLE.
SCALABLE.
COMPLETE
CONTROL.

A SMARTER WAY FORWARD.

ケアストリーム Vue クラウド

A Smarter way to collaborate for enhanced patient care.



本社 〒362-0001 埼玉県上尾市上1710-3
☎(048)777-7021 FAX(048)777-7023
経営管理本部 〒362-0014 埼玉県上尾市本町2-4-15
E-mail tandk@est.hi-ho.ne.jp

ケアストリームヘルス株式会社

東京 〒135-0041 東京都江東区冬木11-17 イシマビル ☎(03)5646-2500
札幌 ☎(011)252-8072 仙台 ☎(022)292-1667 名古屋 ☎(0561)64-2755
大阪 ☎(06)6534-7090 福岡 ☎(092)413-8460
http://www.carestream.jp

Canon

すべては患者さんのために。

世界が直面する医療を取り巻く環境は日々変化し、多くの課題があります。私たちは、医療現場を総合的にサポートしながらともに成長していくことを目指します。

これからも医療のさらなる発展と人々の健やかで安心できる暮らしに貢献します。

Made possible.

Made For life

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>



より良い明日へ

患者さんとそのご家族の「満たされない願い」に応えるため、革新的な新薬をいち早くお届けすることが私たちの使命です。医薬品の開発を通じて人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://byl.bayer.co.jp/>

Science for a better life

PP-GEN-JP-0061-03-07

X線CT装置

SOMATOM go.Top

Lead to the top expanding clinical demand

www.siemens-healthineers.com/jp



SIEMENS
Healthineers

全身用X線CT診断装置 ソマトム go Top/All 認証番号: 23DAAB2X00028000

nihon
medi+physics

処方箋医薬品^{注)}
放射性医薬品・骨疾患診断薬

薬価基準収載

クリアボーン[®]注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸
テクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

*効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

資料請求先
日本メジフィジックス株式会社
〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT検査について紹介しています。
<http://www.nmp.co.jp>

®: 登録商標

2015年6月改訂

最高のチーム医療は、ここから始まる。



SYNAPSE VINCENTの
WEBサイトはこちらから



迅速に、的確なゴールを目指して。
チーム医療を新たな次元に導く3D解析技術



REiLI

Medical AI Technology



ボリュームアナライザー
SYNAPSE VINCENT

販売名:富士画像診断ワークステーション FN-7941型 認証番号:22000BZX00238000

富士フイルム メディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8040 (代)

<http://fms.fujifilm.co.jp>

Powered by
Edison

IMAGES SO SHARP THEY CUT WAIT TIMES.

That's Intelligently Efficient.

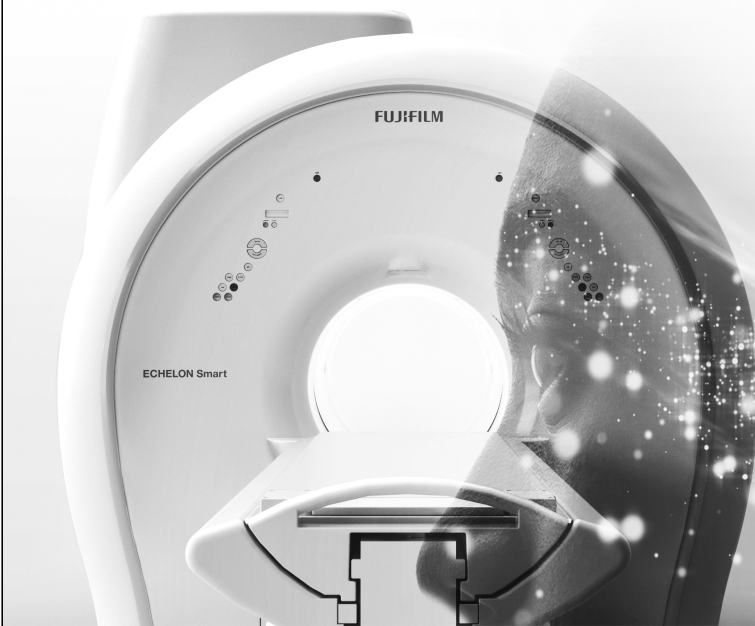
より鮮明な画像を、より速く。



AIR™ Recon DLは、MR画像再構成にDeep Learning®を応用したGEヘルスケア最新のMRIテクノロジー。
ノイズやアーチファクトの低減による鮮明な画像、検査時間の短縮による医療従事者の皆様や患者さんの負担軽減につながります。
革新的なテクノロジーの実装を通じて、患者さんのニーズに寄り添い、最善を尽くします。
詳しくは、gehealthcare.co.jpをご覧ください。

SIGNA Voyager (シグナ Voyager) 医療機器認証番号:228ACBZX00009000
※Deep Learningは製品開発に用いられており、納入後に学習し続ける技術ではありません。
JBO3625JA





Speedに「診やすさ」を、 操作に「ゆとり」をPlus

ECHELON Smart Plusの高速化ソリューション「IP-RAPID」は高速化技術の次世代のスタンダード。
IP-RAPIDの進化とともに診やすさを追求したREALISE Plusを搭載。
AI技術を活用したSynergyDrive※1が
Speedに「診やすさ」を、操作に「ゆとり」をPlusして進化します。

SynergyDrive

powered by



ECHELON Smart Plus

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart
医療機器認証番号：229ABBZX00028000

※1 SynergyDriveはワークフロー向上技術の総称です。AI技術のひとつであるMachine Learningを活用して開発した機能を含みます。導入後に自動的に装置の性能・精度が変化することはありません。
富士フイルムは医療画像診断支援、医療現場のワークフロー支援、そして医療機器の保守サービスに活用できるAI技術の開発を進めこれらの領域で活用できるAI技術を「REILI(レイリ)」というブランド名称で展開しています。ECHELON Smartは富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。仕様及び外観は予告なく変更されることがあります。

FUJIFILM

富士フイルムヘルスケア株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂九丁目7番3号
<https://www.fujifilm.com/thc>



イオパミドール注[F]

非イオン性尿路・血管造影剤 イオパミドール注射液
処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載

イオパミドール150注[F]
50mL/200mL

イオパミドール300注[F]
20mL/50mL/100mL

イオパミドール370注[F]
20mL/50mL/100mL

イオパミドール300注シリンジ[F]
50mL/80mL/100mL/150mL

イオパミドール370注シリンジ[F]
50mL/65mL/80mL/100mL



IOHEXOL

イオヘキソール注[F]

非イオン性造影剤 イオヘキソール注射液
処方箋医薬品^{※1} 薬価基準収載

イオヘキソール300注[F]
20mL/50mL/100mL

イオヘキソール350注[F]
20mL/50mL/100mL

イオヘキソール240注シリンジ[F]
100mL

イオヘキソール300注シリンジ[F]
50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL

イオヘキソール350注シリンジ[F]
70mL/100mL

注)：注意－医師等の処方箋により使用すること。

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては添付文書をご参照ください。

製造販売元
(資料請求先)



富士製薬工業株式会社

〒939-3515 富山県富山市水橋辻ヶ堂1515番地
<https://www.fujipharma.jp/>



MS-LD GRID

■ ■ ■
 中間物質に新素材(ファイバー)を採用した事で、従来のアルミグリッドと比較して約15%の線量低減を実現(撮影条件により異なります)

■ ■ ■
 従来グリッド無しで撮影していた部位においてMS-LDグリッドを使用する事で、より鮮明な画像を実現

■ ■ ■
 線量低減、耐久性向上を図るために被覆材をカーボンとし、更にグリッド保護を目的としてステンレス製フレーム(フル枠)またはキャップ型フレームを標準装備



株式会社三田屋製作所

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-12 TEL: 049(298)8017(営業代表) FAX: 049-298(8016)
ISO9001認証(JQA-QM4013) ISO13485認証(JQA-MD0026)

<http://www.mitaya.co.jp/>



放射性医薬品 / 悪性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬 処方箋医薬品[※] 保険適用

フルデオキシグルコース(¹⁸F)静注「FRI」

Fludeoxyglucose(¹⁸F) Injection FRI

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース(¹⁸F)注射液 [※]注意-医師等の処方箋により使用すること。



製造販売元
PDRファーマ株式会社

文献請求先及び問い合わせ先 TEL 03-3538-3624
〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

※「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等については電子添文をご参照ください。

2022年3月作成

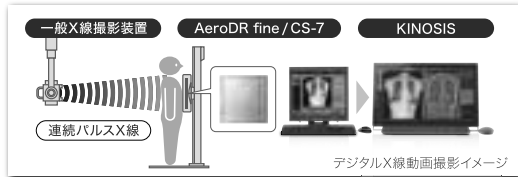


KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

単純X線撮影は、 動画撮影の領域へ

デジタルX線動画撮影システムは、X線動画解析ワークステーション「KINOSIS(キノシス)」、可搬型DR「AeroDR fine」、及び一般X線撮影装置*1で構成され、パルスX線を連続照射し、コマ撮りした画像を連続表示することで、動画を作る、全く新しいシステムです。



X線動画解析ワークステーション KINOSIS

[二次元コードから動画画像をご覧ください]



オリジナル
動画像



BS-MODE
胸部骨減弱
処理



FE-MODE
周波数強調
処理



DM-MODE
特定成分追跡
処理



PL-MODE
基準フレーム比
計算処理



PH-MODE
相互相関計算
処理



*1 一般X線撮影装置としては、(株)島津製作所「診断用X線装置 RADspeed Pro」を採用しています。★「X線動画解析ワークステーション KINOSIS」、及び「KINOSIS」は、「画像診断ワークステーション コニカミノルタ DI-X1」(製造販売認証番号:230ABBZX00092000)の呼称です。★「AeroDR fine」は、「デジタルラジオグラフィック SKR 3000」(製造販売認証番号:228ABBZX00115000)の呼称です。★記載の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

製造販売元: コニカミノルタ株式会社 販売元: コニカミノルタ ジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 TEL (03)6324-1080(代) <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>

編集後記

私の趣味は旅行です。コロナウイルスの流行に伴い、なかなか出掛けるタイミングは難しくなりましたが、流行前にはよくいろいろな場所へ出掛けていました。その土地の料理、酒、温泉、そして、人情に触れ合う旅は本当に素晴らしいものです。ただ、旅行で何に重きを置くかは人それぞれだと思います。観光名所、食事、泊る場所等あると思いますが、私は断然、食事です。私は生まれも育ちも埼玉県ですが、今まで行った中で良かった場所を一つご紹介したいと思います。それは、四国四県全部です。私は三日間かけて四国を一周しました。愛媛県には道後温泉、徳島県には鳴門海峡、高知県には鯉のたたきと日本酒、香川県には讃岐うどん等、どこに行っても楽しめて食事もおいしく、何より地元の人が優しく声を掛けてくれたことがとても印象に残っています。このご時世では、なかなか出掛けにくいかもしれませんが、また、安心して旅行ができるようになってほしいものです。 (おじぞーさん)

表紙の
解説

「伊奈町立伊奈中学校の夜桜」

写真提供 八木沢 英樹 氏



埼玉放射線 第268号

印刷 2022年5月18日
発行日 2022年5月30日
発行所 〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-51-39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp
発行人 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏
編集代表 清水 邦昭
編集委員 吉田 敦
宮崎 雄二
潮田 陽一
肥沼 武司
大友 哲也
渡部 伸樹
堀越 隆之
八木沢英樹
印刷 〒130-0023
東京都墨田区立川2丁目11番7号
株式会社キタジマ
電話 03 (3635) 4510

事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

電話 048-664-2728

F A X 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 結城朋子

事務員 戸澤 茜

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00

未来に寄り添うパートナー

健診から診療まで頼れる院外放射線科へ

忙しい毎日の診療から画像診断をおまかせください

胸部・胃部

胸部・胃部共に経験豊富な放射線科専門医、または各分野の専門医が診断にあたります。

眼底

専門医不足になりがちな部門についてもお任せください。

MMG

乳がんは40～50代の女性がかかりやすいがんNo.1
弊社医師はA・AS認定専門医のみです。

安心と安全を約束する
確かなクオリティ

MEDICAL CREATE

心電図

多量の検査数にも対応し高精度な判定を専門医がいたします。

CT/MRI

画像診断に特化した放射線科専門医が読影いたします。

超音波/内視鏡

内視鏡検査の判定も承っております。
お気軽にご相談ください。



安心のセキュリティ

VPNによる閉鎖網でのネットワークで大切な個人情報を確実に守ります。

患者様の個人情報を取り扱う上で、高いセキュリティが必要です。

弊社では、都度サーバーに閲覧するシステムを構築しているため医療情報管理も安全です。

株式会社メディカルクリエート

■ 大宮本社

埼玉県さいたま市大宮区桜木町2-403 ほていやビル3階
TEL:048-782-7424 FAX:048-782-7425

■ 倉敷読影センター ■ 新宿読影センター

<http://www.saitama-medical-create.jp/>

▶▶▶ お気軽にご相談ください。



写真提供

「黒部の虹」 清水 邦昭氏



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

HP <https://www.sart.jp> E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格：1,000円（会誌購読料は会費に含まれる）

